

令和2年度 第2回  
岩手県生涯学習審議会  
岩手県社会教育委員会議

期日：令和3年1月25日（月）

場所：サンセール盛岡 1F ダイヤモンド

資料

令和2年度主要施策の実施状況及び令和3年度事業計画について

資料1-1	令和2年度生涯学習・文化財行政 主要施策の実施状況の概要	P1~31
資料1-2	令和3年度生涯学習文化財行政の事業計画（案） 生涯学習・文化財行政の体系図	P34
1	生涯学習の推進	P36
2	家庭教育の支援	P38
3	青少年の学習活動の支援	P40
4	成人・高齢者の学習活動の支援	P44
5	社会教育の充実	P46
6	文化財の保護	P48
7	社会教育施設等の環境整備	P50
資料2	学校調整課	P54
資料3	学校教育課	P56
資料4	保健体育課	P58
資料5	県立生涯学習推進センター	P60
資料6	県立図書館	P62
資料7	県立博物館	P64
資料8	県立美術館	P66
資料9	県立青少年の家	P68
資料10	今後求められる施策の方向性について	P75
資料11	令和3年度社会教育関係団体活動費 補助金の交付について	P83



## 令和2年度

# 生涯学習・文化財行政事業 実施状況の概要

令和3年1月25日現在

- 1 生涯学習の推進
- 2 家庭教育の支援
- 3 青少年の学習活動の支援
- 4 成人・高齢者の学習活動の支援
- 5 社会教育の充実
- 6 文化財の保護
- 7 社会教育施設等の環境整備

# 1 生涯学習の推進

施 策	生涯学習推進体制の充実	
<p>(1) 施策の方向 生涯学習推進本部や生涯学習審議会を通して、生涯学習の総合的な推進を図るとともに、生涯学習推進の基盤整備及び生涯学習関連施策の効果的な推進を図るため、大学等高等教育機関や民間との連携のもとに調査研究を推進する。</p> <p>(2) 事業実施状況</p>		
事業名	趣 旨	実 施 状 況
生涯学習推進体制調査	市町村における生涯学習推進体制等に関する実態を把握し、生涯学習推進の基礎資料とする。	<p>ア 期 日 10月1日現在</p> <p>イ 対 象 全市町村 (33)</p> <p>※生涯学習推進センターより依頼済み</p>
岩手県生涯学習審議会	生涯学習の普及奨励及び推進方策等について協議し、生涯学習の総合的な推進を図る。	<p>ア 期 日 ①7月14(火)、②1月25日 (月)</p> <p>イ 会 場 サンセール盛岡</p> <p>ウ 内 容</p> <p>① 7月14日 (火)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度主要施策について</li> <li>・今後求められる施策の方向性について</li> </ul> <p>② 1月25日 (月) ※予定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度主要施策の実施状況報告及び令和3年度事業計画の説明について</li> <li>・今後求められる施策の方向性について</li> <li>・令和3年度社会教育関係団体活動費補助金の交付について</li> </ul>
生涯学習推進研究開発事業	県民の生涯にわたる学習活動の充実並びに市町村の関係機関・団体の学習活動を支援するため、生涯学習に関する情報提供、関係職員の研修等、生涯学習に関する研究開発を行う。	<p>《岩手県生涯学習推進研究発表会》</p> <p>ア 期 日 2月4日(木)～2月5日(金)</p> <p>イ 内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 講演</li> <li>○ 研究発表・協議</li> <li>○ 事例発表・協議</li> </ul>
<p>(3) 成果と課題・令和3年度事業の方向性</p> <p>○ 県生涯学習審議会・県社会教育委員会において、主要施策についての質疑やテーマ（「新しい時代の岩手の生涯学習・社会教育～岩手らしさを生かした生涯学習・社会教育施策の方向性について～」）に基づく協議の中で、委員より生涯学習・社会教育の振興に資する貴重な御意見をいただいた。</p> <p>☆ 審議会において各委員よりいただいた御意見を、各施策の推進に反映させていきたい。</p> <p>☆ 生涯学習施策を更に幅広く展開していくことを目指し、情報通信技術（ICT）を活用した学習情報提供の充実、地域づくり人材の育成のための研修・交流の場の提供、調査研究の一層の推進を図る。</p>		

施 策	生涯学習の普及奨励	
<p>(1) 施策の方向 生涯学習ボランティア活動推進事業を継続し、学習成果を地域社会に生かすことのできる環境の維持に努める。また、市町村や高等教育機関、民間等との連携・協力により、広域的な学習機会や学習情報を県民に提供する。</p> <p>(2) 事業実施状況</p>		
事 業 名	趣 旨	実 施 状 況
<p>生涯学習情報提供システム運営事業</p> <p>HP 「まなびネットいわて」</p>	<p>県民の学習活動を支援するため、県と市町村及び関係機関が相互に連携・協力し、インターネットの活用等による学習者のニーズに応じた情報の提供を図る。</p>	<p>○ HP「まなびネットいわて」の運用</p> <p>ア HP掲載内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者・ボランティア情報</li> <li>・講座・イベント情報</li> <li>・団体・グループ情報</li> <li>・教材情報・施設情報・新聞記事検索</li> <li>・相談・支援 等</li> </ul> <p>イ 利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データベース登録件数 3,654件 (4,028件)</li> <li>・システム利用数 22,196件 (88,165件)</li> <li>・携帯サイト利用数 226件 (612件)</li> </ul> <p>※いずれもR2年11月末現在 (R1同期)</p> <p>○ 生涯学習情報 (メールマガジン) 提供 「いわてマナビマガジン」の配信 (月2回配信)</p> <p>○ 生涯学習情報紙 「岩手県立生涯学習推進センター情報」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部数 700部</li> <li>・年間4回 (104号～107号)</li> </ul>
<p>生涯学習ボランティア活動推進事業</p>	<p>生涯学習の成果を生かす観点からボランティア活動を促進する事業を継続し、県民がこれまで蓄積してきた学習の成果を地域社会における諸活動の中で生かすことのできる環境の維持に努める。</p>	<p>○ 生涯学習ボランティアセンターの設置及び情報提供・学習相談</p>
<p>生涯学習電話相談「マナビコール」</p>	<p>生涯学習等の事業推進や活動に関する電話相談に応じる。</p>	<p>ア 期 日 4月～3月 毎週 月～金 9:00～17:00</p> <p>イ 相談件数 85件 (121件)</p> <p>※R2年11月末現在 (R1同期)</p>

<p>高等学校卒業程度認定試験</p>	<p>様々な理由で高等学校を卒業できなかった者等の学習成果を適正に評価し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があるかどうかを認定するために実施する。</p>	<p>○第1回 8月12日(水)～13日(木)  【会場：県立生涯学習推進センター】  ※文科省の委託業者が実施主管  ・出願 34人(49人) ・受験 30人(43人)  ・合格 14人(17人)  ※ ( ) 内はR1年度の実績</p> <p>○第2回 11月7日(土)～8日(日)  【会場：県立生涯学習推進センター】  ※県教委が実施主管  ・出願 43人(51人) ・受験 36人(48人)  ・合格 17人(25人)  ※ ( ) 内はR1年度の実績</p>
---------------------	---	---

(3) 成果と課題・令和3年度事業の方向性

- ホームページの運用について  
生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」について、今日的な課題に対応したコンテンツを充実させるとともに、最新情報の掲載等、県民及び社会教育関係者にとって有益な情報を提供することができた。
- 生涯学習情報の提供について  
生涯学習情報（メールマガジン）「いわてマナビイマガジン」、生涯学習情報紙「岩手県立生涯学習推進センター情報」により、学校教育関係者、県教育関係機関・施設、市町村教育委員会生涯学習・社会教育担当課等に生涯学習・社会教育に係る最新の情報を定期的に提供することができた。
- 生涯学習ボランティア活動促進事業・生涯学習電話相談「マナビイコール」について  
指導者・ボランティア情報を一元管理し、活動希望者及び活動機会に関する情報の収集と提供を行った。また、生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」における情報提供や、生涯学習に関する電話相談「マナビイコール」においても講師等の情報提供を随時行うことができた。
- ☆ 生涯学習情報提供システムのリニューアルを行い、学びの機会や活躍の場等に関する情報提供の充実やよりよいシステム管理の構築を図る。
- ☆ 他部局との連携により、地域づくり等の視点も含めた生涯学習施策を幅広く展開するとともに、生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」を活用した情報提供の充実を図ることなどにより、「いつでも・どこでも・だれでも」生涯を通じて学び続けられる環境づくりを推進する。

## 2 家庭教育の支援

施策	学習機会の提供	
<p>(1) 施策の方向</p> <p>① 親等が集まる多様な機会を活用して、子育てや家庭教育に関する学習機会の提供に努める。</p> <p>② 親子の共同体験を通して、親子の相互理解を深めるとともに、参加家族間の交流を通して、子育ての仲間づくりを推進する。</p> <p>(2) 事業実施状況</p>		
事業名	趣 旨	実 施 状 況
<p>親子共同体験 推進事業</p>	<p>親子の共同体験を通して、親子の相互理解を深めるとともに、参加家族間の交流を通して、子育ての仲間づくりを促進する。</p>	<p>ア 主 管 各青少年の家 イ 期 日 5月～3月 ウ 内 容 野外炊事、自然体験活動等</p> <p>○ 県南青少年の家</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ファミリートレッキング」 6月13日(土) 9家族22人 国見山、珊瑚岳周辺トレッキング</li> <li>・ 「かるがも親子体験教室」 ①7月4日(土) 10家族27人 アウトドアクッキング編 ②8月8日(土)～9日(日) 9家族22人 親子deキャンプ! 編</li> <li>・ 「親子de手作りクリスマス!」 ①②11月28日(土) ①7家族21人 ②8家族23人 リースづくり ③④11月29日(日) ③8家族22人 ④8家族24人 キャンドルづくり</li> <li>・ 「かるがも親子のクリスマス」 12月12日(土)～13日(日) 22家族52人 学習会、創作活動等</li> </ul> <p>○ 陸中海岸青少年の家</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「家族ふれあい塾」 8月29日(土) 7家族27人 親子デイキャンプ体験等</li> <li>・ 「親子でエンジョイ1day夜釣り」 11月28日(土) 6家族15人 体験活動、夜釣り(堤防釣り)等</li> </ul> <p>○ 県北青少年の家</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「プラネタリウム鑑賞デー」 ①6月28日(日)86人 ②9月19日(土)41人 ③12月13日(日)63人</li> <li>・ 「親子でアウトドアチャレンジ」 ①5月30日(土) 7家族20名 ②5月31日(日) 9家族24人 野外炊事等</li> <li>・ 「わんぱく広場」6月28日(日) 39人 魚つかみ、昼食交流会等</li> <li>・ 「親子でアウトドアクッキング」 ①9月19日(土) 11家族31人 ②9月20日(日) 11家族29人 親子参加による野外炊事体験</li> </ul> <p>○ 3施設合同事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「親子deチャレンジ」 会場：県南青少年の家 10月10日(土)～11日(日) 18家族49人 創作活動、フィールドワーク等</li> </ul>
<p>効果的な学習 機会の提供</p> <p>市町村への補助 金交付 【被災者支援総合 交付金事業】 【国庫補助事業】</p>	<p>保護者を対象に、関係機関団体等との連携のもと、広域的な教育課題に即した学習内容及び先進事例やワークショップ等を通じた学習方法を提供する。</p>	<p>ア 期 日 4月～3月 イ 実施市町村</p> <p>① 被災者支援交付金事業 <u>7市町村 (74講座)</u> 紫波町、大船渡市、大槌町、山田町、久慈市、洋野町、普代村</p> <p>② 国庫補助事業 <u>6市町 (72講座)</u> 遠野市、西和賀町、金ケ崎町、平泉町、二戸市、軽米町</p> <p>ウ 内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭教育支援に関する講座等の学習機会の提供</li> </ul>
<p>(3) 成果と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各施設で実施した親子の共同体験推進事業では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めながら、創意工夫された取組により多様な体験を提供することができた。</li> <li>○ 被災者支援総合交付金事業・国庫補助事業では、県内市町村において年間146講座の実施が見込まれており、課題に即した取組が展開されている。</li> <li>● 引き続き、親子共同体験推進事業等により、家庭教育に関する学習機会や親子のふれあいの場、子育ての仲間づくりの場を提供し、家庭教育支援の充実を図る必要がある。</li> </ul>		

施 策	子育て支援体制の充実	
<p>(1) 施策の方向 地域において子育てに悩む親等の相談を受けたり、子育てグループを支援したりする子育てサポーターや子育て支援関係者の資質向上及びネットワークの強化を図り、子育てサポーターの活動促進を図る。</p> <p>(2) 事業実施状況</p>		
事業名	趣 旨	実 施 状 況
家庭教育支援体制整備	地域の子育てサポーターや子育て支援団体等の活動支援と各種事業連携を通して、地域の家庭教育・子育て支援体制整備を図る。	<p>○「岩手県学校・家庭・地域の連携による支援活動促進委員会」 年2回開催 ①5/22 (14人) ②紙面開催</p> <p>○「家庭教育・子育て支援担当者研修会」 ア 主 管 生涯学習推進センター イ 期 日 10/2 ウ 内 容 実践発表、講義・演習 エ 対 象 行政担当者 (26人)</p> <p>○「子育て・家庭教育相談担当者研修会」 ア 主 管 生涯学習推進センター イ 期 日 ①10/1 ②2/15 予定 ウ 内 容 講義・演習 エ 対 象 相談機関担当者 (①26人)</p> <p>○「地域安全防災研修会」 ア 主 管 生涯学習推進センター イ 期 日 10/6 ウ 内 容 説明、講義、質疑・応答 エ 対 象 行政担当者等 (54人)</p>
子育てサポーターのスキルアップと支援関係者のネットワーク強化による活動促進	岩手県子育てサポーターと県、各市町村の子育て支援関係者との交流促進、相互理解を図り、本県の子育て支援の充実および子育てサポーターの資質向上・活動促進を図るとともに、相互のネットワークを形成することにより、本県の家庭教育の充実に資する。	<p>○「子育て支援活動交流研修会」 ア 主 管 生涯学習推進センター イ 期 日 8/25 ウ 内 容 講話、実践発表、パネルディスカッション エ 対 象 子育てサポーター、支援実践者等 (64人)</p> <p>○「子育て支援ネットワーク研修会」 ア 主 管 各教育事務所 イ 期日・内容 ① 盛岡教育事務所 10/7(51人)研修 ② 中部教育事務所 9/17(16人)話題提供・ワークショップ ③ 県南教育事務所 10/20(9人)講義・演習 ④ 沿岸南部事務所 10/23(20人)講演・情報交換 ⑤ 宮古教育事務所 10/15(23人)講義・演習・情報交換 ⑥ 県北教育事務所 10/12(45人)講義・演習 エ 対 象 行政関係者、子育てサポーター養成講座修了者、子育て支援関係者等</p> <p>○「いわて家庭教育・子育てサポートカフェ」 ア 主 管 生涯学習文化財課 イ 期 日 11/27 (いわて県民情報交流センター) ウ 内 容 講演、事例発表 エ 対 象 子育てサポーター、行政担当者 (17人)</p>
<p>(3) 成果と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を徹底しながら、各事業を実施することができた。</li> <li>○ 推進センター主管事業及び各教育事務所主管事業においては、様々な制約がある中、創意工夫を凝らした企画・運営がなされた。SNSを活用した周知、保健福祉部局や市町村担当課等との連携などにも取り組み、事業の充実を図ることができた。</li> <li>● 家庭教育や子育てを支える環境づくりの推進のため、引き続き、「家庭教育支援チーム」についての周知や登録を促す働きかけを行うとともに、子育てサポーターはじめ支援関係者の資質向上及びネットワークの強化に取り組んでいく。</li> </ul>		



施 策	学習情報の提供と相談体制の充実	
<p>(1) 施策の方向</p> <p>① 子育てに不安や悩みを抱える親等に対する相談窓口の整備充実を図るとともに、関係機関等との連携を図る。</p> <p>② 家庭教育に関する親の学習活動を促進するため、広く県民に学習情報や学習資料を提供することに努める。</p> <p>(2) 事業実施状況</p>		
事業名	趣 旨	実 施 状 況
子育て電話相談 「すこやかダイヤル」	家庭教育、特に子育てに関する悩みや不安を抱く親に対して、電話（面接）による相談を行い、家庭教育の充実を図る。	ア 開設場所 生涯学習推進センター イ 開設期間 通年 ウ 開設日時 月～金曜日（毎日10:00～17:00）ただし、国民の祝日、年末・年始は除く。 エ 電話番号 0198-27-2134（夜間は留守電、FAX） オ 相談員会議 随時開催 <利用状況> H28:680件 H29:759件 H30:544件 R1:657件 R2年度:429件（11月末現在）
子育てメール相談 「すこやかメール相談」	子育てについて学ぶ余裕がない親、子育てに関心が薄い親、孤立しがちな親など、全ての親に対してきめ細かな家庭教育支援を行うため、ITを活用した家庭教育相談を行う。	ア 開設場所 生涯学習推進センター イ 開設期間 年間 ウ 携帯サイトアドレス kosodatem@pref.iwate.jp エ 内容 ・子育てに関するメールによる相談 オ メール相談件数 H28:170件 H29:194件 H30:184件 R1:204件 R2年度:100件（11月末現在）
「すこやかメールマガジン」	子育てについて学ぶ余裕がない親、子育てに関心が薄い親、孤立しがちな親など、全ての親に対してきめ細かな家庭教育支援を行うため、ITを活用した情報提供を行う。	ア 開設場所 生涯学習推進センター イ 開設期間 通年 ウ 配信日時 毎週木曜配信 エ 内 容 ITを活用した子育てに関する情報提供 オ 登録者数 H28年度末:903件 H29年度末:1,041件 H30年度末:1,141件 R1年度末:1,863件 R2年度:2,988件（11月末現在）
家庭教育手帳の周知	乳幼児から小・中学校の子どもをめぐる家庭教育の課題や家庭教育に関する学習機会、相談窓口等に関する情報を提供する。 （電子データによる提供周知）	ア 家庭教育手帳<ドキドキ子育て> 対象 妊娠期～乳幼児の親 イ 家庭教育手帳<ワクワク子育て> 対象 小学1～4年生の親 ウ 家庭教育手帳<イキイキ子育て> 対象 小学5、6年生及び中学生の親 ※手帳については、文部科学省HPより適宜ダウンロードして活用を図る。
<p>(3) 成果と課題</p> <p>○ 11月末現在の相談件数について、「すこやかダイヤル」は昨年度の同時期と比較して微増となった。一方、「すこやかメール相談」は約2割減少したが、18時～6時までの受案件数は昨年度と同数であった。子育てに不安や悩みを抱える親などのニーズに応じて、各相談窓口がそれぞれに機能し、役割を果たしている。</p> <p>○ すこやかメールマガジンは、読者にとって親しみやすく共感でき、タイムリーな情報が得られるなど充実した内容となっており、配信登録数も増加している。</p> <p>○ SNSを活用し、より広く学習情報や学習資料を提供することができた。</p> <p>● 充実した学習情報の提供を継続するとともに、引き続き、相談窓口の整備充実や各種広報によるメールマガジンの周知、SNSを活用した効果的な情報発信等に努めていく。</p>		

### 3 青少年の学習活動の支援

施 策		子どもの読書活動推進事業
(1) 施策の方向 本県における子どもの読書活動の充実・向上を図り、生涯にわたる学びの基盤形成に資する。		
(2) 事業実施状況		
事業名	趣 旨	実施状況
子どもの読書活動推進体制整備事業	<p>○子どもの読書活動全般に係る方針等を検討し、その推進に資する。</p> <p>○子どもの読書推進に係る課題等について検討するとともに、各地域における推進体制の構築を図る。</p>	<p><b>ア 岩手県子どもの読書活動推進委員会</b></p> <p>① 第1回委員会(6/19 県立図書館) : 14人(H30報告、R1計画等)</p> <p>②第2回委員会(1/28 県立図書館) ※実施予定</p> <p><b>イ 子どもの読書活動推進体制整備事業(各地域事業)</b></p> <p>①盛岡教育事務所: 県立図書館(1/29) ※実施予定</p> <p>②中部教育事務所: 花巻合庁(7/7) 14人</p> <p>③県南教育事務所: 一関市内図書館(1/27) ※実施予定</p> <p>④沿岸南部教育事務所: 釜石合庁(11/5) 13人</p> <p>⑤宮古教育事務所: 宮古合庁(2/8) ※実施予定</p> <p>⑥県北教育事務所: 久慈市立図書館(8/20) 16人</p> <p><b>ウ 岩手県子どもの読書状況調査</b></p> <p>県内における児童生徒の読書に係る状況の調査を通じ、経年の推移等を把握するとともに、今後の施策展開の基礎資料とする。</p> <p><b>【調査スケジュール】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11月2日(月)～9日(月): 調査実施期間</li> <li>・11月16日(月): 各学校→各教育事務所へ集計表提出〆切</li> <li>・11月24日(火): 各教育事務所→生涯学習文化財課提出〆切</li> </ul> <p>※ 岩手県子どもの読書活動推進委員会の協議内容をうけ、調査票の一部(選択肢)を変更</p> <p><b>【変更前】 問7「本を読んだ理由」:</b></p> <p>エ 家族や友達、先生などからすすめられた</p> <p><b>【変更後】 エ 読みたい本があったから(人からのすすめ、話題や人気の本、好きな作家やシリーズの本があったから)</b></p>
子どもの読書活動普及啓発事業	<p>○子どもの読書推進に係る総合的な計画を策定し公表する。</p> <p>○小中高生の読書活動推進に資する。</p>	<p><b>ア 「第4次岩手県子どもの読書活動推進計画」の周知・普及</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種会議・研修会等、あらゆる機会を通じて紹介、啓発</li> </ul> <p><b>イ ブックリスト『いわての小学生のためのおすすめ図書100選』及びブックリスト『いわての中高生のためのおすすめ図書100選』活用促進</b></p> <p><b>【いわ100きつず・いわ100の配付】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新小学1年生及び新中学1年生に配付(10/1業者より発送)</li> <li>・指導者用(予備)、掲載図書一覧も配付(各校10冊)</li> <li>・いわ100きつず掲載図書一覧(エクセル)をまなびネットいわてに掲載</li> <li>・令和3年度も新小学1年生及び新中学1年生に配付予定</li> </ul>

<p>子どもの読書活動推進研修事業</p>	<p>○県域全体及び県内各地域の実情等に対応した読書に係るボランティア等の資質の向上を図る。</p> <p>○中高生の更なる読書活動推進のために、学校と関係機関との連携体制の構築及び担当者の資質の向上を図る。</p>	<p><b>ア 読書ボランティア等研修会</b>          &lt;生涯学習推進センター主管研修&gt;          ①央研修会：生涯学習推進センター(9/30) 63人          &lt;各教育事務所主管研修&gt;          ②盛岡教育事務所：矢巾町公民館(9/9) 62人          ③中部教育事務所：管内4地域で開催予定          ・大迫交流活性化センター(11/9) 68人          ・銀河ホール(11/18) 16人          ・みやもりホール(10/29) 71人          ・北上地域(12月上旬) 31人          ④県南教育事務所：水沢地区センター(8/1) 29人          ⑤沿岸南部教育事務所：大船渡市立三陸公民館(9/15) 25人          ⑥宮古教育事務所：シートピアなあと(11/6) 20人          ⑦県北教育事務所：久慈中市中央市民センター(9/9) 33人</p> <p><b>イ 中・高等学校図書館担当者等研修会</b>          &lt;各教育事務所主管研修&gt;          新型コロナウイルス感染症の影響で、今年度の開催はすべて中止。</p>
<p>その他</p>	<p>表彰関係</p>	<p>「子供の読書活動優秀実践図書館・団体(個人)」に対する文部科学大臣表彰</p> <p>【推薦スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月 9日(金)：各教育事務所→生涯学習文化財課提出〆切</li> <li>・11月 10日(火)：推薦選考委員会</li> <li>・12月 4日(金)：文部科学省あて提出</li> </ul>
<p>(3) 成果と課題(上半期)・令和3年度事業の方向性</p> <p>○センター及び各教育事務所が実施する「読書ボランティア研修会」では、スキルアップや情報交換等の参加者のニーズに対応した企画・講師招聘・運営がなされており、充実した研修事業を展開することができている。併せて、「第4次岩手県子どもの読書活動推進計画」について周知・普及を進める機会にもなっている。</p> <p>○各地域の推進体制整備事業は、地域の実態に応じて、内容や対象者等を工夫し計画・実施されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「中高等学校担当者研修会」の中止に関わり、他の事業への参加体制の工夫や周知、情報発信の機会や方法について、「令和2年度岩手県子どもの読書状況調査」の結果も有効に活用していく必要がある。</li> <li>●各地域の推進体制整備においては、引き続き幼保関係者との連携強化を図る必要がある。併せて、「第4次岩手県子どもの読書活動推進計画」に基づいた事業についての十分な検討が必要である。</li> </ul>		

施 策	地域学校協働活動・教育振興運動推進事業	
<p>(1) 施策の方向（令和2年度の重点的取組）</p> <p>ア 新5か年計画の周知を図り、地域学校連携・協働を推進するための方策を探る。</p> <p>イ 「情報メディアとの上手な付き合い方」の取組について、拡大を続ける子どもたちの情報メディア利用の現状と課題に対応する取組を進める。</p> <p>ウ コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）との連携による、「目指す子どもの姿」の共有に基づく運動を展開する。</p> <p>(2) 事業実施状況</p>		
事業名	趣 旨	実 施 状 況
教育振興運動推進幹事会	教育振興運動の推進に関する事項について協議を行う。	<p>期 日 ①7月10日（金）14人 ②3月実施で日程調整中</p> <p>会 場 県庁10階 教育委員室</p> <p>内 容 ・R1 事業実施状況・運動推進状況について ・R2 運動推進方針・推進事業について</p>
地域学校協働活動推進検討委員会	<p>(1) 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）のネットワークを構築する。</p> <p>(2) 地域学校協働活動に関わる人材の養成に向けた方策等の検討を行う。</p>	<p>期 日 ①8月19日（水）20人 ②10月14日（水）16人 ③11月25日（水）16人</p> <p>会 場 県立図書館 研修室</p> <p>内 容 ・養成研修講座のあり方について ・ボランティア向けリーフレット作成</p>
市町村担当者研修会	地域学校協働活動と教育振興運動の取組を総合的かつ一体的に進めるための方策等について理解を深める。	<p>期 日 7月8日（水）</p> <p>場 所 生涯学習推進センター</p> <p>対 象 ・市町村地域学校協働活動担当者、教育振興運動推進担当者 ・教育事務所社会教育主事、教育振興運動担当指導主事 ・県教育振興運動推進幹事等</p> <p>内 容 ①行政説明 「これからの地域学校協働活動と教育振興運動」について ②「令和2年度教育振興運動推進方針と重点的取組」について ③質疑</p> <p>参加者 52人</p>
「学校を核とした地域づくり」推進事業	<p>(1) 地域学校協働活動と教育振興運動の総合的かつ一体的な推進を目指し、関係者に対する研修機会を提供する。</p> <p>(2) 市町村及び地域（推進組織及び体制）の継続的な支援を行う。</p>	<p>ア 「地域学校協働活動・教育振興運動」推進研修会</p> <p>【盛岡】期 日 12月10日（木） 場 所 サンセール盛岡 内 容 講義 参加者 32人</p> <p>【中 部】期 日 9月29日（火） 場 所 花巻市交流会館 内 容 説明、講演・情報交換 参加者 18人</p> <p>【沿岸南部】期 日 7月14日（火） 場 所 釜石市立中妻公民館 内 容 報告、協議、講話 参加者 26人</p> <p>【県 北】①期 日 6月16日（火） 場 所 九戸村役場 内 容 説明、質疑 参加者 15人</p>

<p>「学校を核とした地域づくり」推進事業</p>	<p>(1) 地域学校協働活動と教育振興運動の総合的かつ一体的な推進を目指し、関係者に対する研修機会を提供する。</p> <p>(2) 市町村及び地域（推進組織及び体制）の継続的な支援を行う。</p>	<p>【県北】②期日 6月23日（火） 場所 軽米町役場 内容 説明、質疑 参加者 13人</p> <p>③期日 7月18日（土） 場所 洋野町民文化会館 内容 説明、講義・演習 参加者 71人</p> <p>④期日 7月20日（月） 会場 普代村役場 内容 講話 参加者 35人</p> <p>⑤期日 9月23日（水） 会場 野田村総合センター 内容 説明、質疑 参加者 10人</p> <p>⑥期日 10月22日（木） 会場 二戸地区合同庁舎 内容 説明、講義 参加者 26人</p> <p>⑦期日 10月29日（木） 会場 久慈市役所 内容 説明、情報交換 参加者 9人</p> <p>イ 学校と地域の連携・協働研修会 期日 8月6日（火） 場所 推進センター 内容 実践発表、パネルディスカッション 参加者 69人</p> <p>ウ 地域学校協働活動推進員養成研修講座 【盛岡】 2月19日（金）予定 【中部】 10月20日（火）12人 【県南】 11月10日（火）6人 【浴南】 10月6日（火）19人 【宮古】 9月17日（木）15人 【県北】 10月2日（金）15人</p> <p>エ 地域学校協働活動推進員研修会 期日 11月30日（月）26人 場所 推進センター</p> <p>オ 「学校を核とした地域づくり」の推進に係る訪問支援 内容 ①地域学校協働活動の充実 ②推進体制の整備等 方法 管内市町村の求めに応じて訪問</p>
<p>(3) 成果と課題（上半期）・令和3年度事業の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市町村担当者研修会、教育事務所開催の推進研修会等による、関係者に対する「新5か年プラン」の周知・啓発</li> <li>○ 『「学校を核とした地域づくり」の推進に係る訪問支援』等を活用した市町村への継続的な支援</li> <li>○ 推進検討委員会委員の講師招聘による、推進員養成研修講座の開催</li> <li>● 「地域学校協働活動・教育振興運動」推進研修会のもち方の検討</li> <li>● 市町村や地域の実態に即した支援の継続</li> <li>☆ 推進検討委員会委員の参画による、推進員養成研修講座のブラッシュアップ</li> </ul>		

施 策	「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」・「学校と地域の協働推進事業」 (国庫事業)	
<p>(1) 施策の方向 学校・家庭・地域の連携による教育支援活動の推進を通して、地域に応じた教育課題の解決を図るとともに、放課後の安全な居場所づくりや、地域と学校の連携体制の構築及び沿岸部における中高生等への学習支援など、今日的な課題への対応の充実を図る。</p> <p>(2) 事業実施状況</p>		
事業名	趣 旨	実 施 状 況
<p>「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」 (被災者支援総合交付金：仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業)</p> <p>「学校・家庭・地域の連携協力推進事業」 (学校を核とした地域力強化プラン)</p>	<p>震災により甚大な被害を受けた県内各地域が当面している現代的な課題の解決を図るとともに、学びや交流活動等を推進することにより、地域におけるコミュニティ形成の充実に資する。</p> <p>学校、家庭及び地域住民相互の連携・協働を推進するため、学校を核として地域住民等の参画や地域の特色を生かした事業を展開し、まち全体で地域の将来を担う子供たちを育成するとともに、地域のコミュニティの活性化を図る。</p>	<p>ア 岩手県学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進委員会 (1) 第1回促進委員会 5月22日(金) 14人 (2) 実地調査(釜石市) 11月9日(月) 16人 (3) 第2回促進委員会 紙面開催</p> <p>イ 学校支援活動(地域学校協働本部) (1) 市町村国庫事業 20市町村 72本部 (R2計画) (2) 地域学校協働活動推進員研修会 11月30日(月) 参加26名 (3) 学校と地域の連携・協働研修会 8月6日(木) 参加69人</p> <p>ウ 放課後子供教室 (R2計画) (1) 市町村国庫事業 22市町村 100教室 (2) 放課後子ども総合プラン指導者合同研修会 ① 第1回 7月14日(火) 参加129人 ② 第2回 9月3日(木) 参加41人 ③ 第3回 2月14日(日) 予定</p> <p>エ 家庭教育支援事業 (R2計画) (1) 市町村国庫事業 13市町村 146講座 (2) 県直営事業(研修会等) ① 家庭教育・子育て支援担当者研修会(再掲) ② 子育て・家庭教育相談担当者研修会(再掲) ③ 子育て支援活動交流研修会(再掲) ④ いわて家庭教育・子育てサポートカフェ(再掲)</p> <p>オ 沿岸被災地支援 (1) 中高生の学習支援 4市 14か所 (2) 移動こども図書館 2市 43か所</p>
<p>(3) 成果と課題(上半期)・令和3年度事業の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県直営事業及び市町村・委託団体による間接補助事業の計画的・効果的な実施</li> <li>○ 被災者支援総合交付金の終了を踏まえた、R3予算に係る検討及び要求準備</li> <li>● 県内各市町村の要望を踏まえた、全県のあるべき水準等の検討</li> <li>● 計画的な会計処理の実施(年度末の事業完了確認等)</li> <li>☆ 被災者支援総合交付金の終了に伴う財源縮小に対応した事業実施(予算要求中)</li> </ul>		

# 学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業

(※被災者支援総合交付金事業「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」)

東日本大震災津波による課題

- 新たなコミュニティ形成
- 安全・安心な居場所の確保等子供の学習環境の好転潜在的な課題
- 地域コミュニティの弱体化

## 地域における家庭教育支援 基盤構築事業

### 家庭教育支援（研修機会、人材育成）

- 1 県事業
  - (1) 子育て支援活動交流研修会
  - (2) 地区子育て支援ネットワーク研修会 ※6回
  - (3) いわて家庭教育・子育てサポートカフェ(仮称)
  - (4) 家庭教育・子育て支援担当者研修会
  - (5) 子育て・家庭教育相談担当者研修会 ※2回
  - (6) 読書ボランティア研修会 ※全県1回、6教育事務所で各1回
  - (7) ブックリスト配布
- 2 市町村への間接補助
  - 地域課題解決の活動・講座
  - ※R2計画13市町村146講座(注)
  - ※R1実績14市町村216講座
  - ※H30実績14市町村206講座

## 子どもの学習支援による 地域コミュニティの構築

### 学校・家庭・地域の教育支援活動促進委員会 (事業内容の検討、事業の視察、事業の検証・評価)

#### 学校・家庭・地域の教育支援活動促進委員会の設置

- 1 県事業
  - (1) 学校・家庭・地域の教育支援活動促進委員会の開催 ※委員12名(社会教育、学校教育、青少年教育、PTA、子育て支援、教育行政等の関係者、学識経験者)
  - (2) 事業実地状況調査 ※：8月～1月
  - (3) 各研修会の視察、評価・検証

### 国庫事業の評価・検証委員会を兼ねて実施

## 地域と学校の連携・協働体制構築事業

#### 放課後子供教室 (安全な居場所づくり)

- 1 県事業
  - 放課後子どもプラン指導者合同研修会
  - ※全県3回(うち1回は保健福祉部局主管)
- 2 市町村への間接補助
  - 放課後子供教室の開催
  - ※R2計画22市町村100教室(注)
  - ※R1実績23市町村108教室
  - ※H30実績23市町村105教室

#### その他の地域学校協働活動 (地域との協働促進)

- 1 県事業
  - (1) 学校と地域の連携・協働研修会
  - (2) 地域学校協働活動推進員研修会
  - (3) 人づくり・地域づくり関係職員等研修講座
  - ※沿岸南部、宮古、県北会場
  - (4) 子どもをまなびを支えるセミナー
  - (5) 地域学校協働活動推進検討委員会 ※3回
- 2 市町村への間接補助
  - 学校支援活動の実施
  - ※R2計画21市町村72本部159校(注)
  - ※R1実績19市町村62本部142校
  - ※H30実績20市町村62本部125校

#### 取組の方向性

- ① 学び・交流の場の確保
- ② 地域の緊急課題への対応
- ③ 子育てを支える人材育成

「知縁」によるソーシヤル  
キヤピタルづくり

## 沿岸被災地支援事業 (中高生の学習支援、 地域の交流促進)

### 中高生の学習支援

- 団体等への間接補助
- 中高生の学びの場の確保
- ※R2計画沿岸4市14箇所
- ※R1実績沿岸5市町16箇所
- ※H30実績沿岸5市町19箇所
- 団体
- ◇子どもへのエンパワメント  
いわて(一般社団法人)

### 地域の交流促進

- 団体等への間接補助
- 地域の交流の場の確保
- ※R2計画沿岸2市43箇所
- ※R1実績沿岸2市43箇所
- ※H30実績沿岸2市43箇所
- 団体
- ◇移動子ども図書館事業実行委員会

(注) 国庫補助事業「学校・家庭・地域連携協力推進事業補助金」で実施の場合を含む





施 策		いわて地域・学校連携促進事業	
1 施策の方向			
学校を取り巻く諸問題に地域全体で対応し教育効果を高めるため、学校が地域の人々と目標を共有し、一体となって子供たちを育むコミュニティ・スクールを促進する等、地域・学校の連携強化を支援する。			
2 事業実施状況 (R2)			
項 目	事業名	趣旨等	実施状況
(1) 情報発信	ア 「地域とともにある学校づくり」推進フォーラム (地区別)	「地域とともにある学校づくり」の充実方策について、コミュニティ・スクール (学校運営協議会制度) や地域学校協働活動の効果的な取組事例の発表等を通じて考え、各地区における円滑かつ効果的なコミュニティ・スクールの導入や取組の充実に資する。	【新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止】  ◇代替措置 ①「コミュニティ・スクール通信」の発行 (月 1 回程度) ②指導主事と社会教育主事が連携した市町村教育委員会訪問
	イ 啓発リーフレット	CS 導入に向けて導入モデル等の情報を発信する。	・地域学校協働活動ボランティア向けリーフレット作成予定。 ・岩手県高等学校 P T A 連合会会報「ポローニア」に学校運営協議会について掲載予定。
(2) 行政説明	ウ 市町村教育委員会訪問説明会	関係者が共通認識のもと地域と学校の連携・協働の一層の推進が図られるよう、教育委員会の学校教育及び社会教育関係者 (首長部局を含む) を対象に県施策の方向性に関して説明し、各市町村の動向を伺う。	・九戸村教育委員会 (6/16) 15 名 ・西和賀町教育委員会 (6/17) 2 名 ・軽米町教育委員会 (6/23) 13 名 ・平泉町教育委員会 (7/21) 20 名 ・野田村教育委員会 (9/23) 7 名 ・釜石市教育委員会 (10/1) 8 名 ・住田町教育委員会 (10/7) 8 名 ・久慈市教育委員会 (10/29) 7 名 ・大船渡市教育委員会 (11/4) 10 名 ・一関市教育委員会 (11/20) 12 名 ・奥州市教育委員会 (2/12) 35 名
(3) 支援及び事例収集	エ 地域学校連携・協働推進支援	教育関係機関、園や学校、社会教育関係機関及び団体の要請に応じて、県教育委員会の地域学校連携担当指導主事及び社会教育主事が訪問支援をすることにより、地域学校連携・協働推進のための諸課題解決や「コミュニティ・スクール」へのスムーズな導入等に資する。	・遠野市公民館主事研修会 (5/13) 12 名 ・県南教育事務所指導主事会議 (5/22) 23 名 ・紫波町スクールリーダー研修会 (6/30) 40 名 ・黒沢尻北小校内研修会 (7/2) 40 名 ・矢巾町第 1 回学校運営協議会 (7/16) 33 名 ・盛岡第三高等学校 CS 研修会 (8/3) 4 名 ・陸前高田市地域とともにある学校づくり推進研修会 (8/3) 30 名 ・八幡平市 CS 推進協議会 (8/4) 21 名 ・紫波町副校長会研修会 (8/26) 8 名 ・紫波総合高等学校 CS 準備委員会 (10/15) 15 名 ・高 P 連会長研修会 (10/16) 81 名 ・花巻清風プレ学校運営協議会 (10/26) 20 名 ・高 P 連事務局長研修会 (11/6) 81 名 ・一関市社会教育委員会 (11/17) 30 名 ・花巻市立矢沢小・中 PTA 合同 CS 研修会 (11/17) 30 名 ・八幡平市 CS 推進協議会 (12/1) 33 名 ・北上市立南小校内研 (1/15) 32 名 ・大船渡市生涯学習推進の集い (2/2) 32 名 ・八幡平市 CS 推進協議会 (2/22) 21 名
	オ 社会教育施設の有効活用	地域学校の連携・協働の望ましい在り方を社会教育施設活用の視点から考える。	取組事例の収集

(4) 調査・研究	カ 地域学校連携・協働推進モデル研究指定	地域と学校が連携・協働する方策の一つである小・中学校及び義務教育学校におけるコミュニティ・スクール導入の在り方についての研究を進め、本県の地域と学校の連携・協働の改善充実を図ることができるように本事業を実施し、その成果の普及を図る	陸前高田市教育委員会（2年目） 北上市市教育委員会（1年目） 県立西和賀高等学校（2年目） 県立高田高等学校（2年目）
	キ 連携・協働に関する実態把握や意識調査	関係者の意識調査を行い、連携・協働に関する本県の実態を把握する。	・2020年度コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動実施状況調査 ・県立学校導入意向調査
(5) 研修	ク 総合教育センター等研修	管理職・教諭等を対象にした研修を行うことによって、地域・学校連携に関する理解を深める。	・総合教育センター・各事務所 授業力向上研修 「小学校（教科外）」7/29 「中学校（教科外）」8/11 「高等学校（教科外）」8/3 「特別支援学校（教科外）」7/29 キャリア教育実践講座【中止】 新任教務主任研修講座【中止】
(6) 検討	ケ 検討委員会	地域学校連携・協働の在り方に関して、本庁各課一体となった推進のため、必要な事項を検討する。	第1回：令和2年4月6日（月） 第2回：令和2年8月27日（木） 第3回：令和3年1月21日（木）

### 3 実施した事業の主な成果（○）・課題（●）・令和3年度の方向性（☆）

#### (1) 実施した事業の成果と課題

##### ア 「地域とともにある学校づくり」推進フォーラム（地区別）

- 代替措置として、「コミュニティ・スクール通信」を発行。教職員への周知・理解を促進。
- ☆ 地域の実情に応じたコミュニティ・スクールや地域学校協働活動の貴重な実践交流の場となることから、感染症の状況も踏まえながら再開の方向で進める。

##### イ 啓発リーフレット

- 各地区コーディネーターの声を取り入れての作成。年度末に完成、配付予定。
- ☆ これまで作成したリーフレットの見直しや修正を行う。コーディネーターのパンフレット（まなびネットいわて掲載用）作成も検討。

##### ウ 市町村教育委員会訪問説明会

- ☆ 継続実施。

##### エ 地域学校連携・協働推進支援

- ☆ 継続実施。

##### オ 社会教育施設の有効活用

- ☆ 情報提供の依頼及び紹介機会の確保に努める。

##### カ 地域学校連携・協働推進モデル研究指定

- 北上市における教育委員会とまちづくり部の連携による実践研究。
- 発表の機会の確保（岩手県教育研究発表会における特設分科会の設定）。
- ☆ 市町村の指定は北上市をもって終了。県立学校の指定については、学校教育課高校担当が行っている魅力化促進事業にて実施。
- 県教育研究発表会の持ち方検討。（指定校の発表だけではなく、導入校の発表や関係者によるパネルディスカッションなどの持ち方の工夫が必要。）

##### キ 連携・協働に関する実態把握や意識調査

- ☆ 地区別校長研修講座やフォーラムでの調査再開。

##### ク 総合教育センター等研修

- ☆ 継続実施。

##### ケ 地域学校連携・協働推進検討委員会

- ☆ 継続実施。

#### (2) 令和3年度の改善の方向について

##### ア 重点

CS導入事例の収集及び周知を図り、本県のCS導入促進及び地域学校協働活動の充実を図る。

##### イ 具体的改善の視点

- ① 地域課題に応じた「地域とともにある学校づくり」推進フォーラム（地区別）の実施（再開）
- ② 「岩手県教育研究発表会」特設分科会の内容や持ち方の検討
- ③ 要請に応じた支援及びCS導入事例収集のための訪問継続

## コミュニティ・スクール導入・設置に関する施策展開の進捗状況について

### I 本県のコミュニティ・スクール導入・設置状況 (R2.7.1 現在)

#### (1) 市町村教育委員会 (小・中・義務教育学校)

**R2年度 10市町村 52校 (11.5%)** 全国：8,681校 (30.7%) ※アクションプラン：市町村数 11  
 R元年度 6市町村 34校 (7.3%) 全国：6,767校 (23.7%)  
 H30年度 6市町村 30校 (6.3%) 全国：5,432校 (14.7%)  
 (H29年度 4市町村 17校 (3.5%) 全国：3,600校 (11.7%))

H19～	【岩泉町】	H19:岩泉小、岩泉中	H20:小本小、小本中	H21:門小、小川中	R2: (新) 小川小
H25	【普代村】	普代小、普代中			
H28	【大槌町】	大槌学園、吉里吉里小、吉里吉里中			
H29	【金ケ崎町】	金ケ崎小、三ヶ尻小、第一小、西小、永岡小、金ケ崎中			
H30～	【八幡平市】	H30:安代小、寄木小 R1:平館小、寺田小、西根中、西根第一中			
		R2: 大更小、田頭小、平笠小、松野小、柏台小、田山小、松尾中、安代中			
	【山田町】	H30:豊間根小、荒川小、夫沢小、山田北小、山田南小、織笠小、轟本小、船越小、夫浦小、豊間根中、山田中			
		R2: (新) 山田小			
R2	【矢巾町】	徳田小、煙山小、不動小、矢巾東小、矢巾中、矢巾北中			
	【陸前高田市】	気仙小、広田小、小友小、米崎小、竹駒小、横田小、高田東中			
	【一戸町】	奥中山小、奥中山中			
	【田野畑村】	田野畑小、田野畑中			

——は統廃合による減少

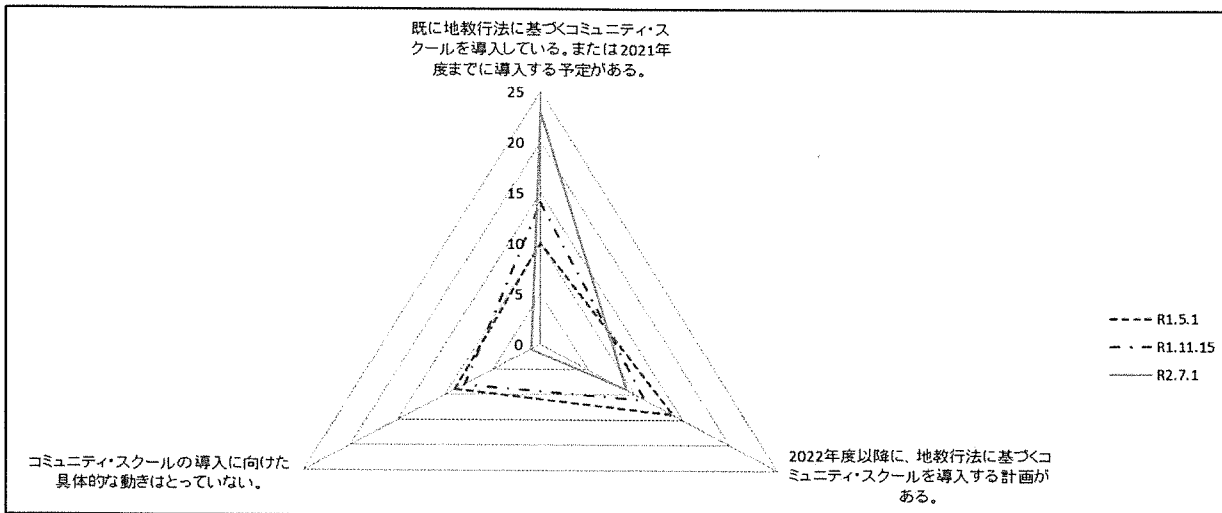
#### (2) 県立学校

**R2年度 1校 (R2～西和賀高校) (1.5%)** 全国：668校 (18.8%)

### II コミュニティ・スクール導入意向調査結果より

#### (1) 市町村教育委員会

分類	教事	R1.11.15	R2.7.1
既に地教行法に基づくコミュニティ・スクールを導入している。または2021 (R3) 年度までに導入する予定がある。	【盛岡】	5 / 8	6 / 8
	【中部】	1 / 4	3 / 4
	【県南】	1 / 4	2 / 4
	【沿岸】	2 / 5	2 / 5
	【宮古】	3 / 4	3 / 4
	【県北】	2 / 8	7 / 8
	計	14 / 33	23 / 33
2022 (R4) 年度以降に、地教行法に基づくコミュニティ・スクールを導入する計画がある。	【盛岡】		2 / 8
	【中部】	3 / 4	1 / 4
	【県南】	1 / 4	1 / 4
	【沿岸】	2 / 5	3 / 5
	【宮古】	1 / 4	1 / 4
	【県北】	4 / 8	1 / 8
	計	11 / 33	9 / 33
コミュニティ・スクールの導入に向けた具体的な動きはとっていない。	【盛岡】	3 / 8	
	【県南】	2 / 4	1 / 4
	【沿岸】	1 / 5	
	【県北】	2 / 8	
	計	8 / 33	1 / 33



- ・令和4年度には、32/33市町村がコミュニティ・スクールを導入する見込み。
- ・「導入に向けて具体的な動きなし」と回答した1市については、導入に向けて体制づくりや予算確保等に向けた研究を進めるとのこと。県としては、機会をとらえて他の市町村の導入例等を紹介するなどして、導入に向けた支援を行っていく予定。
- ・指導主事と社会教育主事が連携して、コミュニティ・スクール導入に関する訪問を行い、市町村の課題や困り感を把握し、ニーズに応じた支援を行っている教育事務所もある。

<参考：コミュニティ・スクール導入予定市町村数>

R3：23市町村（新規13）※アクションプラン：市町村数25

R4：32市町村（新規9）※アクションプラン：市町村数33

(2) 県立学校「県立学校におけるコミュニティ・スクール導入意向調査結果」より

コミュニティ・スクール設置意向	R2.3.9	R2.7.1
1 令和2年4月1日からコミュニティ・スクールとする。	1	1
2 令和2年度中に学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとする予定	2	1
3 令和3年度に学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとする予定	1	3
4 令和4年度に学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとする予定	2	4
5 令和4年度以降に学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとする予定	1	2
6 学校運営協議会の設置について検討中	7	10
7 今後、学校運営協議会の設置について検討する予定	49	48
8 学校運営協議会の設置に向けて具体的な動きをとる予定はない。	19	12

### III その他

地域学校協働活動ボランティア向けリーフレット作成中。今年度中に、教育事務所及び市町村教育委員会、公立幼・小・中・高・特支に配付予定。また、来年度のフォーラム参加者や各種団体等の研修会参加者に配付予定。まなびネットいわてのHPに掲載（ダウンロード可とする）予定。

#### 4 成人・高齢者の学習活動の支援

施 策	成人・高齢者の学習活動の支援	
<p>(1) 施策の方向</p> <p>ア 現代的な課題に対応したプログラムの企画・立案を促進する。</p> <p>イ 県民の生涯学習ボランティア活動の活性化を図るため、学習で得た成果を地域社会における諸活動に生かす環境の整備に努める。</p> <p>ウ 個人学習の充実を図るため、各種メディアの活用による講座への参加を奨励するとともに、図書館、博物館等社会教育施設の活用を促進する。</p> <p>(2) 事業実施状況</p>		
事業名	趣 旨	実 施 状 況
<p>現代的課題対応プログラム促進事業</p>	<p>現代的な課題に関する専門的研修を実施し、資質の向上を図る。</p>	<p>ア 事業プログラム企画運営研修講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9月24日 参加者25人</li> </ul> <p>イ コミュニケーションスキルアップ研修講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8月4日 参加者58人</li> </ul> <p>ウ 学校と地域の連携・協働研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8月6日 参加者69人</li> </ul> <p>エ 広報スキルアップ研修講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6月1～12日 参加者56人(オンデマンド)</li> <li>・ 7月15～17日 参加者28人</li> <li>・ 9月17日 参加者17人</li> </ul>
<p>教育メディア利用促進事業</p> <p>16mm映写機操作技術講習会</p>	<p>映画機材の適切な使用管理のため、必要な知識と技術に関係者に習得させ、その認定を行い指導者の養成を図る。</p>	<p>ア 期 日 随時</p> <p>イ 会 場 各協議会等</p> <p>ウ 内 容 講義、実習</p> <p>エ 実 績 のべ1回(8名)12月時点</p>
<p>生涯学習情報提供システム運営事業(再掲)</p> <p>学習メニューのHP掲載</p>	<p>県民の学習活動を支援するため、県と市町村及び関係機関が相互に連携・協力し、インターネットの活用等による学習者のニーズに応じた情報の提供を図る。</p>	<p>ア HP「まなびネットいわて」の運用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導者・ボランティア情報</li> <li>・ 講座・イベント情報</li> <li>・ 団体・グループ情報</li> <li>・ 教材・施設・新聞記事情報</li> <li>・ 子育てサポーター</li> </ul> <p>イ メールマガジン提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いわてマナビイマジン</li> <li>・ すこやかメールマガジン</li> </ul> <p>ウ 県立生涯学習推進センター情報発行</p>
<p>高齢者の学習活動支援・活用場の情報提供等</p>		<p>世代間交流や青少年関連事業、学校支援活動、子どもの居場所づくり、教育振興運動等への高齢者の参加促進及び活動状況の県民への事例周知等</p>
<p>(3) 成果と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現代的な課題に関する専門的研修のプログラムの企画・立案し、対象者のニーズに応じた効果的な事業の実施に努めている。また、各地域視聴覚教育協議会等との連携のもと、16mm映写機操作技術講習会を継続的に計画されている。</li> <li>○ 生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」による県民への情報提供を行っている。今後も学習情報データベースの充実を図るとともに、メールマガジンの配信等を含め、多様なツールを活用しながら情報提供に努めたい。</li> <li>● 高齢者の学習活動支援・活用については、学校支援活動、教育振興運動等の活動状況に関する情報の収集や提供等について、市町村及び関係機関の協力を得ながら一層の充実を図っていく必要がある。</li> </ul>		

## 5 社会教育の充実

施 策	指導体制の充実	
<p>(1) 施策の方向</p> <p>ア 生涯学習を今後、一層推進するためには、社会教育に関する専門的な人材が必要とされていることから、市町村教育委員会事務局に専任社会教育主事の設置促進を図るため、社会教育主事講習の受講等を奨励し、市町村における社会教育職員体制が充実するよう助言指導する。</p> <p>イ 市町村の社会教育指導員の独自設置を促すとともに、社会教育指導員の資質向上のための研修を充実する。</p> <p>ウ 県研修及び文部科学省、国立教育政策研究所社会教育実践研究センター等が主催する専門研修の受講を計画的にすすめるとともに研修体制の確立を図る。</p> <p>エ 社会教育関係職員等の資質の向上を図るために、社会教育に関するメールマガジンの配信を定期的に行う。</p> <p>オ 市町村社会教育職員を支援するため、県社会教育主事による出前研修を積極的に行う。</p> <p>カ 社会教育関係団体の自主活動を促進するため、活動費補助を行うとともに、国及び県レベルの指導者研修への参加を奨励し、指導者の養成確保と資質の向上を図る。</p> <p>(2) 事業実施状況</p> <p>ア 諸会議の開催</p>		
事業名	趣 旨	実 施 状 況
岩手県社会教育委員会 議	社会教育に関する諸計画の立案並びに調査研究を行い、本県社会教育の振興を図る。	<p>ア 期 日 ①7月14日(火) ②1月25日(月)</p> <p>イ 会 場 サンセール盛岡</p> <p>ウ 内 容</p> <p>① 7月14日(火)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度主要施策について</li> <li>・今後求められる施策の方向性について</li> </ul> <p>② 1月25日(月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度主要施策の実施状況報告及び令和3年度事業計画の説明について</li> <li>・今後求められる施策の方向性について</li> <li>・令和3年度社会教育関係団体活動費補助金の交付について</li> </ul>
岩手県社会教育主事等 会議	本県社会教育行政の方針や計画について共通理解を深め、その展開に必要な助言指導の内容を協議するとともに、行政施策推進上の課題を明らかにし、本県社会教育の振興を図る。	<p>ア 期 日 ①4月7日(火)～8日(水) ②10月27日(火) ③2月16日(火) ※予定</p> <p>イ 会 場 ①サンセール盛岡 ②岩手山青少年交流の家 ③岩手県庁</p> <p>ウ 内 容 県生涯学習文化行政の方針と計画、研修、県生涯学習文化事業の反省と次年度計画、国庫委託事業の計画、研修等</p>
市町村社会教育主管課 長会議 (教育事務所主管事業)	県社会教育行政の方針並びに施策の重点等について理解を深めるとともに、市町村社会教育行政の推進に資する。	<p>ア 期日 4月～5月(一部中止)</p> <p>イ 会場 各教育事務所等</p> <p>ウ 内容 県生涯学習文化行政の方針と計画、県及び市町村生涯学習文化行政の推進</p>

<p>「チーム社教」推進事業</p>	<p>県社会教育主事等でチームを編成し、市町村生涯学習・社会教育行政の実態を把握し、市町村の課題や支援方策等を検討・整理するとともに具体的な取組を通して、本県社会教育の一層の推進を図る。</p>	<p>ア 期日 通年 イ 会場 各市町村等 ウ 実施状況</p> <table border="1" data-bbox="879 286 1469 1480"> <thead> <tr> <th>事務所</th> <th>月日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">盛岡</td> <td>8/ 3</td> <td>八幡平市リーダー研修会における指導及び運営補助</td> </tr> <tr> <td>8/21</td> <td>盛岡教育事務所管内社会教育係長等会議への参加</td> </tr> <tr> <td>10/ 3</td> <td>区界高原少年自然の家主催事業「区界土遊塾」における指導及び運営補助</td> </tr> <tr> <td>沿岸南部</td> <td>10/ 6</td> <td>地域学校協働活動推進員養成研修講座における指導及び運営補助</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">宮古</td> <td>10/10 24 11/ 7</td> <td>山田町活動サポーター育成講座における指導及び運営支援</td> </tr> <tr> <td>10/19 20</td> <td>宮古地区社会教育関係職員研修会を通じた市町村社会教育行政の実態把握と今後の支援のあり方の検討</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">県北</td> <td>7/ 3</td> <td>県北教育事務所管内社会教育担当者研修会における事業紹介</td> </tr> <tr> <td>7/18</td> <td>洋野町教育振興会実践区リーダー研修会における行政説明及び指導</td> </tr> <tr> <td>9/16</td> <td>県北教育事務所管内社会教育担当者研修会におけるCS研修会の実施</td> </tr> <tr> <td>11/26</td> <td>県北教育事務所管内社会教育担当者研修会における活動紹介及び体験活動の実施</td> </tr> </tbody> </table>	事務所	月日	内容	盛岡	8/ 3	八幡平市リーダー研修会における指導及び運営補助	8/21	盛岡教育事務所管内社会教育係長等会議への参加	10/ 3	区界高原少年自然の家主催事業「区界土遊塾」における指導及び運営補助	沿岸南部	10/ 6	地域学校協働活動推進員養成研修講座における指導及び運営補助	宮古	10/10 24 11/ 7	山田町活動サポーター育成講座における指導及び運営支援	10/19 20	宮古地区社会教育関係職員研修会を通じた市町村社会教育行政の実態把握と今後の支援のあり方の検討	県北	7/ 3	県北教育事務所管内社会教育担当者研修会における事業紹介	7/18	洋野町教育振興会実践区リーダー研修会における行政説明及び指導	9/16	県北教育事務所管内社会教育担当者研修会におけるCS研修会の実施	11/26	県北教育事務所管内社会教育担当者研修会における活動紹介及び体験活動の実施
事務所	月日	内容																											
盛岡	8/ 3	八幡平市リーダー研修会における指導及び運営補助																											
	8/21	盛岡教育事務所管内社会教育係長等会議への参加																											
	10/ 3	区界高原少年自然の家主催事業「区界土遊塾」における指導及び運営補助																											
沿岸南部	10/ 6	地域学校協働活動推進員養成研修講座における指導及び運営補助																											
宮古	10/10 24 11/ 7	山田町活動サポーター育成講座における指導及び運営支援																											
	10/19 20	宮古地区社会教育関係職員研修会を通じた市町村社会教育行政の実態把握と今後の支援のあり方の検討																											
県北	7/ 3	県北教育事務所管内社会教育担当者研修会における事業紹介																											
	7/18	洋野町教育振興会実践区リーダー研修会における行政説明及び指導																											
	9/16	県北教育事務所管内社会教育担当者研修会におけるCS研修会の実施																											
	11/26	県北教育事務所管内社会教育担当者研修会における活動紹介及び体験活動の実施																											
<p>イ 社会教育関係職員研修の充実（現職教育）</p> <p>①基本研修・領域別研修・専門研修・社会教育関係団体との共催事業 ※生涯学習推進センター事業実施計画に掲載</p> <p>②文部科学省・文化庁・国立教育政策研究所社会教育実践研究センター研修講座等</p>																													
<p>全国生涯学習センター等研究交流会</p>	<p>全国の生涯学習センター等の代表者・職員等を対象に、生涯学習センター等の運営上の課題等について研究協議等を行う。</p>	<p>中止</p>																											
<p>公民館職員専門講座</p>	<p>公民館職員として必要な高度かつ専門的な知識・技術について研修を行い、地域の指導者的立場にある公民館職員としての力量を高める。</p>	<p>ア 期 日 10月20日(火)～23日(金) イ 会 場 国社研 ウ 内 容 講義、事例研究、演習等 エ 受講者 なし</p>																											

博物館長研修	新任の博物館長等に対し、博物館の管理・運営、サービスに関する専門知識や、博物館を取り巻く社会の動向などについて研修を行い、博物館運営の責任者としての力量を高める。	ア 期 日 9月30日(水)～10月2日(金) イ 会 場 国社研 ウ 内 容 基調講演、講義、シンポジウム等 エ 受講者 1名(北上市)
美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修「15周年記念シンポジウム」	2015年に開催した10周年記念シンポジウム後の5年間を総括し、「美術館と学校が関係して行う鑑賞教育」に関して、研修の果たした役割や成果を確認する。	ア 期 日 10月10日(土) ※ WEB 配信による開催
新任図書館長研修	新任の図書館長に対し、図書館に関する基本的な知識を教授し、館長の資質の向上を図る。	ア 期 日 9月1日(火)～4日(金) イ 会 場 自館長室等(ネット配信) ウ 内 容 講義等 エ 受講者 2名(滝沢市、一関市)
社会教育主事専門講座	社会教育主事として必要な高度かつ専門的な知識・技術に関する研修を行い、都道府県の指導的立場にある社会教育主事としての力量を高める。	ア 期 日 11月9日(月)～12日(木) ※ Web 会議システム(Zoom)を使用したオンライン(同時双方向通信)による講義 イ 内 容 講義、グループ協議、演習等 ウ 受講者 なし
地域教育力を高めるボランティアセミナー	学校・家庭・地域の連携ネットワークの推進及び地域課題の対応方策等に視点をあて、地域住民等が様々な観点から社会教育活動の事業の企画立案の在り方等について研究協議等を行う。	中止
図書館司書専門講座	司書として必要な高度かつ専門的な知識・技術に関する研修を行い、指導的立場になりうる司書及び図書館経営の中核を担うリーダーとしての力量を高める。	ア 期 日 9月14日(月)～18日(金) イ 会 場 国社研 ウ 内 容 講義、事例研究、演習等 エ 受講者 なし
博物館学芸員専門講座	学芸員として必要な高度かつ専門的な知識・技術に関する研修を行い、指導的立場になりうる学芸員としての力量を高める。	ア 期 日 12月9日(水)～11日(金) ※ オンラインによる開催 イ 内 容 講演、講義等 ウ 受講者 なし
社会教育主事講習	社会教育法第9条の5の規定及び社会教育主事講習等規程に基づき、文部科学省より委嘱を受け、社会教育主事となりうる資格を付与することを目的とした講習を実施するもの。	<弘前大学> 中止 <国立教育政策研究所> ア 社会教育主事講習 A(国社研:7/27～8/24) ※ 受講者 なし イ 社会教育主事講習 B ・期 日 1月21日(木)～2月18日(木) ・会 場 生涯学習推進センター(岩手会場) ・内 容 講義(WEB 配信)、演習等 ・受講者 16名(本県9名)



社会教育関係団体活動費補助事業

社会教育法第13条による補助金交付団体

<総括団体>

岩手県社会教育関係団体連絡協議会

<構成10団体>

- |                          |                 |
|--------------------------|-----------------|
| 1 岩手県青年団体協議会             | 6 (一社)岩手県PTA連合会 |
| 2 日本ボーイスカウト岩手連盟          | 7 岩手県高等学校PTA連合会 |
| 3 ガールスカウト岩手県連盟           | 8 岩手県社会教育連絡協議会  |
| 4 NPO法人岩手県地域婦人団体協議会      | 9 岩手県ユネスコ協会連盟   |
| 5 岩手県国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会 | 10 岩手県子ども会育成連合会 |

(3) 成果と課題(上半期)・令和3年度事業の方向性

①県社会教育主事等会議

- 県施策や新型コロナウイルス対策等について共通理解を図る貴重な機会となった。
- プレゼン形式による説明等、効果的な情報共有ができた。
- 第2回会議は内容を縮小し1日開催とした。例年並みの協議時間を確保したが、国庫事業に係る説明や資質向上を図る研修は実施を見送った。第3回会議の開催についても今後検討していく。
- ☆ 新型コロナウイルスの感染状況を踏まえつつ、会議内容の一層の充実を図り、参加者の理解の充実に努める。

②国の研修会等への参加について

- 広く周知を図り、希望に沿って研修に参加する体制を進めることができた。
- 新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった研修会がある。また、職員の参加奨励についても、積極的に行うことができなかった
- ☆ 新型コロナウイルスの感染状況に応じた参加奨励を行うとともに、研修参加に係る旅費の計画的な執行に努め、関係者の資質向上へつなげていく。

③社会教育団体補助金について

- 「事業実施状況調査」を全団体に対して実施し、事業内容や会計状況の把握を行った。補助金の適正な執行に関して確認するとともに、補助団体の活動についても理解を深めることができた。
- 各団体とも、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めながら、地域の実情やニーズを踏まえた活動を展開している。
- ☆ 団体に対する補助金等の支援について、全国的に縮小される傾向にあるが、県の施策の方向性に対する貢献度が高いことから、今後も継続した事業の実施に努める。

④「チーム社教」推進事業について

- 各教育事務所が中心となり、管内市町村の課題解決につながる実態把握、事業支援等に取り組んだ。新型コロナウイルスの影響を受けながらも各地域の実態に応じて柔軟に推進している。
- ☆ 本県の課題と考えられる「公民館・地区センターの実態把握や運営支援」に狙いを絞った事業として展開したい。

⑤社会教育主事講習について

- 「弘前大学社会教育主事講習」が中止となり、教員の若手有資格確保を目的とした「社会教育主事有資格者教員養成事業」も実施することができなかった。
- 生涯学習推進センターを会場に「社会教育主事講習B」を開催することで、「弘前大学社会教育主事講習」に替わる社会教育主事養成の機会を確保する。
- ☆ 来年度も弘前大学での開催を予定している。より多くの受講を得られるよう早目の周知を行うとともに、推薦者の旅費を公費負担する「社会教育主事有資格者教員養成事業」を引き続き実施する。
- ☆ 講習受講により「社会教育士」を称することができ、広く周知していく。

## カ 文化財の保護

施策	文化財の保存と管理	
<p>(1) 施策の方向 文化財の有効な活用を図るため、計画的な学術調査を実施のうえ指定を推進し、貴重な文化財の保護を行う。 文化財の現状を把握し、必要な保存修理等の事業を計画的に進める。</p> <p>(2) 事業実施状況</p>		
事業名	趣 旨	実 施 状 況
文化財保護審議会	文化財の保護活用を図るため、専門的な意見を徴する。	ア 第1回 令和2年9月11日 イ 第2回 令和3年2月5日 ・岩手県指定文化財に関する審議
文化財指定推進調査事業	文化財の指定を促進し保護活用を図るため、詳細な学術調査を行う。	指定候補物件調査 5件
文化財パトロール事業	文化財保護指導員による保存管理実態の把握、及び指導・助言。	11名の保護指導員により、県下一円を年間通じてパトロールする
文化財保護管理事業	市町村等が行う文化財保存修理事業等に対し、経費の一部を補助する。	ア 史跡等保存整備事業：無量光院跡、毛越寺境内附鎮守社跡、旧観自在王院庭園（平泉町）、御所野遺跡（一戸町）、橋野高炉跡（釜石市）柳之御所・平泉遺跡群（白鳥館遺跡、長者ヶ原廃寺跡）（奥州市） イ 指定有形文化財修理防災事業：旧後藤正治家住宅（奥州市）、木造不動明王坐像（平泉町）、村上家住宅（一関市）、中尊寺金色堂（平泉町）、旧吉田家住宅主屋（陸前高田市）、木造十一面観音立像（一関市）、木造聖観音立像（一関市） ウ 指定天然記念物保護増殖事業：三面椿（大船渡市） エ 埋蔵文化財保存活用整備事業：御所野遺跡（一戸町）
史跡等公有化事業	市町村が行う史跡公有化事業に対して経費の一部を補助する。	ア 史跡等公有化事業：江釣子古墳群（北上市）、九戸城跡（二戸市）
カモシカ特別対策事業	カモシカ食害対策事業に対し、経費の一部補助及び生息調査を実施し、保護と被害防止を図る。	ア 食害防止用忌避剤塗布等 2町 イ 保護地域特別調査 南奥羽山系 ウ 保護地域通常調査 北上山地 北奥羽山系
銃砲刀剣類登録事業	銃砲刀剣類所持等取締法第14条の規定による登録	ア 登録審査 県庁：奇数月20日（隔月実施） イ 登録件数 令和2年12月31日現在 34,126件
<p>(3) 成果と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文化財の調査と新たな指定により、保存と活用への道が開かれた。</li> <li>○ 計画的に事業を実施し、文化財の保護等を推進した。</li> <li>○ 文化財の保存修理等には多額の費用を要することから、計画的・重点的に事業を進める必要がある。</li> <li>○ 東日本大震災津波により被災した文化財等については、被災ミュージアム再興事業により修復や被災地博物館等への支援を行っているが、今後も継続した支援が必要となっている。</li> </ul>		

施策	埋蔵文化財の保護		
<p>(1) 施策の方向 我が国の歴史や文化を知るうえで欠くことのできない埋蔵文化財を適切に保護し活用を図るため、各種開発事業との調整、調査研究を行うための施設の拡充、出土資料の適切な保存、管理を行う。</p>			
<p>(2) 事業実施状況</p>			
事業名	趣 旨	実 施 状 況	
県内遺跡調査事業	開発事業に先立ち埋蔵文化財の保護を図るため、遺跡の分布状況を把握し、確認調査を実施する。	ア 分布調査 イ 確認調査	確認遺跡数 40件 立会調査 43件 ※件数は令和2年1月5日現在
埋蔵文化財包蔵地周知事業	遺跡の所在を広く周知し、その保護の徹底を図る。	ア 遺跡台帳・遺跡基本図の整備 イ 〃 (DVD-ROM版)の作製、配布 ウ 開発事業に先立つ遺跡の確認調査と事前協議 エ 市町村文化財担当者の研修、指導助言	
埋蔵文化財緊急調査事業	市町村が埋蔵文化財の記録保存のために行う緊急調査に対し、経費の一部を助成する。	次の事業に対して助成した。 ア 発掘調査等	18市町村
農業基盤整備関連埋蔵文化財発掘調査事業	農業基盤整備に伴う発掘調査事業の一部を負担する。(発掘調査及び報告書の刊行)	ア 経営体育成基盤整備事業 イ 経営体育成基盤整備事業 ウ ほ場整備事業	<p>&lt;発掘調査・整理作業&gt;</p> <p>若柳中部地区 (奥州市) 明神下遺跡 真城南地区 (奥州市) 中林下遺跡 泉沢・中平地区 (野田村) 平清水Ⅰ・Ⅱ遺跡</p>
県立埋蔵文化財センター管理運営	埋蔵文化財の調査及び保護並びに出土品、資料の整理研究等を実施する。	ア 所報「わらびて」、紀要を編集、刊行 イ 発掘技術講習会、埋蔵文化財展、公開講座を実施。 ウ 出土遺物の分類、收藏、保存業務	
<p>(3) 成果と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 埋蔵文化財の保護のため、遺跡の所在を確認し、周知徹底を図り、開発事業に対しては、埋蔵文化財についての理解と協力のもとに調整を図り、一部については発掘調査を実施して記録保存を行った。</li> <li>○ 発掘調査で得られた出土品の公開、調査研究、保存活用、譲与等を円滑に行うため、資料の再整理及び再収納を行った。</li> <li>○ 県内埋蔵文化財担当者の資質向上を図るための研修会等を毎年実施していたが、本年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から中止した。</li> </ul>			

施 策	平泉文化の調査研究の推進と情報発信	
<p>(1) 施策の方向 国指定史跡柳之御所遺跡内の土地の公有化を行い、内容確認の発掘調査を進めながら、史跡整備を実施する。</p> <p>(2) 事業実施状況</p>		
事業名	趣 旨	実 施 状 況
柳之御所遺跡土地公有化事業	史跡柳之御所遺跡内に残る民有地の公有化を推進する。	用地取得 ※平成28～R2年度休止
柳之御所遺跡整備調査事業	史跡柳之御所遺跡を整備し、教育的活用を図る。	ア 内容確認のための発掘調査の実施 イ 調査整備指導委員会の開催 ウ 柳之御所史跡公園の公開 エ 整備実施設計の策定 オ 遺跡整備工事の実施
平泉文化研究機関整備推進事業	平泉文化に係る調査研究を推進し、平泉を研究する人材の育成を行いながら、本県の学術文化レベルの向上を図るとともに、世界遺産拡張登録への契機とする。	ア 「平泉文化の総合的研究基本計画」(第3期)の開始 (R2～R6年度) イ 平泉文化研究に係る調査研究の推進 ウ 平泉学研究会(研究者対象)の開催 ・令和3年2月6日(土) ・岩手大学「銀河ホール」でリモート開催 エ 平泉学フォーラム(一般対象)の開催 ・令和3年2月7日(日) ・一関文化センター(中ホール)で公開及び映像配信により実施(予定) オ 研究成果の普及啓発活動 ・研究年報の刊行
<p>(3) 成果と課題</p> <p>【成果】 柳之御所遺跡の「堀外部地区」を対象とする発掘調査を実施中。今年度調査では柳之御所遺跡と中尊寺(金色堂)を繋ぐ道路跡の延長部分を確認するとともに、道路には新旧2時期あることと塀の存在が明らかになっている。</p> <p>【課題】 「平泉文化の総合的研究基本計画」(第3期)に基づいて発掘調査を進めているところであり、R6年度の研究総括を見据えた調査の進捗管理を行うことが必要。</p>		

施 策	世界遺産登録の推進	
<p>(1) 施策の方向 「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産の新規登録、「平泉の文化遺産」の拡張登録の実現を図るとともに、本県の世界遺産の価値の理解の更なる増進や保存活用の取組を推進する。</p> <p>(2) 事業実施状況</p>		
事業名	趣 旨	実 施 状 況
世界遺産登録推進事業	「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録や「平泉の文化遺産」の拡張登録に向けた取組等を実施する。	ア 縄文遺跡群の世界遺産登録に関するイコモス現地審査対応等 イ 縄文フォーラムの開催(予定) ・令和3年3月14日(日):盛岡市民文化ホール ウ 平泉の文化遺産の拡張登録に関する委員会の開催等
世界遺産保存活用推進事業	「平泉の文化遺産」「明治日本の産業革命遺産(橋野鉄鉱山)」「北海道・北東北の縄文遺跡群(御所野遺跡)」に対する県民の理解と関心を促す。	ア 世界遺産に関する出前授業の実施(知事・職員:91校、うち教育事務所実施数70校) イ 児童・生徒向けガイドブック配付 ウ 教員への普及啓発に向けた現地研修会の開催(夏季休業中に実施し、「平泉」研修25名、「橋野鉄鉱山」研修21名参加) エ 世界遺産パネル展開催

平泉文化遺産 ガイドンス施 設整備事業	「平泉の文化遺産」 を総合的に情報発 信、紹介するための 施設を整備する。	ア 令和3年度の開館に向け、平泉の文化遺産ガ イドانس施設の整備を実施
<p>(3) 成果と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県内の児童生徒が、岩手県にある世界遺産の「平泉」や「橋野鉄鉦山」に興味や関心を持ってもらうことを目的として、世界遺産に関する授業を導入するよう各学校に奨励するとともに、知事及び職員による世界遺産授業を91回実施している中で、世界遺産登録を目指している一戸町の「御所野遺跡」についても紹介し、啓発に努めた。</li> <li>○ 「北海道・北東北の縄文遺跡群」については、イコモスによる現地調査が行われたところであり、令和3年の世界遺産委員会において世界遺産登録の決定が見込まれる。</li> </ul>		

## 7 社会教育施設等の環境整備

施 策	社会教育施設の整備充実	
<p>(1) 施策の方向            県民の生涯学習を支援、援助するため、県立の社会教育施設の整備を図るとともに、市町村の社会教育施設整備計画の指導、調整を進め、住民の多様かつ専門的な学習活動に応える。また、施設設備や教育機器の有効活用を図り、学習効果の向上に努める。</p> <p>(2) 事業実施状況</p>		
事業名	趣 旨	実 施 状 況
県立青少年の家施設整備充実事業	施設の機能を充実するため、施設の改修工事等を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>【県南青少年の家】</li> <li>・ 電話交換設備等更新工事</li> <li>【県北青少年の家】</li> <li>・ トイレ改修工事</li> <li>・ 創作室床改修工事</li> <li>・ 非常用発電機更新工事</li> <li>【陸中青少年の家】</li> <li>・ 重油槽埋設配管改修工事</li> <li>・ 非常用自家発電装置点検整備</li> </ul>
地域視聴覚ライブラリーの整備充実	県内地域視聴覚ライブラリーの設置の充実と機能の強化を図り、学校教育及び社会教育の学習方法の改善に資するとともに、視聴覚ライブラリー相互の連携を強化し、視聴覚教材や教材の利用を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県立図書館視聴覚資料団体貸出部門（視聴覚ライブラリー）（県立図書館）</li> <li>・ 盛岡教育事務所管内教育振興協議会（盛岡市）</li> <li>・ 花巻市立図書館視聴覚教育ライブラリー（花巻市）</li> <li>・ 遠野市視聴覚ライブラリー（遠野市）</li> <li>・ 北上市視聴覚ライブラリー（北上市）</li> <li>・ 西和賀町視聴覚ライブラリー（西和賀町）</li> <li>・ 県南第一地域視聴覚教育協議会（奥州市）</li> <li>・ 県南第一《江刺分館》（奥州市江刺区）</li> <li>・ 県南第一《一関分館》（一関市）</li> <li>・ 県南第一《千厩分館》（一関市千厩町）</li> <li>・ 大船渡市視聴覚ライブラリー（大船渡市）</li> <li>・ 釜石市視聴覚ライブラリー（釜石市）</li> <li>・ 大槌町視聴覚ライブラリー（大槌町）</li> <li>・ 宮古市視聴覚ライブラリー（宮古市）</li> <li>・ 山田町視聴覚ライブラリー（山田町）</li> <li>・ 岩泉町視聴覚ライブラリー（岩泉町）</li> <li>・ 久慈市視聴覚ライブラリー（久慈市）</li> <li>・ 二戸市視聴覚ライブラリー（二戸市）</li> </ul>
県立美術館施設整備事業	美術館の適切な維持管理及び施設利用者の安全とニーズに配慮した施設運営を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空気調和器改修工事</li> <li>・ 中央監視システム更新工事</li> <li>・ 非常用ガスタービン発電装置点検整備</li> <li>・ 冷水流量計更新工事</li> </ul>
県立博物館施設整備事業	博物館の適切な維持管理及び施設利用者の安全とニーズに配慮した施設運営を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 非常用発電機更新工事</li> <li>・ 冷却塔更新工事</li> <li>・ オイル地下タンクFRPライニング工事</li> <li>・ 電話交換機更新工事</li> </ul>
<p>(3) 成果と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 青少年の家の施設整備により、利用者へのサービスの向上が図られるとともに、利用の増加が期待される。</li> <li>○ 地域視聴覚協議会及び各視聴覚ライブラリーは、市町村合併等に伴い、単独市町村運営のライブラリーが増加傾向にある。今後、利用者へのサービスを維持していくとともに、視聴覚教材利用の向上が図られるよう、指導を行っていききたい。</li> </ul>		

# 岩手県立野外活動センターについて

## 1. 施設概要について

東日本大震災津波により甚大な被害を受けた県立高田松原野外活動センター災害復旧代替施設として整備された。従来の施設が持っていた機能3点（①海洋性野外活動機能 ②集団宿泊研修機能 ③スポーツ合宿機能）と今後必要とされる新たな機能2点（④復興教育研修機能 ⑤防災教育研修機能）として5つの機能を有した施設となる。

### （1）各施設の概要

施設	規模	概要
テニスコート	人工芝 8 面	砂詰人工芝 8 面、夜間照明 10 塔
運動広場	400mトラック	400mトラック、直線 9 コース・トラック 8 コース サッカーフィールド、105m×68m(1 面)※ラグビー兼用 軟式野球場(2 面)、走高跳、走幅跳等
キャンプ場	宿泊 200 名	100 人テント泊可能なキャンプサイト×2、各サイトにトイレ、シャワー、 炊事場を備えた炊事棟設置 ファイヤーサークル 2 箇所
管理・宿泊棟	宿泊 200 名	宿泊 200 名、第1・第2研修室 各 100 名(間仕切り可能)、創作室 120 名、食堂 200 名
体育館	バレーボール 2 面	バレーボール2面、バスケットボール2面、バドミントン3面など

※44 人乗りバス 1 台所有(センターから 1 時間以内の場所への送迎が可能です。)





(2) 研修プログラム等について

区分	主な研修プログラム	想定される研修内容・連携先等
野外活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いかだ体験</li> <li>・創作活動</li> <li>・海釣り体験</li> <li>・漁業体験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣海水浴場でいかだ作りと乗艇体験</li> <li>・流木や貝がらなどを活用した工作</li> <li>・六ヶ浦漁港（隣接）など近隣漁港での海釣り体験</li> <li>・広田漁協でワカメの芯抜き作業体験等</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野外炊事</li> <li>・テント泊</li> <li>・トレッキング</li> <li>・ウォークラリー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内炊事棟で野外炊事体験</li> <li>・施設内キャンプ場でテント泊体験</li> <li>・みちのく潮風トレイル：海を眺めながらのトレッキング（黒崎仙峡）</li> <li>・施設周辺の自然環境やクイズを楽しみながらコースを廻る。</li> </ul>
スポーツ活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種スポーツの練習等</li> <li>・合宿</li> <li>・各種ニュースポーツ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記体育施設を活用した練習、練習試合など。</li> <li>・上記体育施設を活用した合宿、近隣施設を活用した合宿や大会への参加等</li> <li>・シャフルボード、フライングディスク、グラウンドゴルフ、ボッチャ、クップ等</li> </ul>
復興・防災教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・震災関連施設見学</li> <li>・震災遺構見学</li> <li>・語り部に聞く</li> <li>・地域の方々に聞く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災津波伝承館など</li> <li>・陸前高田被災地語り部ガイドの会</li> <li>・椿の里 大船渡ガイドの会</li> <li>・地域住民、漁協職員（漁師）、NPO関係者による震災と復興についての話等</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災体験学習</li> <li>・避難所開設ゲーム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な防災グッズの使用体験（段ボールベッド組立、非常食の試食、体育館での生活体験等）</li> <li>・避難所開設までの流れや配慮事項の体験</li> </ul>

(3) 主な主催事業

No.	事業名	期日	対象者	参加者	主な内容
1	復興関連施設 見学ツアー	① 5/11(火) ② 11/9(火)	団体指導者 教職員等	各回 30人	陸前高田市内震災復興関連施設の見学・体験、野外活動センターの活用について、現地での説明解説を行う。
2	合同事前研修会	① 6/ 8(火) ② 6/18(金) ③ 7/27(火)	7月利用団体 8月利用団体 9月利用団体 指導者	各回 30人	野外活動を伴う宿泊研修を行う学校や団体と研修内容についての相談をしたり、実際のプログラムを体験したりしてもらうことを目的に実施。研修内容についての相談や調整、施設周辺実地踏査等
3	開所式	7/ 4(日)	県民一般	150 人	知事挨拶、「シンボルマーク」「愛称・キャラクター」紹介、表彰、施設内覧会、体育施設イベント
4	野活キッズクラブ	7/10(土)～11(日) 9/25(土)～26(日) 11/20(土)～21(日) 2/ 6(土)～ 7(日)	小学5年 ～中学1年	30人	1泊2日の自然体験を年間4回実施する。全4回同じメンバーで活動する。様々な体験活動と新たな人間関係作り、集団や個人の成長を目指す。仲間作りゲーム、野外炊事、水生生物調査、漁業体験、津波伝承館見学、トレッキング等
5	ボランティアスタッフ 養成講座	7/10(土)～11(日)	高校1年 ～大学生	20人	地元の高中生やNPOの大学生を対象に今後の自然体験事業に継続して参加してくれる人材を育成。講義だけではなく、実際に子ども達に触れる機会を設定し、楽しさや活動のイメージを具体的に感じてもらう。
6	ファミリーキャンプ in 広田	8/10(火)～11(水)	小学生以上の子どもと その保護者	10組	対象を親子10組、30人程度を想定している。幼児への体験の想定している。テント泊、野外炊事、いかだ体験、磯遊び、海釣り等
7	三陸探検隊 (防災教室)	10/16(土)～17(日)	小学生とその 家族	30人	防災学習、炊き出し体験、非常食の試食、段ボールベッドの組立など、非常時の行動を模擬体験する。親子で参加し、家庭内で防災について考える機会とする。
8	スポーツキッズ	1/15(土) 1/29(土) 2/12(土) 2/26(土)	小5 ～小6	25人	コーディネーショントレーニングや体力づくり、各種競技の体験を実施する。運動する機会が減る冬季に実施する。



## 2. シンボルマーク等の公募について


県立野外活動センターの「シンボルマーク」及び「施設愛称」を募集したところ、県内から多数の応募があまりました。

- ・シンボルマーク（応募作品数：263 作品、応募者数：258 人、8 歳～71 歳）
- ・施設愛称（応募作品数：233 作品、応募者数：223 人、6 歳～82 歳）




### 【選考結果】

#### (1) シンボルマーク

##### ア 最優秀賞（1点）

<b>【作品】</b> 	<b>【作品の説明】</b> このデザインには多くの人達が、施設で元気いっぱい楽しく過ごしてほしいという想いを込めました。広田のHを施設利用者の姿に見立て、運動広場と海を描きました。
<b>【受賞者】</b> 伊藤 勝則（イトウ カツリ）（一関市・デザイナー）	

##### イ 優秀賞（3点）

<b>【作品】</b>			
<b>【受賞者】</b>	村上 彩花（ムラカミ アカ） （県立高田高等学校1年）	佐々木 純一（ササキ ジュンイチ） （大船渡市・自営業）	小泉 舞桜（コイズミ マオ） （県立高田高等学校1年）

#### (2) 施設愛称

##### ア 最優秀賞（1点）

<b>【作品】</b> ひろたハマラインパーク	<b>【作品の説明】</b> 浜の町、広田から望む太平洋の海岸線（浜のライン）と気仙語の「はまらいん」（＝集まろう、仲間になろう）をあわせ、広田での活動を通して公園（パーク）のように広くみんなが親しみやすい施設になればよいという願いを込めました。
<b>【受賞者】</b> 小松 敬一（コマツ ケイイチ）（陸前高田市・公務員）	

##### イ 優秀賞（3点）

<b>【作品】</b>	アスポート 高田	シーパーク つむぎの森	海アリーナひろた
<b>【受賞者】</b>	高橋 善雄（タカハシ ヨシオ） （盛岡市・無職）	斉藤 光凜（サイトウ ヒカリ） （大船渡市立立根小6年）	古山 凌覚（フルヤマ リョウカク） （陸前高田市立広田小3年）

#### (3) イメージキャラクター募集

募集期間 1月8日～25日

審査結果公表 2月下旬予定

## 3. 今後のスケジュールについて

令和3年3月 シンボルマーク、施設愛称、キャラクター決定・表彰式

工事完了引き渡し予定

5月 屋外体育施設利用開始（テニスコート、多目的運動広場）

復興教育関連施設見学研修会実施

7月 開所式・研修受け入れ開始

### ※集団宿泊研修の予約受付と研修の受け入れについて（予定）

- |            |   |
|------------|---|
| ① 令和2年12月  | 沿岸南部教育事務所管内各種学校の宿泊研修等の受付開始                          |
| ② 令和3年1月下旬 | 県内各種学校の研修等の受付開始                                     |
| ③ 令和3年2月   | その他団体の宿泊を伴う研修・合宿の受付開始（6か月先まで）                       |
| ④ 令和3年6月   | 研修団体の代表者のための合同事前研修会（3回）<br>※バスの利用や研修内容の現地踏査と打合せを行う。 |



令和3年度

# 生涯学習・文化財行政の 事業計画（案）

令和3年1月25日現在

生涯学習・文化財行政の体系

- 1 生涯学習の推進
- 2 家庭教育の支援
- 3 青少年の学習活動の支援
- 4 成人・高齢者の学習活動の支援
- 5 社会教育の充実
- 6 文化財の保護
- 7 社会教育施設等の環境整備

岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課

# 令和2年度 生涯学習・文化財行政の体系

## いわて県民計画 2019～2028

I 健康余暇 II 家族・子育て III 教育 VII 歴史・文化

～東日本大震災津波の経験に基づき、引き続き復興に取り組みながら、  
お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて～

### 岩手県教育振興計画

計画  
期間

2019年度～2023年度  
までの5年間

#### 岩手の教育をめぐる状況

##### 1 岩手の教育の歩み

- ・ 平成18年の教育基本法の改正以降、社会全体での教育改革が進行
- ・ 教育振興運動や「いわて教育の日」などの取組の推進
- ・ 学習定着度状況調査による「わかる授業」の実践
- ・ 県立美術館、県立図書館の整備等
- ・ 「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」の開催
- ・ 平泉の文化遺産や橋野鉄鉱山の世界遺産登録

##### 2 社会状況の変化

- ・ 人口減少・少子化・高齢化の進行
- ・ 急速な技術革新やグローバル化の進展
- ・ 子どもを取り巻く社会経済的な課題の表面化
- ・ 地域間格差の拡大
- ・ 東日本大震災津波からの復旧・復興

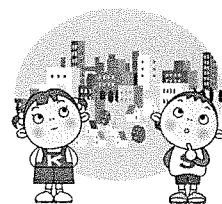
##### 3 岩手県の教育の現状と課題

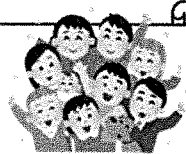
###### 学校教育

- 子どもたちをめぐる課題
  - ・ 授業力の向上や家庭学習の定着
  - ・ 情報社会に主体的に対応する力の育成
  - ・ 運動習慣の定着
  - ・ 特別支援教育における発達段階に応じた支援や指導
  - ・ いじめへの適切な対応
  - ・ 問題行動等の未然防止、早期発見・適切な対応
- 教職員のスキルの継承と負担の増加
  - ・ 働き方改革による「チームとしての学校」の推進
- 高校卒業後の進学や就職を取り巻く環境
  - ・ 大学入試制度改革への対応
  - ・ 地元定着の促進に向けたキャリア教育の充実
- 学校の統廃合や施設の老朽化
  - ・ 教育の質の保証と学ぶ機会の保障

###### 社会教育・家庭教育

- 家庭の状況変化
  - ・ 社会全体での教育力の向上
- 地域コミュニティの変化
  - ・ 教育振興運動や生涯学習による  
地域コミュニティの維持向上
- 人生100年時代の到来
  - ・ 生涯にわたって学び続けられる環境づくり
- 文化芸術・スポーツへの関心の高まり
  - ・ 文化芸術やスポーツの推進と  
地域への愛着の醸成





## 社会教育・家庭教育

目指す姿

県民が、主体的・相互的に連携し、助け合うことにより、家庭の教育力の向上に努めるとともに、地域課題の解決に向けた取組や、文化芸術・スポーツ活動などへの参加により、生涯を通じて楽しく学び、生き生きと生活しています。

取組の  
視点

視点1

岩手だからこそできる教育、やるべき教育の推進

視点2

郷土に誇りと愛着を持つ心を育み、岩手で、世界で活躍する人材を育成

視点3

学びの場の復興の更なる推進

### <具体的な施策の内容>

## 社会教育・家庭教育

### <具体的な推進方策>

学校と家庭・地域との協働の推進

- 学校・家庭・地域が連携するしくみづくり
- 多様な体験活動の充実
- 地域学校協働活動の推進 等

子育て支援や家庭教育支援の充実

- 子育てや家庭教育に関する学習活動支援
- 電話やメール等による相談体制の充実
- 子育て支援グループのネットワークづくり 等

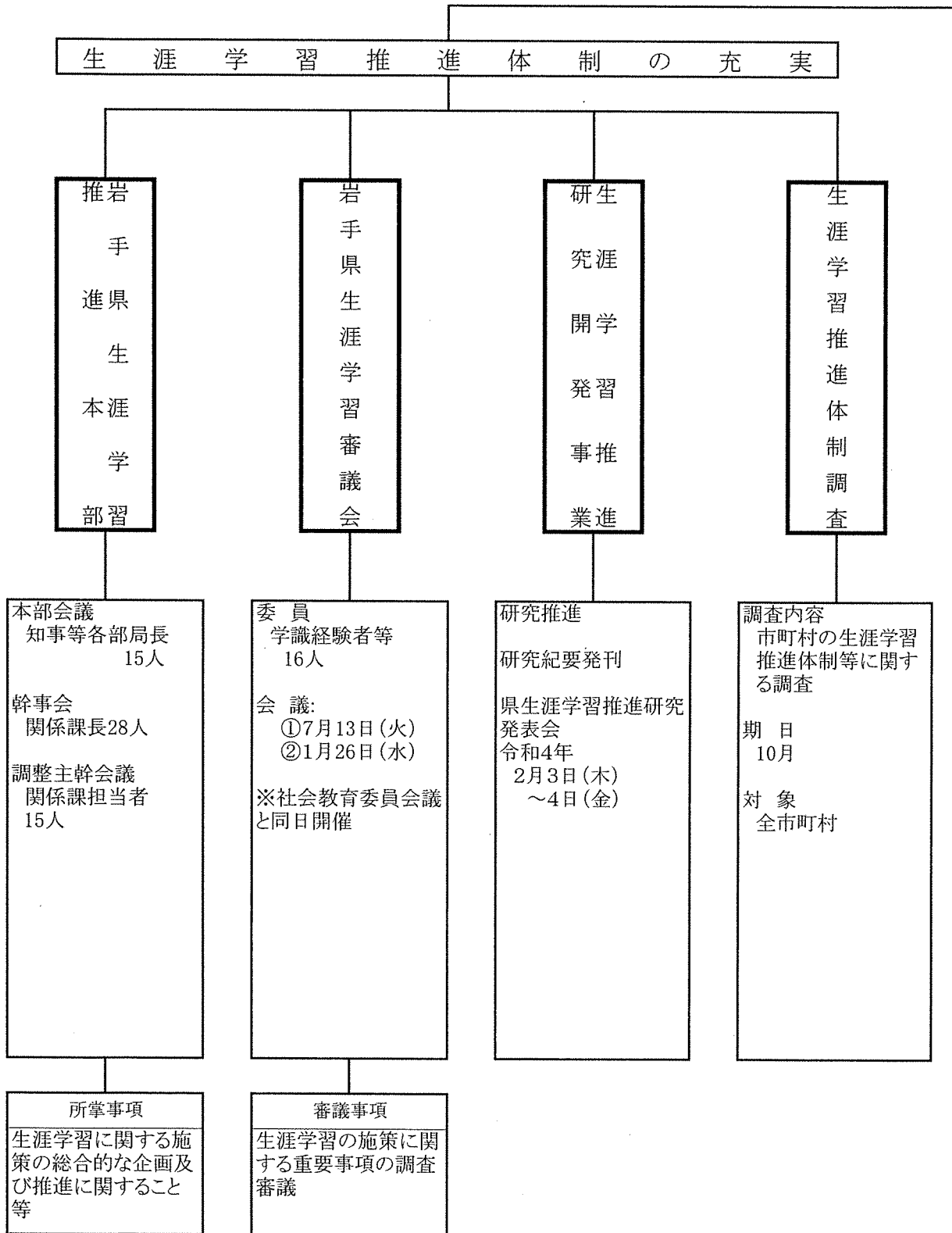
生涯にわたり学び続ける環境づくり

- 多様な学習機会の充実
- 学びと活動の循環による地域の活性化
- 社会教育の中核を担う人材の養成・確保と研修の充実 等

次世代につなげる郷土芸能や文化財の継承

- 学校における特別活動や文化部活動による郷土芸能の継承
- 文化財の適切な保存と継承 等

# 1 生涯学習の推進



生涯学習の普及奨励

生涯学習情報提供

- HP「まなびネットいわて」の運用
  - ア 指導者・ボランティア情報
  - イ 講座・イベント情報
  - ウ 団体・グループ情報
  - エ 教材情報
  - オ 施設情報
  - カ 相談・支援 等
- メールマガジン提供
- 県立生涯学習推進センター情報紙発行
- SNS（フェイスブック、ツイッター）の運用

生涯学習推進事業

- 生涯学習ボランティアセンターの一元化・再構築化
  - ・データについては生涯学習推進センターに一元化
  - ・各教育事務所単位での相談業務は継続
- 生涯学習ボランティア等に関する情報の提供(HP「まなびネットいわて」に掲載)

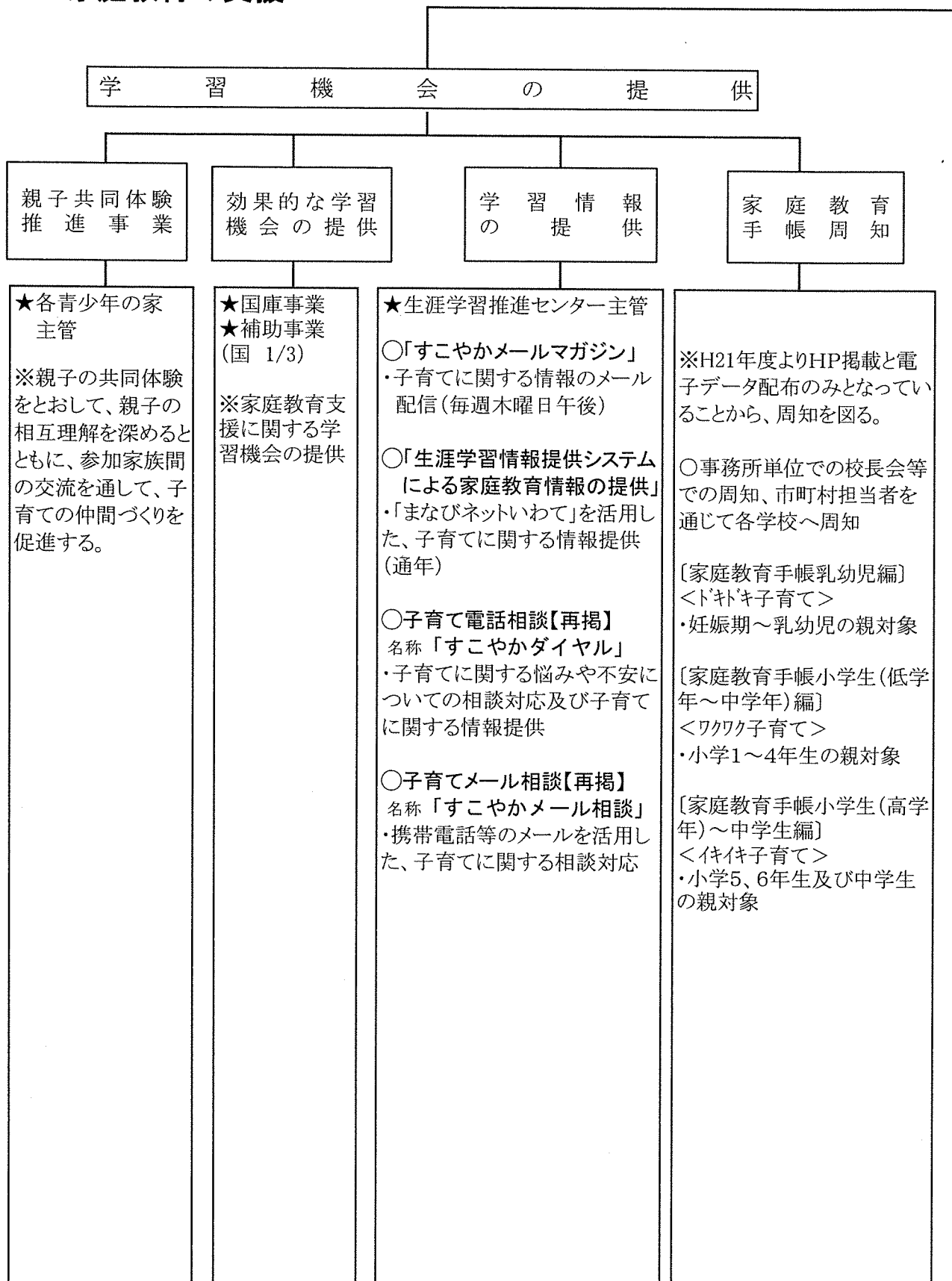
生涯学習相談

- 開設日 月～金
- 時間 9:00～17:00
- 電話 0198 (27) 4563
- 担当 専門職員等

高等学校卒業程度

- 期日
  - ①8月12日(木)～13日(金)
  - ②11月6日(土)～7日(日)
- 対象 高校を卒業していないなどのため、大学入学資格を有していない者
- 場所 生涯学習推進センター
  - \*要項は県が配布
  - \*願書の提出は直接国へ

## 2 家庭教育の支援





家庭教育を支える環境づくり

相談体制の充実  
意識啓発

★生涯学習推進センター  
主管

○子育て電話相談  
名称  
「すこやかダイヤル」  
・子育てに関する悩み  
や不安についての相談  
対応及び子育てに関する  
情報提供

○子育てメール相談  
名称  
「すこやかメール相談」  
・携帯電話等のメールを  
活用した、子育てに関  
する相談対応

○「すこやかメール  
マガジン」【再掲】  
・子育てに関する情報の  
メール配信(毎週木曜  
日午後)

家庭教育  
支援体制整備

★国庫事業

○促進委員会の開催  
期日 年2回  
(5月21日、1月21  
日)  
会場 サンセール盛岡  
内容 学校・家庭・地域の  
連携による教育支  
援活動促進に向け  
た事業内容の検討  
検証・評価等を行う  
委員 有識者、児童福祉  
関係者、教育係等  
視察 8～12月

○家庭教育・子育て支  
援担当者研修会  
目的 行政担当者等のス  
キルアップ  
回数 1回(センター主管)  
内容 講演、グループ協議  
対象 行政担当職員等

○子育て・家庭教育相  
談担当者研修会  
目的 電話相談担当者等  
のスキルアップ  
回数 2回(センター主管)  
内容 講話、講義  
対象 電話相談担当者等

★生涯学習推進センター  
主管

○地域安全防災研修会  
目的 行政担当者等のス  
キルアップ  
回数 1回(センター主管)  
内容 講義、演習  
対象 行政担当者等

子育てサポーター等の  
スキルアップ・支援関  
係者のネットワークづ  
くりによる活動促進

★国庫事業

○子育て支援活動交流  
研修会  
目的 関係者の資質向上  
とネットワーク形成  
回数 推進センター1回  
(センター主管)  
内容 講義、事例発表、  
ワークショップ  
対象 子育てサポーター、  
行政担当職員、支援  
団体関係者等

○地区家庭教育・子育て  
支援ネットワーク研修会  
目的 支援者の資質向上、  
地域の課題解決の  
ためのネットワー  
ク構築  
回数 教育事務所管内  
各1回程度  
(事務所主管)  
内容 管内の課題による  
対象 上記研修会に同じ

放課後児童支援員  
認定資格研修

★補助事業  
(国1/2、県1/2)

※放課後児童健全育成  
事業の設備及び運営に  
関する基準の改正  
(H26.4)に伴い、県が  
実施する研修を子ども  
子育て支援課と共催で  
開催し、子育て家庭を  
支援する。  
主催 子ども子育て支  
援課  
共催 生涯学習文化財課  
主管 生涯学習推進セ  
ンター

○岩手県放課後児童支  
援員認定資格研修  
期日 7月～11月  
会場 4会場程度  
※調整中  
内容 講義、演習等  
(16科目24時間  
程度)  
対象 放課後児童クラ  
ブ等での従事を  
希望している方  
または従事して  
いる方

### 3 青少年の学習活動の支援①

子どもの読書活動推進事業	
子どもの読書活動推進体制整備事業	子どもの読書活動推進研修事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>○岩手県子どもの読書活動推進委員会 (6月16日、1月28日)</li> <li>・県全域における推進方針検討</li> <li>・推進状況の評価 等</li> <li>○子どもの読書活動推進体制整備事業 (各地域事業)</li> <li>・各地区における推進体制の整備</li> <li>・各教育事務所主管</li> <li>○岩手県子どもの読書状況調査</li> <li>対象期間：10月1日～31日</li> <li>調査対象：県内の公立小学校5年生・ 中学校2年生(義務教育 学校5年・8年)・高校 2年生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○読書ボランティア等研修会 (中央研修)</li> <li>・県内全域を対象とした読書ボランティア等の 資質向上を図る</li> <li>・生涯学習推進センター主管</li> <li>○読書ボランティア等研修会 (各地域研修)</li> <li>・地域の実情に応じた研修会</li> <li>・各教育事務所主管</li> <li>○中・高等学校図書館担当者等研修会</li> <li>・学校と関係機関との連携体制構築及び担当者 の資質向上を図る</li> <li>・各教育事務所主管</li> </ul>
子どもの読書活動普及啓発事業	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○岩手県子どもの読書活動推進計画 【第4次】の周知・普及</li> <li>・各種会議、研修会等における周知</li> <li>○ブックリスト「いわ100(中高生向 け)」及び「いわ100きっず(小学生 向け)」の活用促進</li> <li>・中学1年生及び小学1年生への配付</li> <li>・活用例等の情報提供</li> </ul>	

## 青少年の家プログラム充実事業

- 県立各青少年の家におけるプログラム開発
  - ・特色ある自然体験プログラム
  - ・不登校児童生徒等対応プログラム
  - ・地域人材のボランティア養成プログラム

## 青少年健全育成連携事業

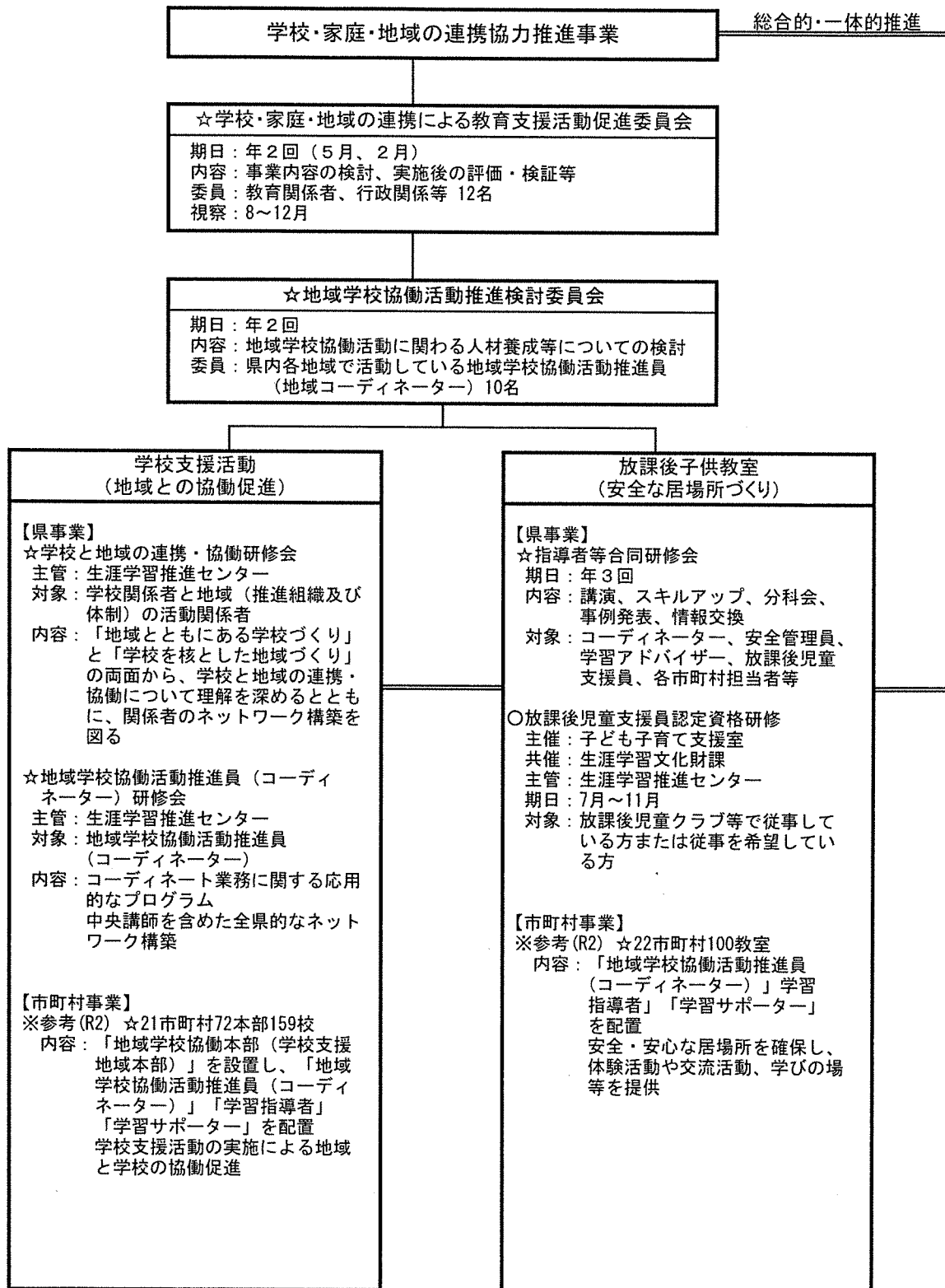
若者女性協働推進室  
・青少年育成県民会議連携

- いわて希望塾
  - ・期日：11月予定
  - ・場所：未定
  - ・内容：未定
- わたしの主張岩手県大会
  - ・期日：9月15日
  - ・場所：盛岡劇場・河南公民館
  - ・内容：中学生による意見発表
- わたしの主張地区大会
  - ・期日：8月～9月
  - ・場所：各警察署管内
  - ・内容：中学生による意見発表
- 情報メディア対応促進事業
  - ・教振運動との連携
  - ・出前講座
  - ・講師派遣に係る情報提供
  - ・相談窓口紹介
- 立入調査
  - ・不健全図書立入調査
  - ・隔月実施
- いわて家庭の日
  - ・家族・親子のふれあいを啓発する県民運動を推進
  - ・毎月第3日曜日

子どもゆめ基金

子どもゆめ基金

### 3 青少年の学習活動の支援②(学校と地域の連携・協働)



地域学校協働活動・教育振興運動推進事業

連携  
目標共有

いわて地域学校連携促進事業

教育振興運動推進幹事会

期日：年2回（7月、2月）  
幹事：教委13名＋知事部局2名  
内容：運動の推進方針の検討、運動の評価と反省  
視察：7～12月

地域学校連携・協働推進検討委員会

期日：年2回  
委員：関係室課・機関 17名  
内容：地域学校連携・協働推進検討委員会の所掌  
事務及び本県施策に関する協議

- 「地域学校協働活動・教育振興運動」市町村担当者研修会  
主管：生涯学習文化財課  
期日：5月18日  
場所：生涯学習推進センター  
対象：市町村担当者、教育事務所担当者  
内容：行政説明、演習等
- 「地域学校協働活動・教育振興運動」地域活性化推進事業  
・地域学校協働活動推進員（コーディネーター）地区別研修講座  
主管：教育事務所  
対象：今後、地域学校協働活動推進員（コーディネーター）の役割を担うことが考えられる保護者及び地域住民、等  
内容：各地域で活動している推進員（コーディネーター）の参画により設定  
上記推進員を中心とした各地域のネットワーク構築
- ・「地域学校協働活動・教育振興運動」の充実や推進体制の整備等を目的とする訪問支援  
主管：教育事務所  
内容：地域学校協働活動の充実や推進体制の整備等を目的に実施する訪問支援

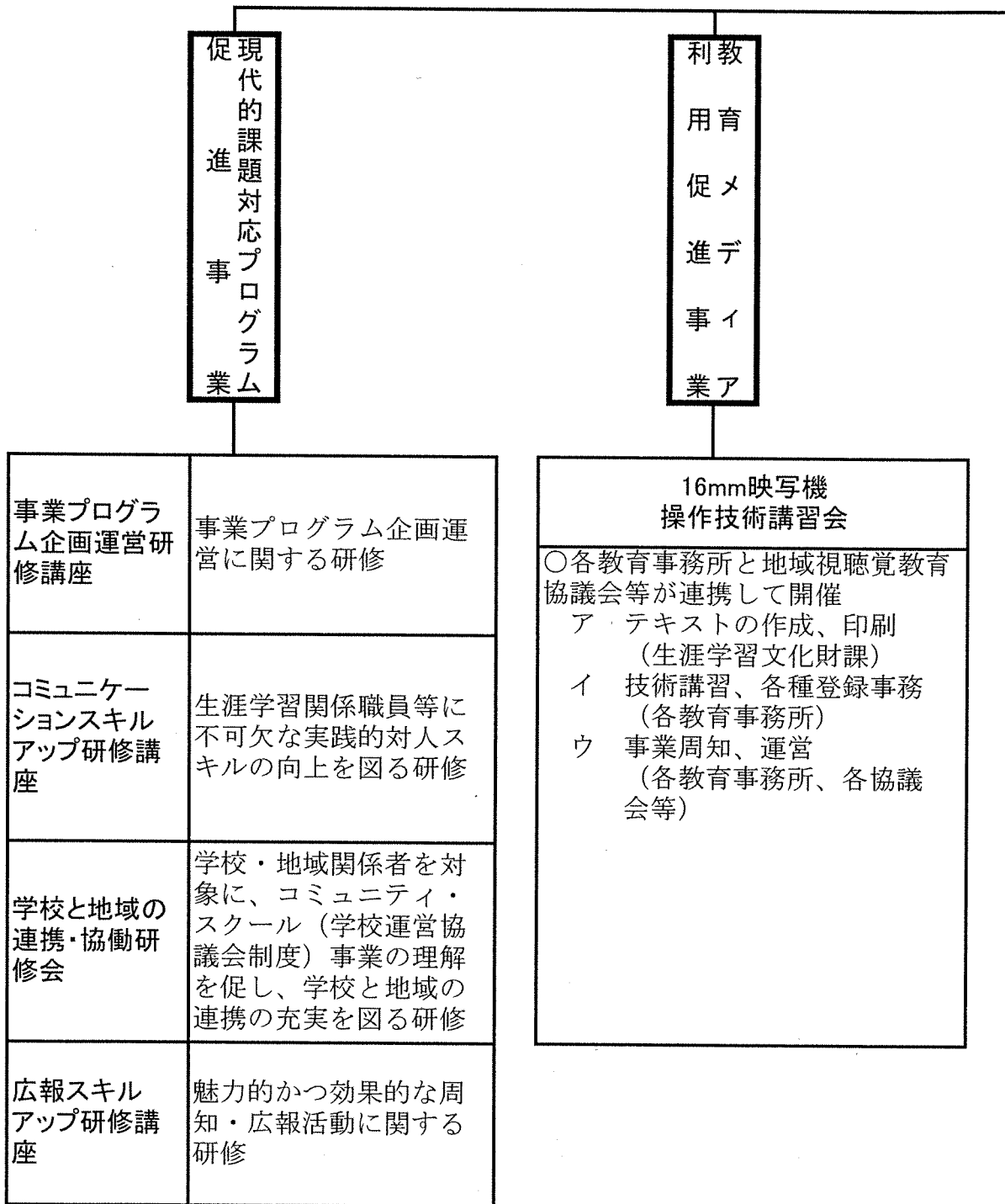
- 地区「地域とともにある学校づくり」推進フォーラム  
期日：各教育事務所と調整  
場所：各教育事務所管内  
内容：行政説明、実践事例発表、パネルディスカッション等
- 教育委員会説明会（要請に応じて実施）  
期日：各市町村教育委員会と調整  
場所：各市町村庁舎内  
内容：国および県施策の説明
- 地域学校連携・協働推進支援事業  
期日：通年  
場所：各市町村、学校、地区等  
内容：指導主事・社教主事が連携し、各町村等が抱える課題解決のための事業等に対し、要請に応じてチームによる支援を実施する。
- 社会教育施設の有効活用  
期日：通年  
場所：各青少年教育施設等  
内容：社会教育施設を活用した授業の取組事例を収集・紹介する。
- 地域学校連携・協働推進モデル指定研究事業  
コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入等、地域学校の連携・協働の在り方等について調査研究を行うとともにその成果を普及啓発する。

（注）☆が付いている事業

R2までは、被災者総合交付金事業「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」（国10/10）ならびに国庫事業「学校・家庭・地域連携協力推進事業」（国1/3、県1/3、市町村1/3）構成事業として実施

R3からは、全て国庫事業「学校・家庭・地域連携協力推進事業」（国1/3、県1/3、市町村1/3）構成事業として実施

## 4 成人・高齢者の学習活動の支援



(再掲)

シ生  
ス涯  
テ学  
ム習  
運情  
営報  
事提  
業供

用高  
の齡  
場者  
のの  
情学  
報習  
提活  
供動  
支支  
援援  
・活

学障  
習が  
活い  
動者  
のの  
推生  
進涯  
を通  
じた

### 学習メニューのHP掲載

#### ○HP

「まなびネットいわて」  
の運用

- ア 指導者・ボランティア情報
- イ 講座・イベント情報
- ウ 団体・グループ情報
- エ 教材・施設・新聞記事情報
- オ 子育てサポーター

#### ○メールマガジン提供

- ア いわてマナビィマガジン
- イ すこやかメールマガジン

#### ○県立生涯学習推進センター情報発行

・世代間交流  
や青少年関連  
事業、学校支  
援活動、子ども  
の居場所づくり  
、教育振  
興運動等への  
高齢者の参加  
促進及び活動  
状況の県民へ  
の事例周知等

### 学習支援体制整備

- 障がい者の学校卒業後の学び  
の基盤づくり
- 関係各課による庁内連携会議
  - ・第1回 7月
  - ・第2回 3/8(火) ※予定
  - 市町村担当者研修会
  - ・8/3(火) ※予定
  - ・生涯学習推進センター
  - 学習活動を支える人材の育成
  - 実践交流

### 調査・研究

- 市町村担当者調査
- 県立生涯学習推進センターにおける研究テーマとしての設定
- ニーズ調査等

### 学習情報の提供等

- 関係各課、各市町村への情報提供
- 文部科学大臣表彰等による好事例の紹介

## 5 社会教育の充実

### 指導体制の充実

#### 諸会議の開催

県社会教育委員会議

- ・第1回 7/13
- ・第2回 R4 1/26

県社会教育主事等会議

- ・第1回 4/7、8
- ・第2回 11/16、17
- ・第3回 R4.2/16

市町村主管課長会議

- ・各教育事務所
- ・4～5月

都市社会教育主管課長会議

- ・一関市

#### 人的体制の充実

社会教育主事講習の受講促進  
社会教育主事の配置促進

(再掲)

#### 「いわてマナビマガジン」の配信

・教育振興運動など生涯学習・社会教育に関する最新トピックを月2回配信。

#### 社会教育関係職員研修の充実

##### 【生涯学習推進センター関係】

- ・市町村職員・関係職員研修
- 新任生涯学習関係職員研修講座
- 社会教育指導員・地域づくり関係職員等研修講座
- センター・公民館・主管課職員等セミナー
- 人づくり・地域づくり関係職員等研修講座
- 事業プログラム企画運営研修講座
- コミュニケーションスキルアップ研修講座
- 学校と地域の連携・協働研修会
- 地域安全防災研修会
- 広報スキルアップ研修講座
- 家庭教育・子育て支援担当者研修会
- 子育て・家庭教育相談担当者研修会
- 岩手県地域視聴覚教育協議会専任職員等研修会
- ・ボランティア活動者・有志指導者研修
- 地域学校協働活動推進員(コーディネーター)研修会
- 読書ボランティア研修会
- 放課後子ども総合プラン指導者合同研修会
- 子育て支援活動交流研修会
- 子どものまなびを支えるセミナー

##### ・要請研修

随時研修(通年)、出前研修(講師派遣)

##### ・その他

- 岩手県生涯学習推進研究発表会
- 放課後児童支援員認定資格研修
- 北海道・北東北4県生涯学習センター職員交流研修会

##### 【社会教育主事講習】

- ・弘前大学・国社研A・B

##### 【県立図書館関係】

- 新任図書館長等研修会
- 初任職員研修会
- 中堅職員研修会
- 図書館職員・図書館協議会委員合同研修会
- 市町村職員専門研修

##### 【文部科学省、社会教育実践センター等】

- 全国生涯学習センター等研究交流会
- 地域教育力を高めるボランティアセミナー
- 公民館職員専門講座
- 図書館司書専門講座
- 図書館地区別研修(北日本)
- 新任図書館長研修
- 博物館長研修
- 社会教育主事専門講座
- 博物館学芸員専門講座
- 全国博物館長会議
- 学芸員等在外派遣研修

##### 【独立行政法人 国立女性教育会館】

- 男女共同参画推進フォーラム
- 地域における男女共同参画推進リーダー研修



## 社会教育施設の整備充実

### 社会教育関係団体への助成

#### 【総括団体】

岩手県社会教育関係団体連絡協議会

#### 【構成10団体】

岩手県青年団体協議会

日本ボーイスカウト岩手連盟

ガールスカウト岩手県連盟

特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会

岩手県国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会

(一社)岩手県PTA連合会

岩手県高等学校PTA連合会

岩手県社会教育連絡協議会

岩手県ユネスコ協会連盟

岩手県子ども会育成連合会

### 社会教育基本調査

・全市町村対象  
10/1現在で調査

・集計は、生涯学習推進センター

管  
立  
理  
図  
書  
運  
館  
の  
営

管  
立  
理  
青  
少  
運  
年  
の  
営  
家

整  
視  
聴  
覚  
備  
ラ  
イ  
ブ  
ラ  
リ  
ー  
充  
実  
の

- ・県立図書館視聴覚資料団体貸出部門  
(視聴覚ライブラリー) (県立図書館)
- ・盛岡教育事務所管内教育振興協議会  
(盛岡市等)
- ・花巻市立図書館視聴覚教育ライブラリー  
(花巻市)
- ・北上市視聴覚ライブラリー(北上市)
- ・西和賀町視聴覚ライブラリー(西和賀町)
- ・県南第一地域視聴覚教育協議会  
(奥州市等)
- ・大船渡市視聴覚ライブラリー(大船渡市)
- ・釜石市視聴覚ライブラリー(釜石市)
- ・遠野市視聴覚ライブラリー(遠野市)
- ・大槌町視聴覚ライブラリー(大槌町)
- ・久慈市視聴覚ライブラリー(久慈市)
- ・宮古市視聴覚ライブラリー(宮古市)
- ・山田町視聴覚ライブラリー(山田町)
- ・岩泉町視聴覚ライブラリー(岩泉町)
- ・二戸市視聴覚ライブラリー(二戸市)

### 公立社会教育施設災害復旧事業

市町村における社会教育施設の災害復旧への支援

#### ※ 国庫補助事業

・実績報告 ・額の確定 ・請求、支払

#### 【該当市町】

・陸前高田市

### 「チーム社教」推進事業

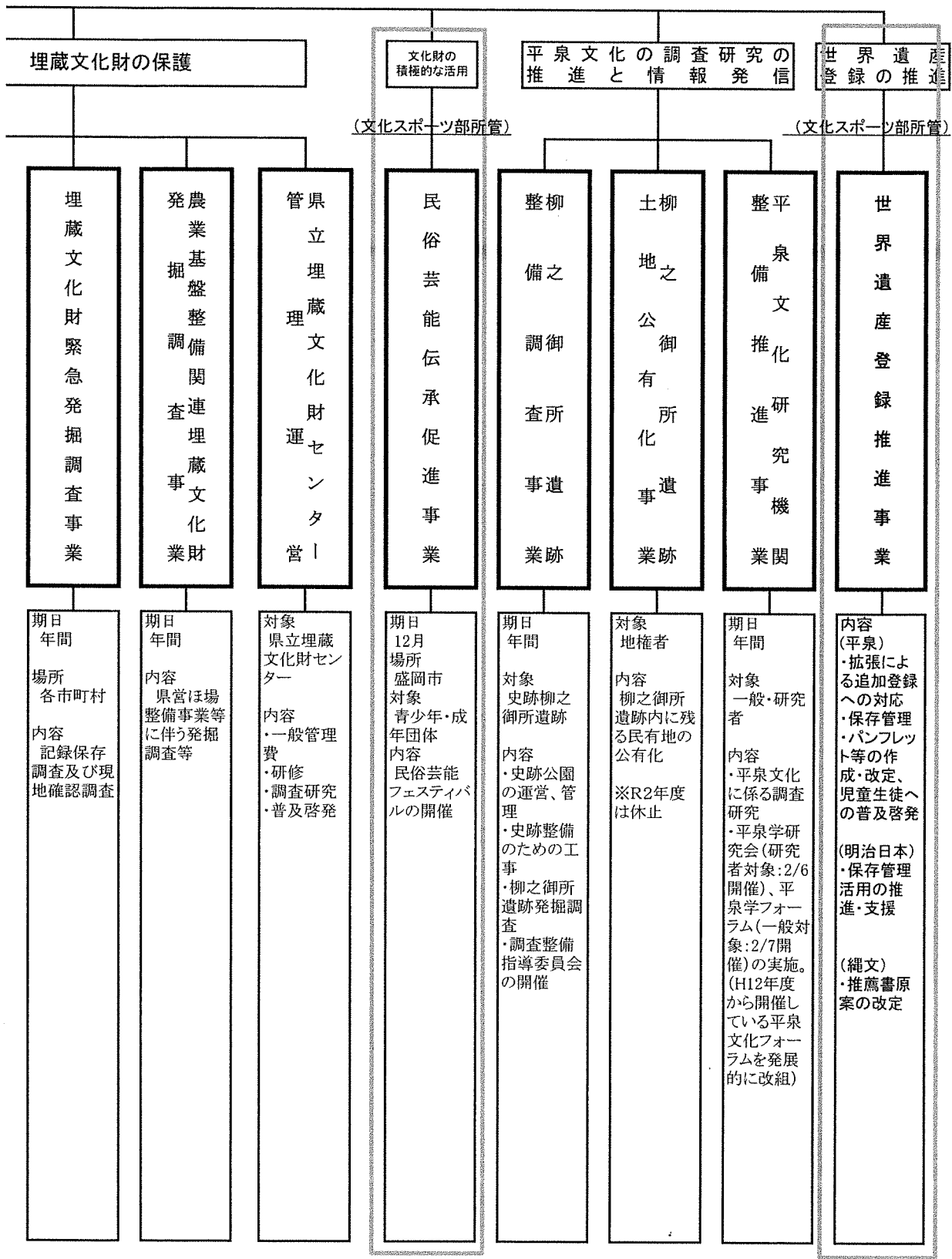
○県社会教育主事等でチームを編成し、市町村の生涯学習・社会教育行政の支援を行う。

・市町村の社会教育事業や社会教育施設等の実態把握及び支援方策の検討

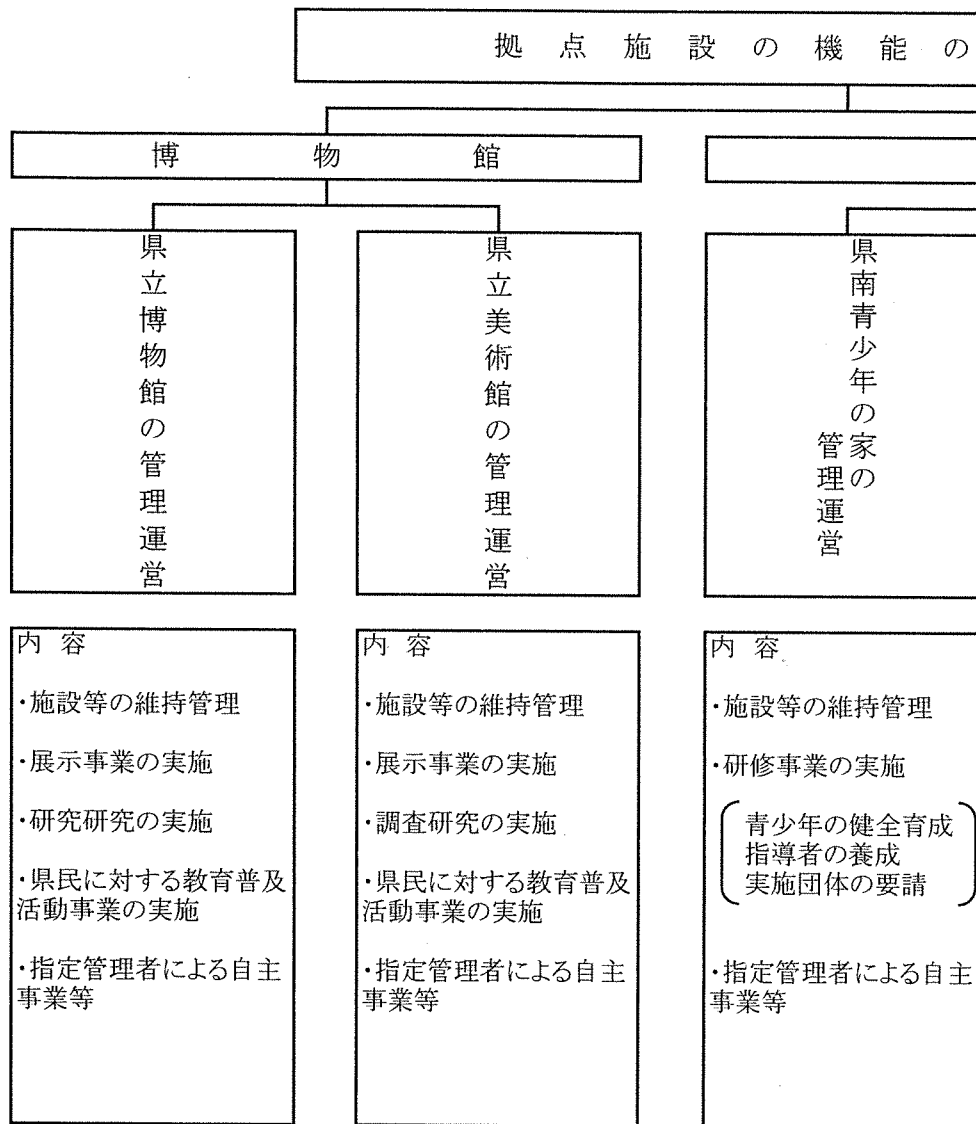
・市町村各地域の課題把握及び支援方策の検討

・市町村・各地域の課題解決の支援





## 7 社会教育施設等の環境整備



充 実

青 少 年 の 家 等

陸  
中  
海  
岸  
青  
少  
年  
の  
家  
の  
管  
理  
運  
営

県  
北  
青  
少  
年  
の  
家  
の  
管  
理  
運  
営

野  
外  
活  
動  
セ  
ン  
タ  
ー  
の  
整  
備

内 容

- ・施設等の維持管理
- ・研修事業の実施
- 〔 青少年の健全育成  
指導者の養成  
実施団体の要請 〕
- ・指定管理者による自主  
事業等

内 容

- ・施設等の維持管理
- ・研修事業の実施
- 〔 青少年の健全育成  
指導者の養成  
実施団体の要請 〕
- ・指定管理者による自主  
事業等

内 容

- H29-30 造成設計
- H29-30 建築設計
- H30 事業用地取得
- R01-02 造成工事  
建築工事
- R03.03 工事完成予定
- R03.07 開所予定
- ・施設等の維持管  
理
- ・研修事業の実施



## 各課・各公所

---

# 令和2年度主要施策の実施状況 令和3年度事業計画（案）

---

令和3年1月25日現在

- |     |              |
|-----|--------------|
| 資料2 | 学校調整課        |
| 資料3 | 学校教育課        |
| 資料4 | 保健体育課        |
| 資料5 | 県立生涯学習推進センター |
| 資料6 | 県立図書館        |
| 資料7 | 県立博物館        |
| 資料8 | 県立美術館        |
| 資料9 | 県立青少年の家      |

## 令和 2 年度主要施策の実施状況 (概要)

公所名 学校調整課

説明者 職名 総括課長 氏名 木村 克則

## 1 総括的な成果と課題

項目	成果と課題
いわての復興教育の推進	「いわての復興教育」プログラムに基づき、学校・家庭・地域が連携・協働し、児童生徒の発達段階や各学校・地域の実情に応じた取組を支援できた。 「いわての復興教育スクール〈沿岸〉」(19校)と「いわての復興教育スクール〈内陸〉」(14校)を推進校として指定した。改訂した「いわての復興教育」副読本「いきる かかわる そなえる」を県内全ての公立学校で活用し教訓を語り継ぐ取組や防災教育の充実を図るための研修会を実施した。
幼児児童生徒の心のサポートの充実	県全域にスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを適正に配置し、課題を抱えた児童生徒への直接的支援や支援のための環境を調整することができた。また、「心とからだの健康観察」の実施と結果活用により、要サポートの児童生徒を把握し、早期支援に繋げることができた。教員研修は、「こころのサポート研修」の内容を見直して16の研修パッケージを整え、学校の課題に応じた研修を行うようにすることで、心のサポートに係る教員の資質向上を図った。 今後も要サポート児童生徒に対する重層的な支援のため、心のサポートを充実させていく。
いじめ問題対策	学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめの防止を重点として、具体的な取組について各種研修等で周知を図ることで、いじめの早期発見、適切な対処等についての理解が浸透してきた。また、「生命尊重ポスター」の活用や「こころのサポート授業」を通して、自殺予防教育に係るSOSの出し方・受け止め方教育を推進することができた。さらに、学校教育相談体制を整え、スクールカウンセラー等と連携しながら、児童生徒の不安や悩みに対応してきた。 今後もいじめ防止基本方針に基づき、いじめの未然防止とともに、早期発見、適切な対処により、いじめの防止に努めていく。

## 2 重点事業の状況

事業名	趣旨・内容	期日・期間	参加状況等	成果・課題
いわての復興教育推進事業	①いわての復興教育スクール〈沿岸〉	～R3.2.15	小1 中2 県立9	①②③④⑤⑥カリキュラム・マネジメントの視点や家庭、地域、関係機関・団体等との連携により、各学校の実情に応じた「いわての復興教育」を推進することができた。
	②交流学習スクール		小1 中1 県立4	
	③震災学習列車活用スクール		小4 中1 県立2	
	④復興教育研修会の実施	R2.5～12月	5教育事務所	
	⑤副読本活用研修会	R2.11.2	県立悉皆	
	⑥学校防災アドバイザー派遣事業	～R3.2.15		
	⑦児童生徒実践発表会	R3.2.3【中止】		
	⑧「震災の教訓を未来に語り継ぐ期間」	主に R3.2～3月	各校の計画による	
学校安全総合支援事業	①いわての復興教育スクール〈内陸〉	～R3.2.15	小6 中5 県立3	①②カリキュラム・マネジメントの視点や家庭、地域、関係機関・団体等との連携により、各校の実情に応じた「いわての復興教育」を推進することができた。
	②学校防災アドバイザー派遣事業			
	③岩手県防災教育研修会	R2.6.9【中止】		
スクールカウンセラー等配置事業	①実態やニーズに対応した研修会実施 ②人的支援の充実 ③「心とからだの健康観察」の実施	H23年度からの継続的な重点取組	県内公立幼稚園等、小・中・義務教育学校、高等学校、幼児児童生徒	学校のニーズに対応した「教員研修」「人的配置」と、児童生徒の要サポートを把握する「心とからだの健康観察」の3つを柱として事業を進めることができた。



## 令和 3 年度 (学校調整課) 事業計画概要

## 事業計画概要

領域	事業名	実施内容	期日・期間	対象・人数	
「いわての復興教育」・防災教育の推進	いわての復興教育推進事業	①いわての復興教育スクール〈沿岸〉	①②③④⑤⑥ R3 年度	①②③小・中・義務教育学校・県立学校における推進校 ⑤小・中・義務教育学校 ④⑥⑦⑧全公立学校	
		②交流学習スクール			
		③震災学習列車活用スクール			
		④復興教育副読本の効果的な活用の推進			
		⑤復興教育研修会の実施			
		⑥学校防災アドバイザー派遣事業			
		⑦児童生徒実践発表会			R4.2 月
		⑧「震災の教訓を未来に語り継ぐ期間」の設定			主に R4.2~3 月
	学校安全総合支援事業	①いわての復興教育スクール〈内陸〉	①②R3 年度	①小・中・県立学校における推進校 ②全公立学校 ③全公立学校、市町村教委、市町村防災担当者	
		②学校防災アドバイザー派遣事業			
③県防災教育研修会		R3.6 月			
教育相談体制の充実	スクールカウンセラー等配置事業	スクールカウンセラーの適正配置を行い教育相談体制の一層の充実を図る。	R3.4 月～ R4.3 月	幼小中高の幼児児童生徒	
	スクールソーシャルワーカー配置事業	各教育事務所にスクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒が置かれている環境の改善に関する支援を強化する。	R3.4 月～ R4.3 月	小・中・義務教育学校の児童生徒	
	スクールソーシャルワーカーの派遣	県立学校にスクールソーシャルワーカーを派遣し、児童生徒の環境の改善に関する支援を行う。	R3.4 月～ R4.3 月	県立学校の児童生徒	
	心とからだの健康観察	児童生徒一人一人の経年変化がわかる資料を提供する。	R3.8~9 月	県内全公立学校の児童生徒	
いじめ問題対策	教職員研修	総合教育センターにおいて、いじめ防止等に関する教職員研修を全校種、全校悉皆(6年)として実施する。(管理職研修、教職員研修) ※R2は3年目(R2はコロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止)	R3.4 月～ R4.3 月	県内全公立学校の教員	
	「いじめ問題解決支援チーム」の派遣	各学校等の解決困難ないじめ事案に、専門的な知見からの助言等を行い、重大事態に至ることを防ぐとともに、いじめ問題への組織的対応力の向上を支援する。	R3.4 月～ R4.3 月	県内全公立学校・市町村教育委員会	

## 令和 2 年度主要施策の実施状況 (概要)

公所名 学校教育課

説明者 職名 総括課長 氏名 中川 寛敬

## 1 総括的な成果と課題

項目	成果と課題
学力向上	「いわての授業づくり 3 つの視点 (改訂版)」及び調査の分析・活用のあり方の改善について、各種研修会を通じて周知することができた。 新型コロナウイルス感染症の影響により、「地域とともにある学校づくり推進フォーラム」が中止となり、例年行ってきた説明や啓発を行うことができなかった。 県学習定着度状況調査 (児童生徒質問紙) から、小・中学校ともに「家庭学習 2 時間以上」の児童生徒が増えている。今年度は様々な制約のある教育環境の中で、家庭での時間が増えたことが考えられる。
グローバル人材の育成	政策地域部国際室との連携事業として、「いわての地域国際化人材育成事業」において、イーハトーブ・キャンプ (イングリッシュ・キャンプ) や高校生を対象とした北米への海外派遣研修を例年実施しているところである。 令和 2 年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者の安全を確保できないことから、イーハトーブ・キャンプ及び海外派遣研修の両方を中止とした。
新しい学習指導要領への対応	高等学校新学習指導要領の各教科の説明会を開催し、県内公立高校教員の学習指導要領への理解を深めることができた。
地域との協働による高校教育改革	各高校が総合的な探究の時間等において、地域と連携しながら地域の課題を発見・解決する取組を通して、地域への理解を深めるとともに生徒一人一人の課題解決能力を養った。

## 2 重点事業の状況 (2~3)

事業名	趣旨・内容	期日・期間	参加状況等	成果・課題
地域とともにある学校づくり推進フォーラム・教育振興運動推進研修会	学校と家庭・地域との連携による家庭での学習習慣の確立や、学力向上に関する理解を図る。	中止	—	小・中学校において「家庭学習 2 時間以上」の児童生徒が増えた。 今後も授業と連動した工夫や、家庭・地域との連携も強化しながら、内容、取り組ませ方について、共通理解を図っていく必要がある。
いわての地域国際化人材育成事業	(1)イーハトーブ・キャンプ	中止	—	—
	(2)高校生の海外派遣研修 (国際室との連携)	中止	—	—
高等学校新学習指導要領説明会及び関連する各種研修等の実施	R4 年度入学生から年次進行で実施される新たな学習指導要領の趣旨・内容及び具体的な学習指導の改善のあり方等について県内教職員の理解を深め、新学習指導要領の円滑な実施に資する。	R2. 4 月～ R3. 3 月	公立高校教員	新学習指導要領説明会を通して、趣旨及び各教科の改訂事項等について理解を深めることができた。 新型コロナウイルス感染症の影響により、5 月実施の説明会を中止し、翌年度実施する。
「地域との協働による高校教育改革推進事業」の推進等	モデル校への支援と県内高校への情報共有等を通じ、高校における地域課題の解決等に向けた探究的な学習を一層推進し、生徒一人一人の課題解決能力を養う。	R 2. 4 月 ～ R 3. 3 月	各県立高校	地元自治体と連携・協働しながら、地域課題等をテーマに探究学習を行い、課題解決能力の育成を図った。

## 令和 3 年度（学校教育課）事業計画概要

## 事業計画概要

領域	事業名	実施内容	期日・期間	対象・人数
新しい学習指導要領への対応	高等学校新学習指導要領説明会及び関連する各種研修等の実施	R4年度入学生から年次進行で実施される新たな学習指導要領の趣旨・内容及び具体的な学習指導の改善のあり方等について県内教職員の理解を深めるため、各教科の説明会を県内6地区で開催する。	R3.4月～ R4.3月	公立高校教職員
	教育課程協議会及び関連する各種研修等の実施（小学校・中学校）	平成29年改訂学習指導要領の全面実施に対応し、その趣旨・内容及び指導と評価の一体化のあり方等について県内教職員の理解を深める。	R3.4月～ R4.3月	県内小・中・義務教育学校教職員、市町村教育委員会関係者
授業改善及び家庭学習の推進	児童生徒の学びの充実の視点からの授業改善及び家庭学習の充実	児童生徒のつまずきに応じた授業改善の推進のため、①「いわての授業づくり3つの視点（改訂版）」の推進、②調査の分析・活用のあるあり方の改善等に取り組む。 また、家庭学習の充実に係る地域・家庭との連携の推進のため、「地域とともにある学校づくり推進フォーラム」での啓発を引き続き行う	R3.4月～ R4.3月  ※「地域とともにある学校づくり推進フォーラム」 R3.6～7月	県内小・中・義務教育学校教職員、市町村教育委員会関係者  ※「地域とともにある学校づくり推進フォーラム」県内6地区の保護者及び教育関係者
地域との協働による高校教育改革	「地域との協働による高校改革推進事業」の推進等	モデル校への支援と県内高校への情報共有等を通じ、高校における地域課題の解決等に向けた探究的な学習を一層推進する。	R3.4月～ R4.3月	各県立高校

## 令和 2 年度主要施策の実施状況 (概要)

公所名 岩手県教育委員会事務局保健体育課

説明者 職名 総括課長 氏名 清川 義彦

## 1 総括的な成果と課題

項目	成果と課題
健やかな体の育成	<p>【成果】○新型コロナウイルス感染症の影響により、「豊かなスポーツライフに向けた学校体育の充実」に係る関係事業の多くが中止となったものの、「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」については予定していた内容を実施し、児童生徒にとって有意義な学びの機会となったこと</p> <p>○「適切な部活動体制の推進」については、「中学生スポーツ・文化活動に係る研究」を進め、関係団体から望ましい中学生の活動の在り方について意見をいただき、提言を取りまとめる予定であること</p> <p>○「健康教育の充実」については、昨年度からマニュアル作成検討委員会による協議を重ね、「学校におけるがん教育指導者向けマニュアル」を作成することができたこと</p> <p>【課題】○ニーズを踏まえた研修会等関係事業の推進</p>

## 2 重点事業の状況 (2～3)

事業名	趣旨・内容	期日・期間	参加状況	成果・課題
①オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業	・生涯にわたりスポーツに親しむことを目指し、運動・スポーツとの多様な関わり方を学ぶためのオリパラ教育の推進	7～1月	推進校 小学校 7校 中学校 8校 高等学校 1校	【成果】オリンピック・パラリンピアン等講師の招聘による有意義な学びの機会 【課題】各校における継続したオリンピック・パラリンピック教育の実施
②中学生スポーツ・文化活動に係る研究	・今後の生徒本位の部活動を含めた有意義な中学生のスポーツ・文化活動の在り方についての提言の取りまとめ	通年	プロジェクトチーム会議 5回 有識者会議 2回	【成果】関係団体から望ましい中学生の活動の在り方についての意見聴取 【課題】「生徒本位の有意義な活動の在り方」についての周知
③がん教育総合支援事業	・体育・保健体育科を中心とした教育活動全体で取り組むがん教育の推進	7～2月	小・中学校 義務教育学校 高等学校 特別支援学校	【成果】「学校におけるがん教育指導者向けマニュアル」の作成 【課題】コロナ禍の中における指導者向け研修会の在り方

## 令和 3 年度保健体育課事業計画概要

## 事業計画概要

領 域	事 業 名	実 施 内 容	期 日 ・ 期 間	対 象 ・ 人 数
豊かなスポーツライフに向けた学校体育の充実	① 希望郷いわて元気・体力アップ 60 運動	・ 運動習慣の形成に向けた学校と家庭・地域が連携した環境づくり	通年	幼稚園 小学校
	② オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業	・ 児童生徒が生涯にわたりスポーツに親しむことを目指し、「する・みる・支える・知る」といった運動・スポーツとの多様な関わり方を学ぶためのオリパラ教育の推進	6 ～ 2 月	推進校 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校
適切な部活動体制の推進	③ 部活動連絡会等支援事業	・ 教職員、保護者、外部指導者等の指導方針の共通理解を図るための「部活動連絡会」開催の周知	5 ～ 2 月	中学校
	④ 運動部活動指導者研修会	・ 中学校及び高等学校の運動部活動担当者等の指導力向上を図ることを目的として研修会を実施	通年	中学校 高等学校
	⑤ 部活動指導員配置事業	・ 市町村立中学校の部活動指導員配置に係る経費を負担するとともに県立学校の部活動指導員配置及び指導員に対する研修を実施	通年	市町村 高等学校
	⑥ 中学生スポーツ・文化活動についての研究	・ 「生徒本位の有意義な活動の在り方」についての周知及び地域と連携した活動の在り方についての検討	通年	中学校
健康教育の充実	⑦ 学校保健研修会	・ 「学校におけるがん教育指導者向けマニュアル」と肥満予防及び改善指導資料の活用の促進 ・ 学校保健推進者の資質向上を図ることを目的として実施	10 月	小学校 中学校 高等学校 特別支援学校
安心して学べる環境の整備	⑧ 学校安全担当者研修会	・ 学校安全の中核となる教職員等の研修の充実を図り、学校安全に取り組む組織体制の構築を図るために実施	6 月	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校

## 令和2年度主要施策の実施状況（概要）

（公所名） 岩手県立生涯学習推進センター

（説明者） 所長 久 慈 孝

## 1 総合的な成果と課題

項目	成果と課題
領域(1) 学習情報提供・ 学習相談	○HP「まなびネットいわて」のコンテンツの充実と最新情報の提供に努めた。特に、国や県、他部局の情報を「新着情報」として掲載するとともに、社会教育・生涯学習に関する情報も随時更新することで、幅広い方々に興味・関心を持っていただける機会となった。また、配信数の増加に努めている子育てメールマガジンは登録者の増加が順調に推移している。（12月末現在、登録者数2,990 目標値3,000） ▽HPへのアクセス数をカウントする県庁内のサーバー運用停止に伴い、別システムでカウントを開始したところ、カウント数が大幅に減少した。 ※総アクセス数【12月末現在】(R1:66,776 ⇒ R2:24,619 -42,157)
領域(2) 調査・研究の推 進	○地域づくりにおける社会教育の意義及び障がい者の生涯学習に係る県内の現状等を明らかにし、「地域づくりにおける社会教育の意義に関する研究」の成果発表とこれからの「障がい者の生涯学習推進のあり方」の提案を行うこととしている。 ▽関係者及び団体等の活動に資するものとするため、提案内容について引き続き周知・啓発に努める。
領域(3) 指導者の養成・ 研修の充実	○県の施策及び受講者のニーズを踏まえた研修講座を実施するとともに、出前研修（講師派遣）により、満足度の高い評価を得るなど研修内容の充実を図ることができた。 ▽他部局と連携した事業の展開を視野に入れながら、人づくり・つながりづくり・地域づくりの観点をより一層重視しながら各種事業を組み立てていく必要がある。

## 2 重点事業の状況（2～3）

事業名	趣旨・内容	期日・期間	参加状況	成果・課題
領域(2) ○調査研修 事業	・「地域づくりにおける社会教育の意義に関する研究」(2/2年次) ・「障がい者の生涯学習推進のあり方に関する研究」(1/2年次)	発表会 R3.2/4-2/5	----	○地域づくりにおける社会教育の意義、障がい者の生涯学習推進のあり方を提案する。 ▽市町村及び他部局等への普及と啓発、支援が必要である。
領域(3) ○人づくり・地域づくり関係職員等研修講座	・社会教育の推進及び人づくり・地域づくりに携わる地区センター・公民館職員（他部局職員も含む）の資質向上を図る研修会の実施	盛岡 8/21 中部 7/10 県南 10/9 沿南 12/1 宮古 9/7~18 県北 11/12	盛岡 20名 中部 15名 県南 26名 沿南 12名 宮古 10名 県北 16名 合計 99名	○感染症の状況等にも適切に対応し、職員のスキルアップを図ることができた。 ▽オンライン研修となった場合も想定して内容を工夫する必要がある。
領域(3) ○地域安全 防災研修会	・市町村関係職員・地域づくり団体職員・学校関係者が地域における防災のあり方及び避難・避難所運営の留意点等を学ぶ研修会	10/6	54名	○具体的な事例や防災に関する多くの知識を学んでいただき、肯定的評価100%となった。 ▽感染症対策との両立を図りながら実践的な演習を内容に組み入れることが望まれる。

区分	研修・講座名	内 容	期日等	対象の詳細	定員
主に市町村・施設・関係職員を対象	広報スキルアップ研修講座	魅力的かつ効果的な周知・広報活動に関する研修	① 6/24 (木) ② 10/13 (水)	県・市町村生涯学習・社会教育関係職員	① 40 ② 20
	新任生涯学習関係職員研修講座	生涯学習・社会教育の推進に関する基本的事項及び職務に関する研修	5/13 (木)	県・市町村生涯学習・社会教育関係新任職員	35
	社会教育指導員・地域づくり関係職員等研修講座	社会教育指導員・地域づくり関係職員等としての必要な専門的事項に関する研修	5/27 (木)	社会教育指導員、センター職員、地域づくり関係者	35
	家庭教育・子育て支援担当者研修会	家庭教育支援・子育て支援にあたる地域人材の活用や連携の充実を図る市町村担当者のための研修	6/3 (木)	市町村家庭教育・子育て支援担当職員	35
	コミュニケーションスキルアップ研修講座	生涯学習関係職員等に不可欠な実践的対人スキルの向上を図る研修	8/4 (水)	県・市町村生涯学習・社会教育関係職員、学校関係者	35
	学校と地域の連携・協働研修会	学校・地域関係者を対象に、コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)事業の事業理解を促し、学校と地域の連携の充実を図る研修	8/6 (金)	県・市町村生涯学習・社会教育担当課職員、学校関係者、地域学校協働活動推進員等	35
	センター・公民館・主管課職員等セミナー	生涯学習・社会教育及び地域づくりを担う施設職員・担当部局における施策推進に関する研修	9/14 (火)	センター、公民館、市町村生涯学習担当課職員	35
	地域安全防災研修会	地域防災訓練に関する研修	9/17 (金)	センター、公民館、市町村生涯学習担当課職員、地域高齢者組織、自治会、子育て支援担当者等	35
	事業プログラム企画運営研修講座	事業プログラム企画運営に関する研修	10/20 (水)	県・市町村生涯学習・社会教育関係職員	35
	人づくり・地域づくり関係職員等研修講座	地域づくりを担う地区センター・公民館職員等のスキルアップを図る研修	盛岡会場 8/20 (金) 中部会場 7/ 2 (金) 県南会場 10/8 (金) 宮古会場 7/29 (木) 沿岸南部会場 11/30(火) 県北会場 11/12 (金)	センター職員、公民館職員、市町村担当職員、他部局職員等	各20
子育て・家庭教育相談担当者研修会	子育て支援・家庭教育支援にあたる電話相談等職員及び保護者支援にあたる子育て支援人材のスキルアップを図る研修	① 10/1 (金) ② 2/15 (火)	県・市町村電話相談担当者、子育て支援関係者、岩手県子育てサポーター	① 30 ② 100	
岩手県地域視聴覚教育協議会専任職員等研修会(共催)	A V L 運営上必要なメディアに関する専門的知識・技術に関する研修	6/17 (木)～6/18 (金)	地域A V L 専任職員等	—	
ボランティア指導者を活動対象者	放課後子どもプラン指導者合同研修会	「放課後子ども教室」と「放課後児童クラブ」の指導者等の情報共有や連携の促進、資質の向上に関する研修	① 6/9 (火) ② 9/3 (木)	市町村事業担当者、放課後子ども教室指導員、放課後児童支援員	各40
	読書ボランティア研修会	読書ボランティアの資質向上と読書活動の推進を図るネットワークの形成に関する研修	6/15 (火)	読書ボランティア、読書推進関係者、市町村読書推進担当職員	90
	子育て支援活動交流研修会	家庭教育・子育て支援関係者の資質向上とネットワーク形成に関する研修	8/25 (水)	岩手県子育てサポーター、子育て支援関係者、市町村家庭教育・子育て支援担当職員	45
	地域学校協働活動推進員(コーディネーター)研修会	学校の地域連携の推進と地域学校協働活動を推進するコーディネーター等の資質向上に関する研修	11/19 (金)	地域コーディネーター、市町村事業担当職員、学校関係者	35
要請研修	随時研修	生涯学習・社会教育に関係する団体が、当センターの職員、施設・設備を活用して随時実施する研修	通年	対象を特定せず、市町村等の要請に応じて行う	
	出前研修(講師派遣)	生涯学習・社会教育に関する事項及び教育振興運動の推進に関する事項等について、市町村や関係機関等の要請により職員を派遣して実施する研修	通年		
その他	放課後児童支援員認定資格研修	放課後児童支援員として必要な基本的な生活習慣の習得の支援、自立に向けた支援、家庭と連携した生活支援等に必要知識・技能を習得するための研修	盛岡会場・県北会場・県南会場・沿岸会場(各会場：2日×2回)	放課後児童支援員	30 ～ 60
	キャリア教育支援事業高等学校卒業程度認定試験	文部科学省の依頼を受け、様々な理由で高等学校を卒業できなかった者等の学習成果を適切に評価し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があるかどうかを認定するための試験	11/6 (土)～7 (日)	県民	—
	岩手県生涯学習推進研究発表会	本県生涯学習・社会教育の推進に係る提案として、調査研究事業の成果等を発表	2/3 (木)～2/4 (金)	県・市町村生涯学習・社会教育関係職員、県民	100

## 令和 2 年度主要施策の実施状況 (概要)

公所名 岩手県立図書館

説明者 職名 館長 氏名 小田島 正明

## 1 総括的な成果と課題

項目	成果と課題
(1) 図書館資料の収集・整理・保存・活用	<p>成果</p> <p>(1) 図書館資料収集方針及び選定基準に沿った収集に努めるとともに、各種事業や広報等を通じて利用の促進に努めた。 【R元 来館者数389,225人(全都道府県立第19位、東北第1位)】</p> <p>(2) 利用者の様々な調べものを支援(レファレンス)したほか、企画展や読み聞かせ等を開催した。 【R元 レファレンス件数20,737件(全都道府県立第15位、東北第3位)】</p> <p>(3) 市町村立図書館等を対象に研修(2研修4回)を実施し、職員の知識や技能の向上を支援した。 また、陸前高田市立図書館と連携し、日本遺産の日(2月13日)に合わせて郷土資料講座を行う予定としている。</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>来館者数は高い水準にあるものの逡減傾向にあることから、資料の一層の充実と利用者が望むサービスの提供に努める必要がある。</li> <li>県内の様々な今日的課題に対応するため、指定管理者と目標を共有しながら、地域を支える情報拠点化や学校図書館との連携を推進するなど、図書館機能の充実を図る必要がある。</li> </ul>
(2) 図書館サービスの充実	
(3) 市町村立図書館等への支援と連携の推進	

## 2 重点事業の状況

事業名	趣旨・内容	期日・期間	参加状況等	成果・課題
県民の読書活動促進事業	読書週間を重点として、読書活動を促進	① こどもの読書週間 4/23~5/12 ② (全国)読書週間 10/27~11/9 ③ 岩手の読書週間 2/1~2/14	週間中の行事数 ① 132 行事 ② 147 行事 ③ 145 行事	令和2年度「岩手県子どもの読書状況調査」集計結果 ・1か月の平均読書冊数は、おおむね堅調な増加傾向 ・中高生の不読者率(1か月で1冊も本を読まなかった生徒の割合)は、おおむね減少傾向 ・学校種が上がるにつれ、図書館利用は減少傾向
市町村立図書館等運営支援事業	・図書館等職員の知識及び技能の向上 ・運営状況や課題等の把握及び支援	① 図書館職員・図書館協議会委員会同研修会 10/28 当館 ② 職員専門研修 9/18 当館 12/22 金ヶ崎町中央生涯教育センター 12/25 宮古市立図書館 ③ 市町村立図書館等訪問 ④ 郷土資料講座 2/13 アバッセたかた「日本遺産みちのく GOLD 浪漫」	参加者数 ① 31名 ② 9/18 28名 12/22 17名 12/25 12名 ③ 23館	各研修のアンケート結果における満足度(満足+やや満足) ① 88.5% ② 9/18 96.4% 12/22 100.0% 12/25 91.7% ③ 平成30年度をもって廃止した市町村立図書館等が当館に資料等を発送する際の送料一部負担の復活を求める要望への対応



## 令和 3 年度岩手県立図書館事業計画概要

## 事業計画概要

領域	事業名	実施内容	期日・期間	対象・人数
図書館資料の収集、整理、保存及び活用	図書館資料の選定・収集	H 28 に所蔵調査を実施の上、望ましい蔵書の構築に向けた収集方針を定め、これに基づいて図書館資料を収集	H29 から R 3 までの 5 か年度	重点収集分野 R 3 : 9 分類 (文学) 参考 R 2 : 7 分類 (芸術)
	郷土資料・震災関連資料の網羅的収集・活用	① 古文書等の解読、デジタルアーカイブ化の推進 ② 震災関連資料の収集と活用 (コーナーの設置、セット貸出、ホームページによる情報発信) ③ 郷土資料講座の開催	① 通年 ② 通年 ③ 年 1 回	
学習機会の提供と読書活動の奨励	図書館資料を活用した企画展示	所蔵資料を紹介する企画展や講座等の開催、博物館や美術館等との連携	通年	
	読書週間関連事業の実施	① 県内図書館等における読書推進関連イベントの開催 ② 読書推進標語・手づくり絵本の募集・表彰 ③ 「読書をすすめるつどい」(表彰・講演等)の開催	① 読書週間中 ② 6 月～2 月 ③ 2 月	② 小中学生、一般 (高校生を含む)、親子 ③ 一般、図書館関係者
	読書活動、調べ学習、就労体験実習等学校教育支援	見学、体験学習、インターンシップ等の受入れ、出前講座の開催	通年	
市町村支援及び連携	市町村立図書館等の支援	① 訪問による運営状況の把握・助言・支援 ② 相互貸借、団体貸出、協力レファレンス等	① 4 月～11 月 ② 通年	
	市町村立図書館等職員の資質向上	① 各種研修の実施 ② 県内図書館等職員との調査研究の共同実施	① 4 月～11 月 ② 9 月～3 月	
図書館機能の充実	指定管理業務の確認・支援・連携	① 指定管理モニタリング ② 運営課題等定期打合せ ③ ワーキンググループによる特定課題の検討	① 月 1 回 ② 週 1 回 ③ 年 4 回程度	③ 電子図書館や今日的課題への対応
	職員の育成	① 新任職員を中心とした館内、館外研修 ② 若手職員を司書 (司書補) 講習に派遣	① 通年 ② 7 月～9 月	

## 令和 2 年度主要施策の実施状況 (概要)

公所名 岩手県立博物館

説明者 職名 副館長 氏名 千田 貴浩

## 1 総括的な成果と課題

項目	成果と課題
(1) 調査研究活動の推進と効果的な資料収集活動	関係機関と連携し、積極的に調査・研究活動や資料収集を行い、また、その成果を印刷物、ホームページにより情報発進し、知的県民財産を次世代へ継承する取組を推進した。 資料の寄贈希望が増加しているが、収集資料の検討の他に収蔵スペースの不足や施設の老朽化による保管管理の難しさ等課題が多い。
(2) 県民ニーズを踏まえた常設展示や魅力ある展覧会の開催	新型コロナの影響により、特別展は実施できなかったが、テーマ展は様々な工夫を凝らしながら開催した。また、年間を通して、定期的に展示替えやトピック展を開催し、多くのお客様から好評を得た。 予算が縮減する中で、多種多様な県民のニーズに対し、各部門の研究内容をうまくマッチングさせて展示活動に反映させられるかが課題である。
(3) 学校教育と博物館との連携強化など教育普及活動の充実	「県博出前講座」の実施(12月末現在6回実施)や、随時、教材用資料の貸出を行い、小中高等学校への学習支援を推進した。 利用促進のため、学習ニーズを踏まえながら、コロナ禍における事業内容の検討と効果的なホームページや SNS を活用した情報発進の工夫が課題である。
(4) 文化財の救出及び保存・管理体制の構築	陸前高田市で被災した博物館資料の再生処理(修復・保存)について、関係機関と連携を図りながら取り組んだ。 未だ、多くの被災資料が未処理となっており、相当の時間を要するため、長期的に支援が受けられるよう、国に要望していく必要がある。
(5) 新型コロナウイルス感染拡大防止の取組	検温や消毒等による感染防止策を講じ、お客様が安心して楽しめる環境づくりに努めた。 感染拡大の終息が見通せないため、引き続き、状況に応じた最適な感染防止策を講じる必要がある。

## 2 重点事業の状況 (2~3)

事業名	趣旨・内容	期日・期間	参加状況等	成果・課題
企画展及びテーマ展等の開催	①テーマ展「化石の水族館」※開館40周年記念特別展中止により期間延長 ②テーマ展「個性派役者勢揃い～岩手の操り人形～」 ③テーマ展「いわての政治物語－幕末・明治・大正－」	3/14～8/23 (163日間) 10/3～11/23 (52日間) 12/19～2/14 (58日間)	10,543人 5,905人 －人	新型コロナの影響により、展示内容にも一部制約があったが、多くの県民等に観覧していただき、評価も高く充実した内容の展覧会が開催できた。今後も県民ニーズを踏まえ、創意工夫された魅力ある展覧会の開催を目指したい。
第12回博物館まつり	集客力のある事業であるが、新型コロナの感染拡大防止のため中止した。			来年度は感染拡大防止策を踏まえた開催方法を検討していきたい。
被災文化財の再生作業	陸前高田市博物館等の被災文化財資料の再生作業	通年	・安定化処理等 54,250点 ・修理 3,350点	再生措置が必要な被災資料約46万点のうち、令和3年3月末までに措置される点数は半数に満たない見込みとなっている。

## 令和 3 年度岩手県立博物館事業計画概要

## 事業計画概要

領域	事業名	実施内容	期日・期間	対象・人数
展示	常設展示	展示替えの促進	通年	一般等
	特別展	特別展「みる！しる！わかる！三陸再発見」 沿岸部巡回展（三箇所）を予定	6月～8月 10月	一般
	テーマ展	①「教科書と違う岩手の歴史-岩手の弥生～古墳時代-」（考古部門） ②「金田一家収蔵資料展」（歴史部門）	11/23～2/6 3/5～5/8	一般
教育普及	講演会 講習会 観察会	(1) 講演会 ・文化講演会	11月3日	一般
		(2) 観察会 ア 地質観察会（①・②未定） イ 自然観察会（①・②未定） ウ 県立博物館バックヤードツアー	①7月②10月 ①未定②7月 5月	一般 〃 〃
		(3) 講座 ア 県博日曜講座 イ 古文書入門講座 ウ 考古学セミナー ①講演会 ②現地見学会	4～3月（22回） 未定 ①7～8月 ②10月	一般 〃 〃 〃
		(4) 県博出前講座	通年	〃
		(5) 学校教育との連携事業 ア 教材用資料貸出 イ ミュージアムシアター ウ チャレンジ！はくぶつかん	通年 4～3月（10回） 4～3月（53回）	学校 児童生徒 〃
		(6) 体験教室 ア たいけん教室 イ 冬のワクワク！ワークショップ	4～3月（47回） 冬休み期間中	児童生徒 〃
		(7) 学芸員資格取得希望者に対する博物館実習指導	8月 ※回数は予定（変更の可能性あり）	大学生
情報発信	出版・広報	(1) 年報（ホームページ掲載）	6月	一般
		(2) 博物館だより（年4回発行）	6、9、12、3月	〃
		(3) 行事案内リーフレット（年2回発行）	8月、3月	〃
		(4) 子ども向け教育普及事業案内（年3回発行）	7、12、3月	小学校
		(5) 新聞広告等の各種広報活動、ホームページの運営	通年	一般
		(6) イベントガイド	毎月1回	〃
被災文化財再生	科学分析保存 処理受託事業	震災で被災した文化財の安定化処理及び修復作業の実施	通年	被災博物館
自主事業	博物館まつり	博物館を身近に感じてもらい、リピータ化を促進するため、様々な体験教室や催し物を開催	10月	一般・児童生徒
	ナイトミュージアム	普段見ることができない夜の博物館の魅力を知ってもらう	8月	児童生徒～一般
	ミュージアムコンサート	生涯学習を推進するうえで、音楽を通して多様な文化活動を提供し博物館活動を盛り上げる	未定	児童生徒～一般

## 令和2年度主要施策の実施状況(概要)

公所名 岩手県立美術館

説明者 企画参事兼副館長 小笠原 誠

## 1 総括的な成果と課題

項目	成果と課題
1 県民の共通財産としての将来への継承	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収蔵美術品による常設展や他館等との連携による企画展を開催し、県民に優れた美術品の鑑賞機会を提供したほか、展示関連の各種講座や体験教室等を通じて、芸術文化への理解と関心を高めることに寄与している。</li> <li>・ 観覧者数は、コロナ禍に伴う企画展の中止などのため例年に比べ大幅に減少している状況にある。今後も展示方法や内容の充実、報道機関との連携強化を図っていく必要がある。</li> </ul>
2 調査・研究活動等の推進による本県評価の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 美術作品の収集選定や企画展等の開催に当たり、作家及び作品の調査等を精力的に行うとともに、関係機関等との連携を通じて、芸術文化振興の拠点となるべく幅広い学芸知識・技術の蓄積が進んでいる。</li> <li>・ 郷土出身作家等に関わる美術史や教育普及事業についての研究のほか、収蔵作品等の修復保存活動にも力を入れ、県民財産の価値向上に努める必要がある。</li> </ul>
3 県民が等しく鑑賞・参加・創造できる環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県民が当館の情報に効果的・容易にアクセスできるよう、各種媒体を活用した多面的な広報活動を展開し、美術館活動のきめ細かな周知に努めている。</li> <li>・ リピーターの確保や新たな来館者の開拓に向けて、情報発信の内容を工夫するとともに、新たな媒体の活用も検討していく必要がある。</li> </ul>

## 2 重点事業の状況(2~3)

※参加状況は令和2年12月31日現在の実績値

事業名	趣旨・内容	期日・期間	参加状況	成果・課題
展示事業	○県ゆかりの作家等収蔵コレクション展示	第1~4期	19,681人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収蔵品展示のほか、企画展の開催を通じて、優れた美術鑑賞の機会を提供している。</li> <li>・ 広く訴求力のある企画と県立美術館ならではの県人作家等の自主企画展をバランスよく組み立てていく必要がある。</li> </ul>
	○多彩なテーマによる企画展			
	(1) ムーミン展	4/11-5/31	(中止)	
	(2) Human and Animal 展	6/13-8/23	(中止)	
	(3) 駒形克己展	9/5-11/3	7,065人	
	(4) 東山魁夷展	11/14-12/27	25,388人	
(5) 唐武展	1/16-2/14	開催予定		
(6) アートフェスタいわて2020	2/27-3/21	開催予定		
教育普及活動事業	(1) ギャラリートーク、企画展関連講座	22回	920人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ禍の中で、定員を半分程度に絞って実施しているが、参加者の満足度は高い。</li> <li>・ 出前授業は5カ年計画の4年目となり、課題等を整理し、次の展開に活かしていく必要がある。</li> </ul>
	(2) コレクショントーク、常設展関連講座	13回	210人	
	(3) スタジオプログラム(オープンスタジオ等)	11回	293人	
	(4) 教育プログラム(学生サポートスタッフ育成)	随時	7人	
	(5) 美術プログラム(館長講座、学芸員講座)	3回	108人	
	(7) 映像プログラム(アートシネマ上映会)	7回	284人	
	(6) アウトリーチ(出前授業、ワークショップ等)	9回	277人	
	(8) 来館者対応(一般団体・学校団体等)	36団体	1,114人	
自主事業	(1) 文化の日は美術館に行こう	1回	1,725人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ禍の中で中止せざるを得ない事業が多かったが、他館の状況等も参考に新規来館者に繋がる次の展開を考えていく必要がある。</li> </ul>
	(2) ミュージウムコンサート	一回	(中止)	
	(3) ナイトミュージウムコンサート	一回	(中止)	
	(4) ファミリータイム	14回	47人	
	(5) 特別自主事業	一回	(中止)	

## 令和3年度 ( 岩手県立美術館 ) 事業計画概要

## 事業計画概要

領域	事業名	実施内容	期日・期間	対象・人数
展示	展示事業 (コレクション展)	美術館収蔵コレクションのテーマ展示	年4期	一般
	展示事業(企画展)	1 深堀隆介 展 2 足立美術館 展 3 フランス・モダン・ポスター 展 4 本城直季 展 5 菅木志雄 展 6 アートフェスタいわて2021	4/24 - 6/13 6/26 - 8/1 8/14 - 10/3 10/16 - 11/28 12/18 - 2/20 3/5 - 3/21	一般 一般 一般 一般 一般 一般
教育普及	教育普及活動事業	1 企画展関連 (1) ギャラリートーク (2) 関連講座 2 コレクション展関連 (1) コレクショントーク (2) 関連講座 3 美術普及 (1) スタジオプログラム 1) オープンスタジオ 2) アートデオヤコ (2) 教育プログラム 1) 学生サポートスタッフ受入れ・育成 (3) 美術プログラム 1) 館長講座 2) 学芸員講座 3) アーティストトーク (仮称) (4) 映像プログラム 1) アートシネマ上映会 2) アートスペース、デジタルビジョン等 4 アウトリーチ (1) 美術館出前授業 (2) 美術関連研修講師派遣 5 来館者対応 (1) 美術館探検 (てくてくツアー) (2) 一般団体対応 (3) 学校団体対応 (小中高大・支援学校)	月2回程度 年10回程度 月2回 年3回程度 年2回 月2回 随時 年4回程度 年2回程度 年1回 年12回程度 通年・随時 随時 随時 年6回 随時 随時	一般 一般 一般 一般 一般 未就学児・保護者 大学・専門学校生 一般 一般 一般 一般 一般 児童、生徒 一般 一般 一般 児童・学生
その他	広報事業	1 印刷媒体・ウェブ媒体による情報発信 2 地域連携による情報発信 3 収蔵品基本データ整備	通年 通年 通年	
	美術品保存修復事業	1 美術作品収集 2 美術作品保存修復 3 虫菌害環境調査	随時 随時 随時	
	自主事業	1 美術館まつり 2 ミュージアムコンサート 3 ナイトミュージアムコンサート 4 ファミリータイム	年1回 年4回程度 年4回程度 月2回程度	一般 一般 一般 幼児等・保護者

令和2年度主要施策の実施状況(概要)

公所名 岩手県立県南青少年の家

説明者 (公財)岩手県スポーツ振興事業団 事務局長 宮 昌隆

1 総括的な成果と課題

項目	成果と課題
1 主催事業・研修活動の充実	(1)成果 親子体験事業として、読書推進団体「こども広場・マグノリア」による絵本の「読み聞かせ会」、生涯学習推進センターと連携して「情報メディアとの上手な付き合い方」に関する講演会を開催し、家庭教育の充実を図ることができた。 近隣地域にある県立農業高等学校、千貫石森林公園、奥州宇宙遊学館、国見山いこいの森と連携し、利用者に満足していただけるプログラムを提供できた。 (2)課題 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、近隣市町村の施設や社会教育関係団体の協力を得ることが難しい面があった。協力していただける団体のリスト化を進め、感染症の影響が少なくなった時点で改めて協力を求めていきたい。
2 利用促進	(1)成果 平成30年度には高校、令和元年度には幼稚園・保育園の利用促進チラシを作成し、利用者数を増やしてきた。今年度は、児童館、放課後児童クラブ団体に具体的な利用の仕方をA4版1枚にまとめ、所報とともに配布したところ児童館、放課後クラブの利用者数が前年の約2倍となった(348人→679人)。 (2)課題 中学校の利用が落ち込んできているので、具体的な利用の仕方のチラシを作成し、中学校の先生方に説明を行った。出前講座への関心が高かったため今後利用につなげていきたい。
3 環境の整備・充実(安全確保)	(1)成果 空気清浄機や消毒用のアルコールの整備など、新型コロナウイルス感染症対策を行うことにより、利用者の方に安心して活動してもらうことができた。 (2)課題 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として共有で使える洗面器を撤去したが、宿泊棟洗面所の給湯が混合栓ではないため、利用者に不便をかけた。現在は、消毒に配慮して、洗面器を置いて対応している。

2 重点事業の状況(2~3)

事業名	趣旨・内容	期日・期間	参加状況	成果○・課題●
自然ワンダークラブ	小学校4~6年生が、さまざまな活動を体験することにより、自然や岩手の風土についての考えを深め、仲間・自然・岩手を大切にしようとする心を育てる。 <内容>年間登録制 同じ集団で1泊2日の体験を年4回実施。 1回目はコロナの影響のため中止	①5月30日(土)~31日(日) ※中止 ②8月22日(土)~23日(日) ③10月3日(土)~4日(日) ④1月16日(土)~17日(日)	20名 (登録者)	○登山を通じて、山登りの楽しさや仲間意識を高めることができた。防災学習では、川の氾濫によってどのくらいの被害があるのか、過去の氾濫場所を見学し、被害の大きさに思いをはせることができた。 ●引き続き、児童へのマスク着用についてしっかりと声がけし、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図っていく必要がある。
水と緑のフレンドシップ	小中学生で構成するグループが、野外活動を通して、主体的に活動し、たくましく生きようとする心を育成する。 <内容> 小学5年生~中学校3年生を対象とした4泊5日の長期キャンプ	7月26日(日)~30日(木)	19名	○地元団体と連携しプログラムを実施することにより、地域の活性化を推進するとともに、地元金ケ崎や岩手の自然を見つめ直す良い機会となった。 ●雨天が続き、用意していた雨天プログラムだけでは、参加者の満足が得られないと判断し、急遽プログラムの内容を追加したところ、参加者からは好評であった。今後は、予め準備しておきたい。
かるがも親子のクリスマス ※新規事業	子育てについての学習会を通して、親同士の意見交流や学び合いにより、子育てをする仲間づくりを促進する。親子で共同体験や交流活動を行うことにより、相互の理解と関係を深める。 <内容> 保護者学習会 県生涯学習推進センター「情報メディアとの上手な付き合い方」夕食会、親子創作活動	12月12日(土)~13日(日)	22家族 52名	○昨年度の日帰りでの模擬事業を踏まえ、1泊2日の新事業として企画。創作活動や学習会を通して、家族間の交流を深めることができた。 ○保護者学習会では、親同士の意見交流もできて、仲間づくりが進んだ。今後も県生涯学習推進センターと連携した事業を継続していきたい。 ●創作活動が連続したことで参加者に疲れが見えた。活動時間について工夫したい。

## 令和 2 年度主要施策の実施状況 (概要)

公所名 岩手県立陸中海岸青少年の家

説明者 (公財) 岩手県スポーツ振興事業団 事務局長 宮 昌 隆

## 1 総括的な成果と課題

項目	成果と課題
1 主催事業・研修活動の充実	<p>(1)成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山田町生涯学習課や水産商工課の協力の下、充実した海の活動ができた。また、学校の宿泊学習においても海の活動プログラムの要望を可能な限り受け入れ対応できた。</li> </ul> <p>(2)課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>来年度、新規事業として予定している「オランダ島」での活動実施に向けて、山田町と連絡を取りながら綿密な計画と準備を行う。</li> <li>ボランティア活動に積極的な高校生や大学生が「アドバイザースタッフセミナー」に 32 名参加した。しかし、新型コロナウイルスの影響による事業中止などのため、セミナーで培ったスキルを十分に活かすことができなかった。今年度登録したスタッフも今後の事業で活躍できるような機会を作る必要がある。</li> </ul>
2 利用促進	<p>(1)成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国立岩手山青少年交流の家と協力し、イベントカレンダーを全県の児童に配布 (62,000 部) することで、内陸からの申込やリピーターが増えている。(特に「釣り」関係事業)</li> <li>新型コロナウイルスの影響によりキャンセルが多くなったが、感染症対策を充分に行い、利用者が安心して来所・研修を行えるようにした。</li> <li>事業の様子や案内を Facebook で発信することなどにより、新規の利用者が増えた。</li> </ul> <p>(2)課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「新しい生活様式」などを踏まえ、更に事業や活動プログラムの内容の見直しを進め、利用者が安心して参加・活動できるものとする。</li> <li>「防災や災害に対応するプログラム」や「障がい者スポーツに関するプログラム」について新たに企画し、利用者の活動の幅が広がるようにしていきたい。</li> </ul>
3 環境の整備・充実 (安全確保)	<p>(1)成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体育施設管理士資格者による点検・指導のほか自主点検を実施 (ダブルチェック体制の充実) した。また、防犯の視点からの点検も併せて実施した。</li> <li>台風 19 号により使用不能になっていた第 2 営火場が復旧し宿泊研修でのキャンプファイヤーも滞りなく行うことができた。</li> <li>これまで職員が主に行ってきた鯨山登山道の整備を、今後は山田町が中心となり環境省宮古自然保護官事務所と当所で連携して行うこととなった。(潮風トレイル関係)</li> </ul> <p>(2)課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設設備の老朽化に伴い、安全点検の励行と計画的な修繕がさらに必要である。</li> <li>幅広い世代の方々が利用する施設であり、研修生・利用者と不審者の見分けが困難である。万一来備え、不審者対応の訓練が必要である。</li> </ul>

## 2 重点事業の状況 (2~3)

事業名	趣旨・内容	期日・期間	参加状況	成果○・課題●
「海釣り道場」 ※新型コロナの影響により「中止」	三陸の自然の中で、海釣りの醍醐味を味わい、参加者相互の交流を深める。 船釣り、堤防釣り等	5月2日(土)～3日(日)  ※中止	参加申込 52名	○受け付け開始から数日で定員を超えてしまう人気の事業である。 ●『1day 夜釣り』と連動させ、スキルの向上を図った上で、船釣りに挑戦してもらえるような仕組みにしていきたい。
「マリンランド陸中自然体験塾①海の子野外教室」 ※山田町B&G連携事業	自然体験活動を通して、思いやりの心や自然を大切にすることを育み、参加者相互の交流を図る。 海洋スポーツ体験、ネイチャーゲーム、沢登り、星空観察等	8月3日(月)～5日(水)	30名	○海洋スポーツ体験をメインに、一戸町観光天文台長を講師としてお招きし、「星空観察会」を取り入れた。非常に好評だった。 ●天候に左右されやすいため、雨天プログラムを吟味して、どんな天気でも十分に楽しめるようなものを準備したい。
「親子でエンジョイ 1 day 夜釣り」 ※鯨と海の科学館共催事業	海での親子共同体験活動を通して、親子のふれあいを深める。 岸壁からの夜釣り 科学館の見学、創作体験	11月28日(土)	15名	○新型コロナの影響によりキャンセルが多くなってしまったが、内陸からの参加者も多く好評を得た。 ●科学館での見学・創作も良かったが、「釣り」事業の時には、釣りに関する内容だけのほうが良いと感じた。科学館とは別の事業で連携していくようにする。

## 令和2年度主要施策の実施状況(概要)

公所名 岩手県立県北青少年の家

説明者 (公財)岩手県スポーツ振興事業団 事務局長 宮 昌隆

## 1 総括的な成果と課題

項目	成果と課題
1 主催事業・研修活動の充実	<p>(1)成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年来チラシや口頭で利用団体にカーリング体験を進めてきた結果、12月現在でカーリング研修団体は昨年比4件増である。(20件→24件)</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策等の影響による事業日程や研修内容の変更にも柔軟に対応することができた。</li> <li>・行政や企業、法人など10の団体と連携して事業運営を行った。</li> </ul> <p>(2)課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容がより充実するように各市町村の社教担当者等との連絡を密にして、連携が可能な団体の情報収集に努める必要がある。</li> </ul>
2 利用促進	<p>(1)成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍ではあったが可能な限り研修団体への声かけや地元FMへの出演、ホームページ等で施設の魅力や情報を発信した。</li> <li>・地域のスポーツ少年団や父母会の定期的な利用が定着した。(4月から12月まで月平均11回の利用)</li> </ul> <p>(2)課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全面等の理由から来所利用のキャンセルが相次いだ。引き続き、安全対策を徹底するとともにコロナ禍でも活動実績がある放課後児童クラブやシニア団体等の出前講座を対象にした広報活動等に力を入れる必要がある。</li> </ul>
3 環境の整備・充実(安全確保)	<p>(1)成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用団体が安全に活動できるように屋外施設の定期点検を徹底し、危険個所の発見と対処を徹底した。また、クマ出没情報があつた9月から10月中旬まで1日3回の巡回を行い利用団体の安全を確保した。結果、設備不備による事故や野生動物等による事故はなかった。</li> <li>・コロナ禍にあつて、施設利用と消毒等のマニュアルを作成し、またそのことを利用団体にあらかじめ周知することで安心して利用してもらうことができた。</li> </ul> <p>(2)課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の消毒手順等が煩雑にならないよう、わかりやすい説明等工夫をする必要がある。</li> </ul>

## 2 重点事業の状況(2~3)

事業名	趣旨・内容	期日・期間	参加状況	成果○・課題●
サマーにこにこキャンプ	<p>野外活動等を通して、心豊かに友達と協力して活動を楽しむ態度を育てる。</p> <p>仲間づくりゲーム、野外炊事、野外ゲーム</p>	<p>①7月18日(土)</p> <p>②7月19日(日)</p>	56名 (①②合計)	<p>○宿泊事業を日帰り日程に代えて2回実施し、多くの方に研修の機会を提供することができた。</p> <p>●コロナ禍で募集を停止していたボランティアを今後再開するにあたり、感染防止に関する正しい知識、対応方法をレクチャーする必要がある。</p>
ジュニアフォレストアーツ大作戦	<p>森林に関する学習や体験活動等を季節ごとに行うことにより、自然を大切にする心を育み、環境保全の実践意欲を育てる。</p> <p>3回シリーズの宿泊事業</p>	<p>①6月14日(日)</p> <p>②10月3日(土)~4日(日)</p> <p>③1月23日(土)~24日(日)</p>	年間登録者 22名	<p>○御所野縄文公園をはじめ、4つの団体と連携して充実した事業運営ができた。</p> <p>●県北地域の伝統文化についてさらに情報収集し、内容充実に努める必要がある。</p>
ステラパル冬まつり	<p>施設を一般開放し、日頃の利用に感謝するとともに、冬季の遊びや活動を体験する場を提供する。</p> <p>スケート場、プラネタリウムの無料開放</p>	2月11日(木) 建国記念の日	午前と午後 各40名	※実施前



## 令和3年度 県南青少年の家 事業計画概要

No.	領域	事業名	実施内容	期日	対象・定員
1	主催	「集団宿泊指導者研修会」	「野外活動, 創作活動, 情報交換」等	①5月7日(金) ②5月11日(火)	各回, 利用団体関係者等 定員なし
2	主催	「アドバイザースタッフ 養成講座」	野外活動, ニュースポーツ, 救命救急講習, 仲間づくりゲーム, 事業紹介等	5月29日(土)～30日(日)	高校, 専門学校生, 大学生 等 15名
3	主催	「自然ワンダークラブ」	① 「Wonder①～出会い～」 ウォークラリー, 野外炊事等	5月29日(土)～30日(日)	各回, 小学校4年生以上～ 6年生まで 30名 (第1回目で年間登録制)
			② 「Wonder②～挑戦～」 川遊び, 創作活動等	8月21日(土)～22日(日)	
			③ 「Wonder③～深まり～」 登山, 創作活動等	10月2日(土)～3日(日)	
			④ 「Wonder④～絆～」 雪遊び, スケート等	1月15日(土)～16日(日)	
4	主催	「かるがも親子体験教室」	「親子deアウトドア編」 野外炊事, 創作活動等	7月3日(土)	小・中学生の子どもをもつ 家族20家族(40名程度)
			「キャンプde宿泊体験編」 テント泊, 野外活動等	7月24日(土)～25日(日)	小・中学生の子どもをもつ 家族20家族(40名程度)
5	主催	「水と緑のフレンドシップ」	キャンプ体験, 野外炊事, 川遊び, 創作 活動, キャンプファイア等	8月1日(日)～5日(木)	小学校5年生以上～中学 生まで 20名
6	主催	「宿泊通学合宿」	ニュースポーツ, 科学実験, 創作活動, 学習等	11月14日(日)～17日(水)	永岡・西小学校5, 6年生 30名
7	主催	「冬のおもしろ体験ランド」	冬にまつわる体験活動(雪遊び) 創作活 動, スケート等	1月29日(土)～30日(日)	小学校4年生以上～中学 生まで 20名
8	主催	「県南 は～とふるDay」	創作活動, ニュースポーツ等	通年	各学校適応指導教室 定員なし ※出前講座として実施
9	自主	「ファミリートレッキング」	トレッキング	6月12日(土)	小学生とその家族 10家族20名程度
10	自主	県南青少年の家所長杯 「サッカーフェスティバル」	サッカー競技	①9月18日(土)～19日(日) ②9月25日(土)～26日(日)	サッカースポーツ少年団 12チーム
11	自主	開所40周年記念 「みどりのキャンパス ・ふれあいフェスティバル」	「ダッチオープン de ピザづくり体験」 創作活動, ニュースポーツ, 川遊び, 食 の祭典等。	8月29日(日)	子ども～一般まで 定員なし
12	自主	「親子deチャレンジ!」	3所合同事業 親子で創作体験, スポーツ体験等	10月30日(土)～31日(日)	小・中学生の子どもを持つ 家族6家族24名程度
13	自主	「レッツ!スケート」	スケート講習会&自由滑走	①1月15日(土) ②1月29日(土)	各回, 小学生以上, 家族, 一般 50名
14	自主	「親子deクリスマスキャン ドル」	「親子でクリスマスリース創作」①	11月27日(土) 午前	各回, 小学生の子どもを持 つ家族10家族(25名程度)
			「親子でクリスマスリース創作」②	11月27日(土) 午後	
			「親子でクリスマスキャンドル創作」①	11月28日(日) 午前	
			「親子でクリスマスキャンドル創作」②	11月28日(日) 午後	
			「親子でクリスマスキャンドル創作」③	12月4日(土) 午前	
「親子でクリスマスキャンドル創作」④	12月4日(土) 午後				
15	自主	「かるがも親子のクリスマス」	子育て関係の学習会, 創作活動, 交流会	12月11日(土)～12日(日)	小学校1～3年生の子供 をもつ家族24家族(60名 程度)
16	自主	「大人ワンダークラブ」	スウェーデントーチで料理体験	5月15日(土)	40歳以上で体力に自信の ある方 20名
			栗駒山トレッキング	10月7日(木)	
			藍染, 草木染体験	2月11日(金)	

※「領域」の「主催」は、主催事業。「自主」は、自主事業のこと。

## 令和3年度 陸中海岸青少年の家 事業計画概要

No.	領域	事業名	実施内容	期日	対象・定員
1	主催	自然体験活動セミナー	・火おこし体験・野外炊事・ワークラー ・テント設営・沢登りコース見学等	①4月22日(木) ②5月13日(木)	当施設利用団体 担当教員
2	主催	海釣り道場	A:日帰り船釣り B:1泊2日船釣り C:日帰り堤防釣り D:1泊2日堤防釣り	5月1日(土)～2日(日)	小学生～一般 60名程度
3	主催	マリンランド陸中杯 グラウンド・ゴルフ交流会	グラウンド・ゴルフ交流会	①5月20日(木) ②9月2日(木) ③10月1日(金)	概ね50歳以上の方 各回100名程度
4	主催	アドバイザースタッフ セミナー	①ネイチャーゲーム、沢登り、創作活動 ②海洋スポーツ	①7月10日(土) ②7月17日(土)	高校・大学生・一般 15名程度
5	主催	マリンランド陸中自然体験塾① 海の子野外教室	海洋スポーツ・テント設営・沢登り等	7月29日(木)～31日(土)	小学5・6年生 30名程度
6	主催	家族ふれあい塾	・キャンプ体験、アウトドアクッキング ・沢遊び	8月28日(土)～29日(日)	10家族程度
7	主催	マリンランド陸中自然体験塾② 雪ん子野外教室	スキー、雪遊び等	1月12日(水)～14日(金)	小学5・6年生 30名程度
8	主催	季節の味わい ～和菓子作り～	季節の和菓子作り	1月29日(土) 午前、午後の部	小学生～一般 各30名
9	主催	ハートフルキャラバン	・創作、ニュースポーツ活動	通年	不登校及びひきこもり傾向 にある児童・生徒 定員なし(保護者同伴可)
10	主催	やまびこキャラバン	・創作、ニュースポーツ活動 ・もちつき体験	通年	子ども～大人 概ね10名以上
11	自主	グラウンド・ゴルフ交流会 (仮)	グラウンド・ゴルフ交流会	4月15日(木) 予備16日(金)	概ね50歳以上の方 100名程度
12	自主	ワンダフルネイチャー① 鯨山登山 (山田町)	・鯨山登山	4月24日(土) 予備25日(日)	小学生～一般 30名程度
13	自主	沢の果てまでイッテQ	・沢登り ・思い出の創作活動	7月24日(土)	海の子野外教室に参加で きない5・6年生 30名程度
14	自主	マリンランド陸中フェスタ 「感謝まつり」	・ミニ発表会・創作・ニュースポーツ体験 ・火おこし体験・もちつき体験等	9月26日(日)	定員なし
15	自主	ワンダフルネイチャー② 兜明神岳登山 (宮古市区界)	兜明神岳登山	10月9日(土) 予備10日(日)	小学生～一般 30名程度
16	自主	3施設連携事業 「親子deチャレンジ！」 (会場：県北青少年の家)	・スケート体験、プラネタリウム鑑賞 ・創作活動 ・夕食交流会	10月30日(土)～31日(日)	小学生の子どもを持つ家族 7家族30名程度
17	自主	ワンダフルネイチャー③ 霞露ヶ岳トレッキング (山田町)	霞露ヶ岳トレッキング	11月6日(土) 予備7日(日)	小学生～一般 30名程度
18	自主	親子でエンジョイ1day夜釣り	・仕掛けづくり ・夜釣り(堤防釣り)等	11月20日(土)	中学生までの子どもを持つ 親子 10家族40名程度
19	自主	創作ひろば①～アイデアとアレン ジでXmas飾り作り～	・クリスマス飾り作り	12月5日(日) 午前の部、午後の部	幼児～一般 各40名程度
20	自主	創作ひろば②～アイデアとアレン ジでお正月飾り作り～	・お正月飾り作り	12月12日(日) 午前の部、午後の部	幼児～一般 各40名程度
21	自主	第43回陸中海岸 剣道スポーツ少年団交歓会	・剣道交流試合	2月11日(金)～12日(土)	沿岸地区の剣道スポーツ少 年団 100名程度
22	自主	第14回マリンランド陸中 ミニバスケットボール交流会	ミニバスケットボール交流試合	2月26日(土)～27日(日)	山田町および近隣市町村 のミニバススポーツ少年団 新人20チーム程度
23	自主	第18回マリンランド陸中 フットサル交流会	フットサル交流試合	3月5日(土)～6日(日)	沿岸地区のサッカースポ ーツ少年団 14チーム程度

※「領域」の「主催」は、主催事業。「自主」は、自主事業のこと。

## 令和3年度 県北青少年の家 事業計画概要

No.	領域	事業名	実施内容	期日	対象・定員
1	主催	野外活動セミナー	施設利用説明、野外炊事体験、野外活動説明・体験、日程調整会議、プログラム相談	5月7日(金)	利用予定団体の担当者等 定員なし
2	主催	親子でアウトドアチャレンジ	野外炊事、館内テント泊、交流会	5月29日(土)～30日(日)	小学生を含む10家族 40人程度
3	主催	ジュニアフォレストーズ 大作戦	森林学習、自然体験、創作活動、 野外炊事等	① 8月28日(土)～29日(日) ② 1月22日(土)～23日(日)	小学校4～6年生 30人程度
4	主催	わんぱく広場	魚つかみ、魚さばき、魚焼き、 昼食交流会	①6月26日(土) ②6月27日(日)	子どもから大人まで 40人程度
5	主催	サマーにこにこキャンプ	室内テント泊、野外炊事、星空観察、 野外活動	①7月10日(土)～11日(日) ②7月17日(土)～18日(日)	小学校2～3年生 各回30人程度
6	主催	サマーチャレンジキャンプ	テント泊、野外活動(海・山・森)、 野外炊事、キャンプファイヤー	8月3日(火)～6日(金)	小学校4年生～中学生 30人
7	主催	親子でアウトドアクッキング	仲間づくり、野外炊事、昼食交流会	9月18日(土)	15族、40人程度
8	主催	スケート場感謝デー	入場料・貸靴料無料、スケート教室、 スケート自由滑走、氷上スポーツ体験、 フィギュアデモンストレーション	11月3日(水) 文化の日	子どもから大人まで 定員なし
9	主催	だれでもスケート教室	初心者・初級者対象のスケート教室	①11月7日(日) ②11月14日(日) ③11月21日(日)	子どもから大人まで 各回35人程度
10	主催	スケートキッズ感謝デー	中学生以下の入場料・貸靴料無料 スケート自由滑走、スケート教室	12月12日(日)	子どもから大人まで 定員設定なし
11	主催	ウィンタースクール	仲間づくり、雪遊び、氷上スポーツ体験	2月5日(土)～6日(日)	小学校1・2年生 30人程度
12	主催	ステラパル冬遊塾	仲間づくり、氷上スポーツ体験、 スキー体験	2月19日(土)～20日(日)	小学校3～6年生 30人程度
13	自主	いきいき グラウンド・ゴルフ大会	グラウンド・ゴルフ大会、昼食交流会	①5月14日(木) ②9月15日(火)	近隣市町村愛好者 ①・②とも100人
14	自主	プラネタリウム鑑賞デー	プラネタリウムによる季節ごとの星座鑑賞と天文現象やトピック紹介。	① 7月25日(日) ② 9月18日(土) ③ 2月11日(日)	子どもから大人まで ①～③とも2～4回投影 各回25人程度
15	自主	ステラパル夏まつり	施設見学、創作体験、スポーツ体験、 プラネタリウム鑑賞	7月25日(日)	子どもから大人まで 定員なし
16	自主	レッツ！トレッキング	八幡平・三ツ石山周辺のトレッキング	① 6月8日(火) ② 9月28日(火)	どなたでも各回20人程度
17	自主	親子deチャレンジ！ ～in 県北青少年の家～	ウィンタースポーツ、創作体験、 夕食交流会、プラネタリウム鑑賞	10月30日(土)～31日(日)	小学生の子どもをもつ家族 5家族20人程度
18	自主	ステラパル冬まつり	施設見学、創作体験、スポーツ体験、 雪遊び体験、プラネタリウム鑑賞	2月11日(金) 建国記念の日	子どもから大人まで 定員なし

※「領域」の「主催」は主催事業、「自主」は自主事業のこと



## 令和2年度

---

# 協議(2) 今後求められる施策の 方向性について

---

【テーマ】

新しい時代の岩手の生涯学習・社会教育

～岩手らしさを生かした

生涯学習・社会教育施策の方向性について～



# 新しい時代の岩手の生涯学習・社会教育 ～岩手らしさを生かした生涯学習・社会教育施策の 方向性について～

令和3年1月25日（月）  
岩手県教育委員会

1

## 協議（2）の概要

### 協議テーマについて

#### (1) 趣旨

人生100年時代の到来、情報化社会、人工知能（AI）の進展、Society5.0の実現働き方改革の推進等の社会の変化や、多発する大規模自然災害、新型コロナウイルス等の新たな感染症への対応、困難を抱える家庭、孤立化する若者や高齢者への支援、人口減少に伴う地域づくりなどの課題に直面しているこれからの時代への対応と、目指す姿に向けて、「岩手らしさを生かした」生涯学習・社会教育をどのように推進していくことが望ましいのか議論いただき、本県の生涯学習の振興、社会教育の充実に資する。

#### (2) 「新しい時代」の捉え

新しい時代 = 社会の変化や新たな課題 + 目指す姿

【目指す姿】（「いわて県民計画（2019～2028）」）

- 東日本大震災津波の経験に基づき、引き続き復興に取り組みながら、お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて
- 「いつでも・どこでも・だれでも」生涯を通じて学習を継続し、その成果を社会に役立てることができる環境がつけられている

2

## 協議（２）の概要

### 協議の経緯・予定

- ・ 第1回（R2.7.14）：テーマに基づく課題と資源（岩手らしさ、よさ）についてのフリーディスカッション  
※視点「いつでも・どこでも・だれでも」学び続けられる環境づくり  
⇒ 課題の洗い出し（実態把握）、課題の整理
- ・ 第2回（R3.1.25）：第1回を踏まえた、協議の論点（柱）の共有、施策の方向性についての協議
- ・ 第3回（R3.7）※予定：協議の論点に基づく施策の方向性についての協議、第2回、第3回協議の整理  
⇒ 「協議のまとめ（案）」の構想
- ・ 第4回（R4.1）※予定：「協議のまとめ」について検討（協議の整理）
- ・ 令和4年3月：「協議のまとめ」の作成、公表

3

## 第1回会議について

### 課題等の洗い出し ※第1回協議から

テレワーク      新しい生活様式  
リモート（可能性と課題）      教育振興運動（よさ）      復興教育（強み）      防災教育（強み）  
SNSの問題（不登校、なりすまし等）      世代間交流  
地域の核（地域施設）      学校、保護者、地域との連携  
オンライン講座（あれば学びやすい）  
自己肯定感      社会教育の中で活躍できる場（受け皿）あるとよい      復興の問題  
子供を取り巻く環境の変化      郷土愛を育む教育      不登校問題の解決  
リアルな課題（復興、地域づくり等）      どの学びとのゲートウェイでつなぐか  
地域資源と全国の資源をつなぐ      自分たちの地域のよさの築き  
成人教育事業に人が集まらない（生産年齢人口の取込）      地域の力を上げる      地域固有文化の継承  
社会の変化が岩手に与える影響の分析  
新型コロナウイルスの影響      届ける支援（アウトリーチ）  
家庭の形が多様      信頼・相談できる大人      障がい児、社会的養護に置かれている子供  
地域の方と子供の関わり      インターネット機能を使えない（世代）      情報が行き届く手立て  
高齢化      家庭におけるネット環境      読書活動（よさ）

4



## 第2回会議について（第1回協議からの論点整理）

### A: ICT（情報通信技術）、デジタル社会

テレワーク 新しい生活様式【再掲】  
 リモート（可能性、課題）  
 SNSの問題（不登校、なりすまし）  
 オンライン講座  
 ゲートウェイ  
 地域資源と全国の資源をつなぐ  
 インターネットを使えない  
 情報が行き届く手立て  
 家庭におけるネット環境

### B:地域力・地域づくり

地域の核（地域施設） 学校、保護者、地域の連携  
 社会教育の中で活躍できる場（受け皿）  
 復興の問題【再掲】 郷土愛を育む教育  
 自分たちの地域のよさの築き 世代間交流  
 成人教育事業（生産年齢人口の取込）  
 地域の力を上げる 地域固有文化の継承  
 教育振興運動（よさ、強み） 復興教育（強み）  
 地域の方と子供の関わり 防災教育（強み）  
 読書活動（よさ） 高齢化【再掲】

### C: 社会的包摂

SNSの問題  
 自己肯定感  
 子供を取り巻く環境の変化  
 届ける支援・アウトリーチ（の必要性）  
 家庭の形の変化 信頼・相談できる大人  
 障がい児、社会的養護に置かれている子供  
 インターネットを使えない【再掲】  
 情報が行き届く手立て【再掲】  
 高齢化

### D: 予測困難な課題（自然災害・感染症等）

復興の問題  
 新型コロナウイルスの影響  
 新しい生活様式  
 復興教育【再掲】  
 防災教育【再掲】

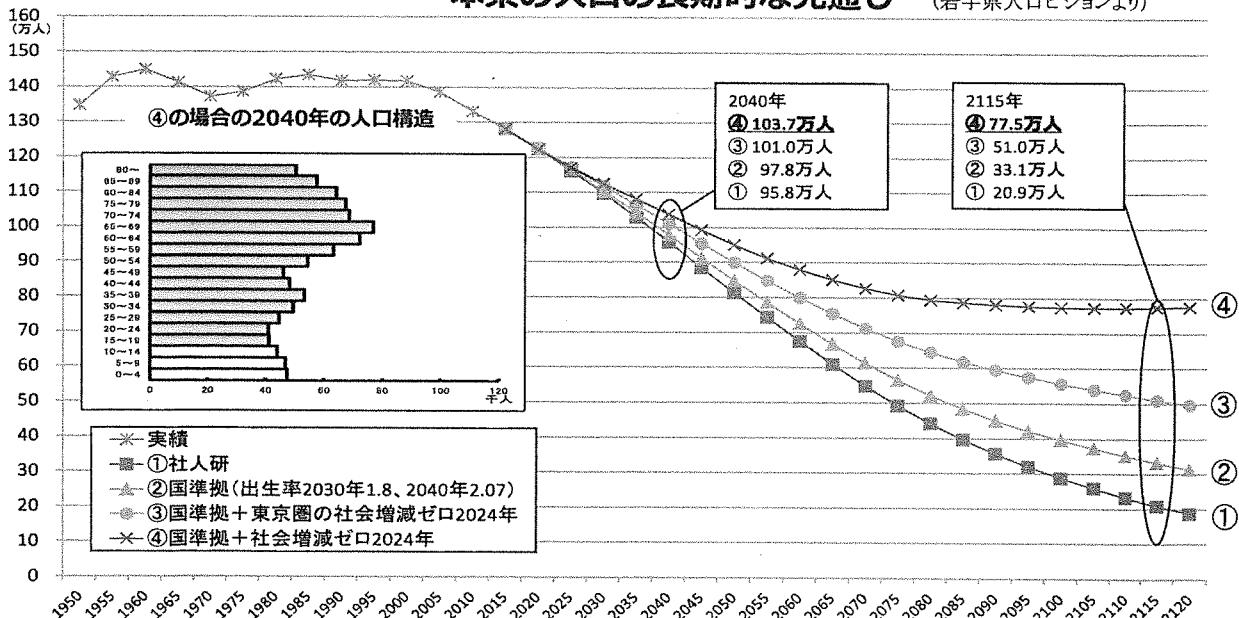
社会の変化が岩手に与える影響（分析）

## 少子高齢・人口減少（岩手県の人口の展望）

### 人口の展望

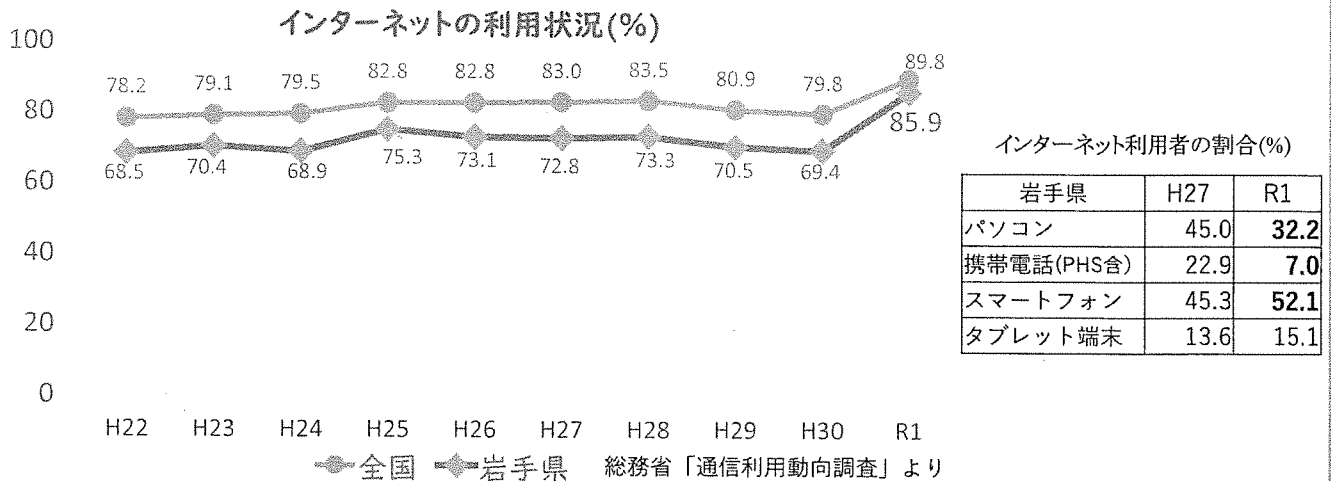
- 国立社会保障・人口問題研究所の人口推計によると、岩手県の人口は2040年に96万人程度、2115年には21万人程度と試算されています。（下図①）
- ⇒ ○労働力不足、生産量（生産高）の低下（生産年齢人口の減少） ○医療、福祉・介護の需要増加  
 ○学校教育、地域の文化継承への影響 ○地域コミュニティが果たしてきた共助機能の低下 等

### 本県の人口の長期的な見通し（岩手県人口ビジョンより）



## インターネットの利用状況・国の動向

- ・ 全国のインターネットの利用率は上昇傾向にあり、岩手県においても同様の傾向となっています。令和元年度において、全国では89.8%、岩手県は85.9%と9割に迫っています。
- ・ 国では、IT基本法の見直し、デジタル庁を設置の方針を閣議決定（令和2年12月25日）するなど、デジタル化が進められています。
  - ⇒ ○地域コミュニティの機能低下や担い手不足等、地域課題の解決や利便性の向上が期待
  - 多発する自然災害への備え(データの活用) ○効果的な学び(いつでも、どこでも、だれでも)
  - 岩手県においてもインターネット利用が増加していることから、ICTリテラシー(よりよい使い方)の向上が必要
  - ICT、データの利活用が困難など取り残される世代、世帯等への対応が必要



7

## 自然災害・感染症(新型コロナウイルス)

### 「命を守る」生涯学習・社会教育

- ・ 東日本大震災津波から10年となります。災害公営住宅、復興道路など復興は進んでいますが、こころのケア、コミュニティ形成支援等を進めていく必要があります。
- ・ 平成28年台風10号、令和元年台風19号など、自然災害が多発しています。
- ・ 新型コロナウイルス感染症は、岩手においても経済、仕事、暮らし、学びに影響を与えています。
- ・ 令和2年中央教育審議会生涯学習分科会において、「命を守る」生涯学習・社会教育の重要性が示されています。
  - ⇒ ○東日本大震災津波の教訓、いわての復興教育(「いきる・かかわる・そなえる」)の取組の強み
  - 「いわて県民計画(2019~2028)における基本目標「東日本大震災津波の経験に基づき、引き続き復興に取り組みながら、お互いに幸福を守り続ける希望郷いわて」を推進
  - 人口減少が進む中、予測困難な台風等の自然災害、新型コロナウイルス等の感染症に対して、地域住民が共に学び合う機会が重要

### 令和元年度「心とからだの健康観察」集計結果について【概要】

5 「『つらかったこと』と聞かれて、あなたは何を思い浮かべましたか」という質問に対する回答の割合について

回答項目	年度	「大震災」		「他の大変なこと」		「両方」		「思いうかばない」	
		沿岸部	内陸部	沿岸部	内陸部	沿岸部	内陸部	沿岸部	内陸部
全校種	H23(%)	45.8	35.0	13.9	19.6	13.8	11.7	23.8	30.2
	R1(%)	9.4	6.2	26.2	26.5	5.3	3.4	52.4	55.9

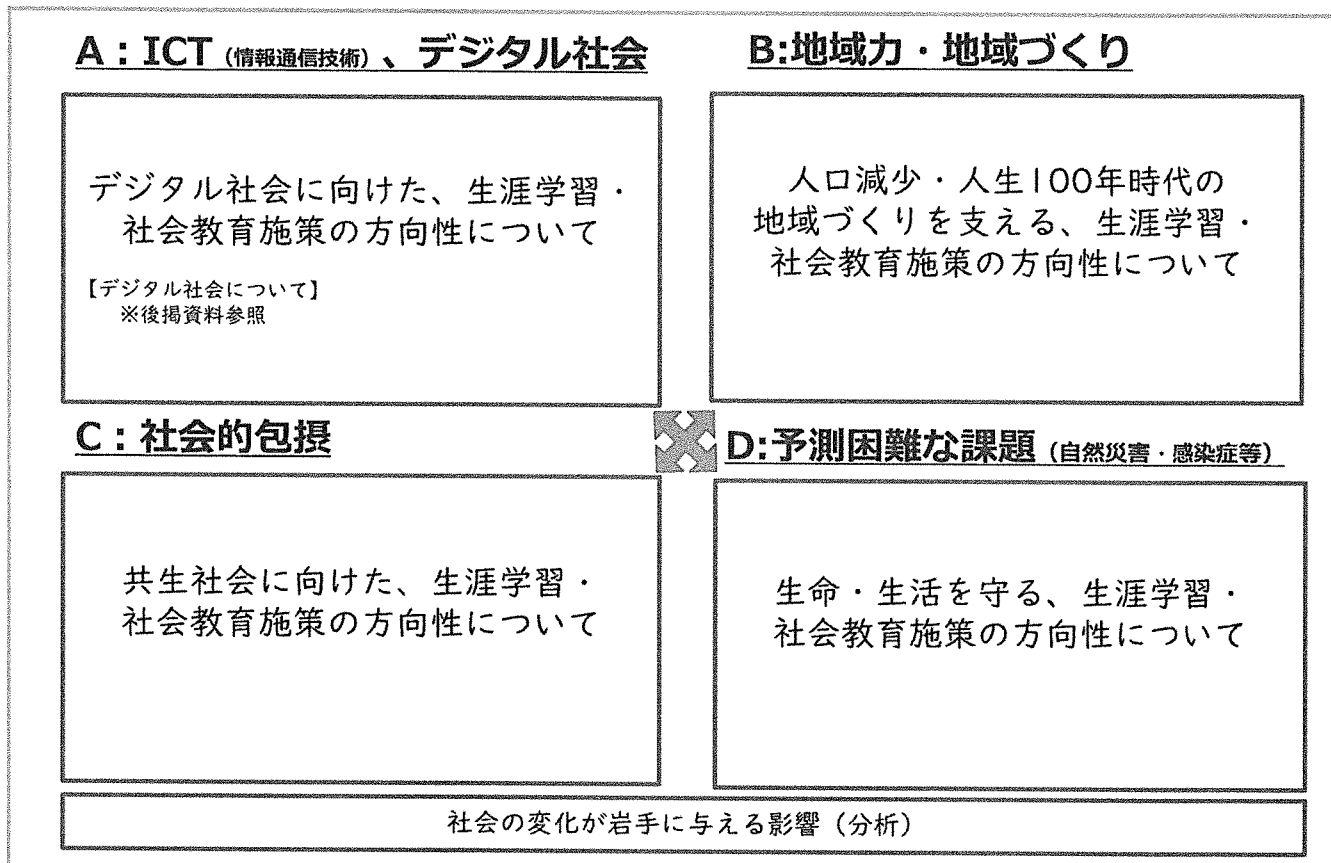
(1) 大震災を想起している回答の割合(「大震災」・「両方」)が、内陸部より沿岸部が高い。

(2) 「他の大変なこと」の回答の割合が、沿岸部・内陸部ともおよそ4分の1であった。

(岩手県HPより)

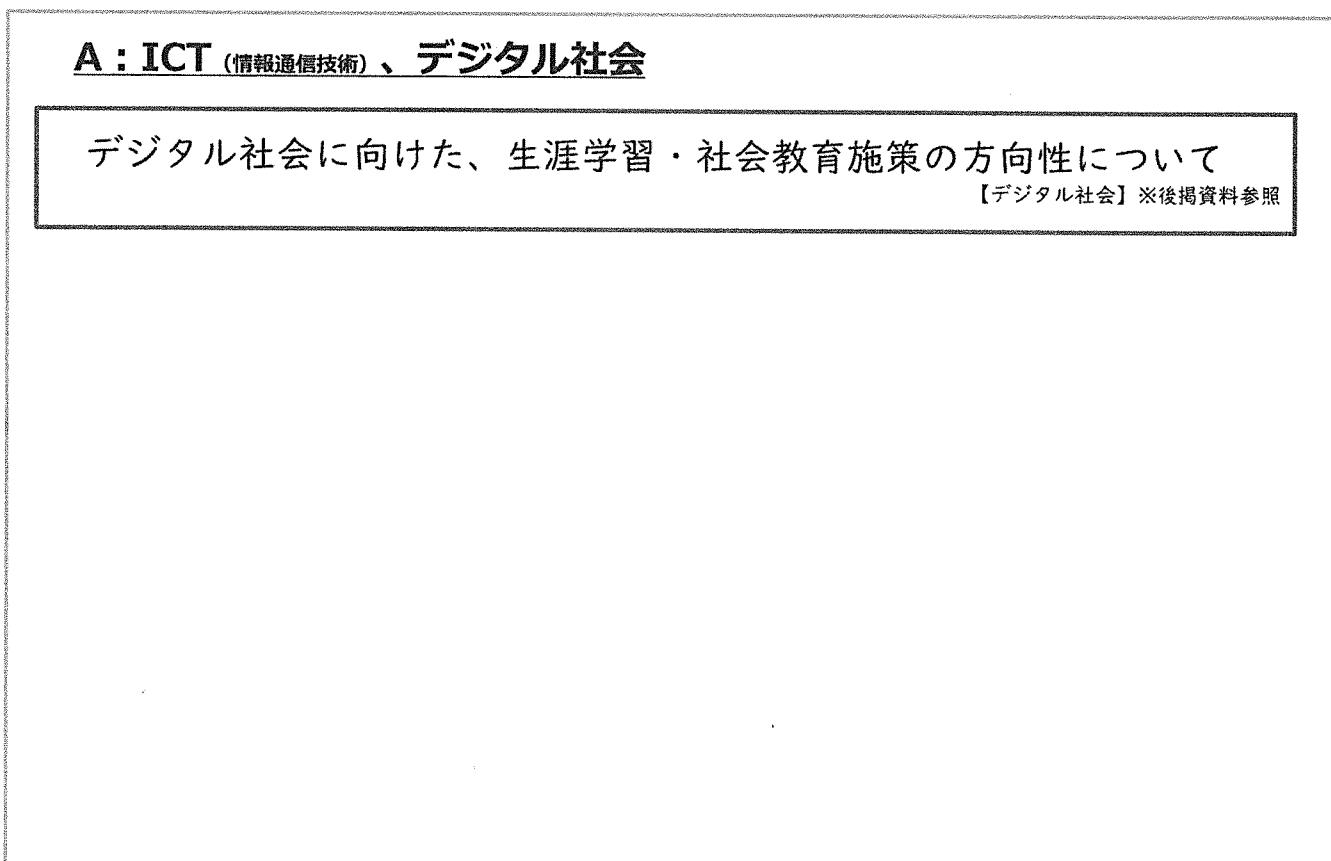
8

## 第2回会議について（協議の論点）



9

## 第2回会議について（協議の論点）



10

## 第2回会議について（協議の論点）

### D：予測困難な課題（自然災害・感染症等）

生命・生活を守る、生涯学習・社会教育施策の方向性について

11

## 参考（「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」の概要）

### デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針の概要

- ▶ デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会～誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化～
- ▶ デジタル社会形成の基本原則（①オープン・透明、②公平・倫理、③安全・安心、④継続・安定・強靱、⑤社会課題の解決、⑥迅速・柔軟、⑦包摂・多様性、⑧浸透、⑨新たな価値の創造、⑩飛躍・国際貢献）

#### IT基本法の見直しの考え方

##### IT基本法施行後の状況の変化・法整備の必要性

- ✓ データの多様化・大容量化が進展し、その活用が不可欠
- ✓ 新型コロナウイルス対応においてデジタル化の遅れ等が顕在化  
⇒ IT基本法の全面的な見直しを行い、デジタル社会の形成に関する司令塔としてデジタル庁（仮称）を設置

##### どのような社会を実現するか

- ✓ 国民の幸福な生活の実現：「人に優しいデジタル化」のため徹底した国民目線でユーザーの体験価値を創出
- ✓ 「誰一人取り残さない」デジタル社会の実現：アクセシビリティの確保、格差の是正、国民への丁寧な説明
- ✓ 国際競争力の強化、持続的・健全な経済発展：民間のDX推進、多様なサービス・事業・就業機会の創出、規制の見直し

##### デジタル社会の形成に向けた取組事項

- ✓ ネットワークの整備・維持・充実、データ流通環境の整備
- ✓ 行政や公共分野におけるサービスの質の向上
- ✓ 人材の育成、教育・学習の振興
- ✓ 安心して参加できるデジタル社会の形成

##### 役割分担

- ✓ 民間が主導的役割を担い、官はそのための環境整備を図る
- ✓ 国と地方が連携し情報システムの共同化・集約等を推進

##### 国際的な協調と貢献、重点計画の策定

- ✓ データ流通に係る国際的なルール形成への主体的な参画、貢献
- ✓ デジタル社会形成のため、政府が「重点計画」を作成・公表

#### デジタル庁（仮称）設置の考え方

##### 基本的考え方

- ✓ 強力な総合調整機能（勧告権等）を有する組織
- ✓ 基本方針策定などの企画立案、国等の情報システムの統括・監理、重要なシステムは自ら整備

##### デジタル庁（仮称）の業務

- ✓ 国の情報システム：基本的な方針を策定、予算を一括計上することで、統括・監理。重要なシステムは自ら整備・運用
- ✓ 地方共通のデジタル基盤：全国規模のクラウド移行に向けた標準化・共通化に関する企画と総合調整
- ✓ マイナンバー：マイナンバー制度全般の企画立案を一元化、地方公共団体情報システム機構（J-LIS）を国と地方が共同で管理
- ✓ 民間・準公共部門のデジタル化支援：重点計画で具体化、準公共部門の情報システム整備を統括・監理
- ✓ データ利活用：ID制度等の企画立案、ベース・レジストリ整備
- ✓ サイバーセキュリティの実現：専門チームの設置、システム監査
- ✓ デジタル人材の確保：国家公務員総合職試験にデジタル区分（仮称）の創設を検討要請

##### デジタル庁（仮称）の組織

- ✓ 内閣直屬。組織の長を内閣総理大臣とし、大臣、副大臣、大臣政務官、特別職のデジタル監（仮称）、デジタル審議官（仮称）他を置く
- ✓ 各省の定員振替・新規増、非常勤採用により発足時は500人程度
- ✓ CTO（最高技術責任者）やCDO（最高データ責任者）等を置き、官民間問わず適材適所の人材配置
- ✓ 地方公共団体職員との対話の場「共創プラットフォーム」を設置
- ✓ 令和3年9月1日にデジタル庁（仮称）を発足

## 令和3年度社会教育関係団体活動費補助金交付団体

	社会教育関係団体名	設立 年月日	補助金 開始 年度	代表者名	団体・ 会員数	主な補助事業内容
総括 団体	岩手県社会教育関係団体連絡協議会	H9. 4. 1	H9	田口昭隆	10 団体 166, 188 人	※下記 10 団体を総括する。
構成 団体	1 岩手県青年団体協議会	S26. 3. 29	S37	松田恵美子	2 市町村 2 団体 30 人	・青年大会 (体育部門、文化部門)
	2 日本ボーイスカウト岩手連盟	S24. 7. 9	S36	末永正志	6 市町村 9 団体 336 人	・創立 70 周年記念誌発行
	3 ガールスカウト岩手県連盟	S45. 3. 1	S46	菊地真弓	9 市町村 10 団体 204 人	・教育プログラム ・成人のトレーニング
	4 特定非営利活動法人 岩手県地域婦人団体協議会	S28. 1. 10	S38	瀬川愛子	24 市町村 34 団体 5, 451 人	・広報活動
	5 岩手県国公立幼稚園・こども園 P T A 連絡協議会	S50. 7. 10	S63	北條貴弘	12 市町村 35 団体 1, 157 人	・県幼 P 連総会 ・現状調査 ・会報発行
	6 一般社団法人岩手県 P T A 連合会	S26. 8. 1	S45	田口昭隆	33 市町村 33 団体 79, 568 人	・広報活動
	7 岩手県高等学校 P T A 連合会	S26. 8. 3	S45	清水茂樹	30 市町村 80 団体 25, 227 人	・会報発行
	8 岩手県社会教育連絡協議会	S42. 4. 1	S42	大橋清司	33 市町村 34 団体 1, 487 人	・社会教育指導員等研修会 ・機関紙の発行
	9 岩手県ユネスコ協会連盟	S28. 3. 15	S44	三田地宣子	15 市町村 22 団体 1, 569 人	・ユネスコ活動顕彰事業 ・ユネスコ研究会岩手県大会
	10 岩手県子ども会育成連合会	S50. 5. 20	S50	三浦保治	12 市町村 12 団体 63, 489 人	・子ども会活動活性化事業 ・ブロック別研修会 ・子育連だより発行

※令和2年6月現在